

大阪教育大学

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY GUIDE BOOK 2025

# OKU

人にまっすぐ。



国立大学法人  
大阪教育大学

大阪教育大学 学務部入試課

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

TEL072-978-3324

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>

企画・編集・発行 / 総務部総務課広報室

公式SNS



UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



大阪教育大学  
150<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY

人にまっすぐ。

大阪教育大学 学長

岡本 幾子

大阪教育大学は、1874年（明治7年）に設置された教員伝習所をその起源とし、今年、創基150周年を迎えた歴史と伝統を有する我が国有数の教員養成大学です。これまで日本の教育の根幹を支え、教育の充実と文化の発展に貢献してきました。とりわけ教育界に多くの有為な人材を輩出し、日本の主要な教員養成機関としての役割を果たしています。

変化が激しく予測困難な時代において、学校現場を取り巻く課題は複雑化・多様化しています。本学は、2022年3月に、「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成を先導し、教員養成の在り方自体を変革していくためのけん引役として、文部科学大臣から「教員養成フラッグシップ大学」の指定を受けました。

日本の教育課題が縮図化している大阪において、多様な主体との連携により、教育DXとダイバーシティ教育を重点的に促進し、教員養成フラッグシップ大学構想の実現を通して日本の未来の教育を創造していきます。

超スマート社会の実現に向けて、これからの教員はデジタルテクノロジーへの理解と活用、イノベーションの促進や創造性を高める必要があります。本学は教員養成フラッグシップ大学に対する、単位の修得方法に関する特例の適用により、協働・省察を促し、教育DXの推進による先導的・革新的な教員養成カリキュラムを開発して、本年度から学校教育教員養成課程に導入しています。

また、社会が急速に変化する中で、日本の教育は新たな時代を迎えています。学校や教員だけでなく、学校を取り巻く、様々な教育に関わる専門領域の発展が、必要不可欠となっています。学校教育の変革に関して、幅広い教養を背景とし、学校の外から支援できる、より高度な人材育成の観点から、2025年4月に教育協働学科の専攻・コースの再編を予定しています。

最先端の教育課題に正面から取り組み、夢を共有し、励まし合いながら切磋琢磨できる多くの仲間たちと出合えます。本学で学ぶご自身の姿を想像してみてください。日本の未来の教育を創る人材となるために、大阪教育大学での学びを実現されることを期待しています。

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY HISTORY



大阪教育大学  
150<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY

大阪教育大学の沿革

CONTENTS

- 学長挨拶 001
- 再編後の組織 003
- 数字でわかる大教大 005
- 教育実習 007
- 就職支援 011
- 海外留学・国際交流 015
- クラブ&サークル 019
- 一人暮らし 023
- 年間行事 027
- 食堂&ショップ 029
- 学位プログラムと3つのポリシー 031
- 学校教育教員養成課程 033
- 養護教諭養成課程 055
- 教育協働学科 057
- 大学院／特別専攻科 067
- 柏原キャンパス 069
- 天王寺キャンパス 073
- 附属学校園 074
- 就職DATA 077
- 学生DATA 080
- 学部入試結果 081
- 入学科・授業料・奨学金 083
- アドミッション・ポリシー 085
- ディプロマ・ポリシー 089
- カリキュラム・ポリシー 090
- 全国から集まる大教大生たち 091
- アクセス 093

令和7年度 教育協働学科 組織再編の概要

教育イノベーション専攻

数理・AI・データサイエンスや環境安全科学に関する高度な専門的知識・技能と探究力を組み合わせて、学校や教育関連企業と連携・協働して多様な教育課題の解決方法を創造できる人材を養成します。

- 数理・知能情報コース
- 環境安全科学コース

教育コミュニティ支援専攻

心理学やスポーツ活動、芸術活動に関する高度な専門的知識・技能と探究力を組み合わせて、学校や教育関連企業と連携・協働して、多様な教育課題の解決方法を創造できる人材を養成します。

- 心理学コース
- スポーツ健康コース
- 芸術表現コース

グローバル教育専攻

異文化・多文化共生に対する理解の下、日本語・日本文化に関する専門的知識・技能や高度な英語運用能力と国際的な視野から学ぶ協働に関する専門的知識・技能と探究力を組み合わせて、学校や教育関連企業と連携・協働して、多様な教育課題の解決方法を創造できる人材を養成します。

- 日本語教育コース
- 国際協働英語コース



学校現場と教育に関わる様々な職業とを「つなぐ」人材を育てる



▼令和7年度以降

学部	キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員	取得できる教員免許状(すべて一種免許状 *は二種免許状も可能)※1					卒業後のイメージ			
						幼	小	中	高	特支		養護		
教育 学部	柏原→天王寺※2	学校教育	幼小教育	幼児教育	15	●	◎					幼稚園教諭、小学校教諭など		
				小学校教育	45	◎	●	□* 技術・家庭以外の教科	□工業・家庭・書道以外の教科			小学校教諭、幼稚園教諭など		
	柏原	学校教育 教員養成課程	次世代教育	教育探究	40		●	○*国語・英語・社会から選択	○国語・英語・[地理歴史・公民]・情報から選択	□ (各コースの高に記載した以外の教科)	□	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭など		
				ICT教育※3	①	20		●	□*				●情報	
	②		□*		●数学									
	教科教育	国語教育	45		●	●国語	◎国語							
		英語教育	25		●	●英語	◎英語							
		社会科教育	40		●	●社会	◎地理歴史 ◎公民							
		数学教育	45		●	●数学	◎数学							
		理科教育	50		●	●理科	◎理科							
		技術教育	10		●	●技術	◎工業							
		家政教育	15		●	●家庭	◎家庭							
		保健体育	40		●	●保健体育	◎保健体育							
		音楽教育	20		●	●音楽	◎音楽							
	美術・書道教育	25	美術分野	●	●美術	◎美術								
書道分野	●		□*	●書道										
特別支援教育	45		●	□* 上記の各教科	□上記の各教科	●	特別支援学校教諭、小学校教諭など							
天王寺	学校教育(夜間)5年	小学校教育(夜間)5年	40		●				小学校教諭など					
		3年次編入学※4	(25)											
小計					520(25)									
柏原	養護教諭養成課程			30					●	養護教諭など				
計					550(25)									
教育 学部	柏原	教育協働学科	教育イノベーション	数理・知能情報	55			◎数学	◎数学 ◎情報※5		教育委員会など教育行政職員(情報系技術職員)、企業(情報処理・情報通信系、学習用ソフトウェア・デジタル教材開発、教育現場のICT化)、学校事務職員・大学事務職員、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など			
				環境安全科学	75			◎理科	◎理科	教育委員会など教育行政職員、教育関連NPO職員、企業(教科書、学習用ソフトウェア・デジタル教材開発)、教育系シンクタンク企業、学校事務職員・大学事務職員、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など				
			教育コミュニティ支援	心理科学	40					企業・公務員・団体職員(心理・人材育成・社会福祉系)、大学院(公認心理師資格取得を含む)、教育サービス企業など				
				スポーツ健康	50			◎保健体育	◎保健体育	企業(健康・スポーツ系)、スポーツトレーナー、公務員・団体職員(スポーツ振興系)、部活動・ジュニアスポーツ指導者、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など				
			芸術表現	音楽分野	40			◎音楽	◎音楽	企業(デザイン・広告・映像・音楽制作・芸術教材開発等)、公務員・団体職員(芸術文化振興系、劇場・美術館等)、部活動・音楽・美術教室の指導者、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など				
				美術分野		◎美術	◎美術							
			グローバル教育	日本語教育	55			◎国語	◎国語	日本語学校教師、公務員・団体職員(国際交流系)、通訳・翻訳業、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など				
				国際協働英語	35			◎英語	◎英語	国際交流機関職員、公務員・団体職員(国際交流系)、英会話講師、通訳・翻訳業、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など				
			計					350						
			合計					900(25)						

( )は夜間3年次編入を表し、外数。

※1 ●は卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。◎及び○は卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することにより取得が可能な教員免許状。学校教育教員養成課程では取得を推奨する。○は自専攻・コース科目、○は他専攻・コース科目から必要な単位を修得する。□は取得をめざすことができる教員免許状。ただし、●以外の免許状は卒業と同時に取得することは保証されません。免許状によっては、時間割や受講人数、成績等の条件により取得できない場合があります。□の免許状取得に必要な科目は、すべて柏原キャンパスにて開講予定です。

※2 学校教育教員養成課程 幼小教育専攻の幼児教育コース及び小学校教育コースは、1～2年次を柏原キャンパス、3～4年次を天王寺キャンパスで修学します。  
 ※3 ICT教育コースは、出願時に①②いずれかを選択していただきます。  
 ※4 令和7年度までは、旧課程の夜間5年コースの第3年次に編入となります。  
 ※5 高等学校教諭一種(情報)免許状については、文部科学省に教職課程を申請中であり、審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

▼令和6年度現在

学部	キャンパス・課程・学科・専攻・コース	募集人員		
教育 学部	柏原 教育協働学科	教育心理科学	40	
		健康安全科学	35	
		理数情報	数理情報	40
			自然科学	60
		グローバル教育	英語コミュニケーション	20
			多文化リテラシー	55
		芸術表現	音楽表現	40
			美術表現	10
		スポーツ科学	50	
		計		350

取得可能な資格等

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員免許状を取得できる課程・専攻等において、「学校図書館司書教諭」の資格取得のための履修が可能です。また、全課程・学科において、「図書館司書」「学校司書」の資格等取得のための履修が可能であり、教育協働学科の学生のみ「社会教育主事」の資格等取得のための履修が可能です。ただし、「図書館司書」「学校司書」「社会教育主事」の資格等取得に必要な授業は、柏原キャンパスにて開講予定です。

学校図書館司書教諭

小学校などで教諭として採用された者が、学校教育に必要な書籍や視聴覚資料の管理、読書指導を行う仕事です。司書教諭として勤務するための前提として、小学校などの教諭の普通免許状を取得する必要があります。

図書館司書

公立または私立の図書館で勤務し、資料の収集・提供、読書相談や調査研究の援助、読書活動の助成、集会・行事の企画などを行う仕事です。図書館で働く職員のすべてが司書であるわけではなく、図書館における専門的な職務に携わる専門職です。

学校司書

学校図書館において、職員として児童又は生徒及び教員が学校図書館を利用するために必要とされる事務的の仕事を行います。  
 ※6 学校司書は学校図書館法上、資格としての定めはありません。文部科学省が定める学校司書養成のモデルカリキュラムに対応する科目を開講し、修了者には単位取得証明書を発行します。

社会教育主事

都道府県等の教育委員会事務局で勤務し、社会教育全体の計画化を図るとともに、社会教育活動の実務を担当する職員や住民に対し、専門的・技術的な指導助言を行います。  
 ※7 所定の科目を全て修得した者は社会教育士(養成課程)と称することができます。

※この他にも取得可能な資格がありますので、詳細については専攻・コースごとのページをご覧ください。



西日本最大の  
教員養成大学

緑に囲まれた  
広大な柏原キャンパス

歴史と伝統  
日本有数の  
教育大学

P.02

約6割の学費

P.83

令和5年  
授業料免除額の計

P.83

世界に触れよう！  
豊富な海外協定校

P.18

P.80

学部学生数  
**3,934名**

P.69

**67万m<sup>2</sup>**  
阪神甲子園球場の約17倍

大阪教育大学  
**150<sup>th</sup>**  
ANNIVERSARY

**59.5%**

私立大学文系平均100とした場合、  
本学の学生納付金4年間合計は  
59.5%の学費となります。

**1億  
9,000万円**

(前後期(全額・半額)  
延べ免除者数925名)

国・地域 海外協定校  
**14 38**

# 数字でわかる大教大

大阪教育大学にはたくさんの魅力があります。  
その中でも、今年の大学案内で紹介したい内容を数字で表してみました。  
それぞれには関連するページを記載しています。



アクセス便利な都市型の  
天王寺キャンパス

郊外型の自然豊かな  
柏原キャンパス

大阪府内に  
2キャンパス

P.93

**2つ**

P.02

専攻・コース設定  
**24**

多種多様な  
専攻・コース設定で  
様々な学びを実現！

P.77

**97.7%**  
(令和5年度末学部卒業者)

就職希望者  
における就職率

教員志望者  
における教員就職率

P.13

**99.4%**  
(令和5年度末学部卒業者)

**62.5%**  
(令和元年度 学生生活実態調査より)

6割の学生が課外活動  
(クラブ・サークル等)  
で活動しています

P.21

昨年度  
オンライン&来場方式  
オープンキャンパス  
参加者数

P.28

**4,072名**  
(2日間計、保護者含む)



# 01 教育実習

Teaching practice

大教大だからできる  
超現場主義！  
リアルな実習だから  
実感できる！

## 教育実習で印象に残ったこと、学んだこと、感想など

教育実習において一番大切なことは「思いやり」だと思います。児童生徒は子ども同士の時間、学習の時間なども大切にしていますし、先生方も児童生徒と関わる時間、同僚の先生方と関わる時間、授業づくりの時間などを大切にされています。実習が始まる前の学校にあった大切な時間や関係性をあくまで壊さないように、「思いやり」をもって実習期間を過ごすことが大切なのだと感じました。

## 教員になろうと思った理由は？

小学校のときの担任の先生に憧れたことがきっかけです。その先生がかけてくださった言葉は、今でも私の心を支えています。私も誰かの心を支えられる仕事がしたい！その思いで教員になることを決めました。



## 教育実習中、実習先の先生とのエピソードがあれば教えてください

研究授業で理科の授業をしました。理科の担当の先生は、運動会の準備などで忙しい中、放課後に一緒に教材研究や授業の反省会をしてくださったりしました。研究授業が終わってすぐ、「今までで一番良かった！」と自分のことのように満面の笑みで喜び、褒めてくださったことがとても嬉しくて印象に残っています。

## 教育実習に行く前に知っておきたかったな～という情報があれば教えてください

教育実習に行く前には必ず、教育実習の記録を書くための「教育実習ノート」を準備します。その中にはどのようなことを書けばいいのかわかる短い説明書きがありますが、実際の教育実習ノートはかなり書く量が多いので、実習に行かれた先輩方が実習ノートに書かれていた具体的な内容や、アドバイスなどを知られたかったです。



## どんな先生になりたいですか？

「児童生徒の笑顔を作る教員」になりたいです。近年は児童生徒を取り巻く環境が大きく変化しており、その時期に必要な経験ができなかつたりして寂しい思いをしている子が多いように感じています。そこで、児童生徒が一日のうち、少しでも笑い合える時間・場所・関係を創ってあげたい。そのために自分ができることを考え続け、努力し続ける教員でありたいです。

学校教育教員養成課程 小中教育専攻  
国語教育コース  
末高 優菜さん (出身校:大分東明高等学校)

## 教育実習中、仲間がいて良かったな～など、同じ教員をめざす実習生同士でのエピソードがあれば教えてください

大学の講義で模擬授業をする機会はあるのですが、時間が限られているので、途中で終わってしまうことが多いです。しかし、教育実習の授業では時間いっぱい取り組めるので、初めて他の実習生の授業を時間いっぱい見る機会になると思います。違う教科であっても授業をお互いに見合って、アドバイスや質問をし合ったりすることで、授業力の向上に繋がったように感じています。



## 受験生へメッセージまたはアドバイス

大阪教育大学では教員採用試験の際に図書館や学習室、面接指導の部屋から教員採用試験の合格をめざす学生が存在を感じることができます。「教員」という夢をずっと追いかけていくことができたのは、決して自分の力ではなく、一生懸命にさせてくれた周りの環境が大きかったのだと思います。夢を全力で追いかけることのできる環境がここ大阪教育大学にはあります。ぜひ、「教員」になりたい方、一生懸命に何かを追いかけてみたい方、大阪教育大学で学んでみませんか。

## 教育実習期間中に落ち込んだことや、そこから前を向けたきっかけや方法があれば教えてください

自分の力量不足に落ち込んだことがありました。子どもをうまく叱れなかったときに教員に向いていないかもしれないと思いました。それを実習先の先生に相談すると、「無理に向いていないことをするよりもあなたの強みを活かして子どもと関わったらいよいよ」と声をかけてくださりました。その言葉がきっかけで、教員にも役割分担があるから、自分は自分らしい教員を目指そう！と前を向くことができました。



## 大教大の好きなところは？

大教大の図書館は教育に関する書物が豊富です。入学当初は教育に関する知識がありませんでしたが、図書館でたくさんのことを学ぶことができました。教育のことを全然知らないという受験生も安心して大教大を選んでほしいと思います。図書館は学びの宝庫です。

学校教育教員養成課程  
小中教育専攻  
理科教育コース  
神前 将翔さん  
(出身校:大阪府立生野高等学校)

## どんな先生になりたいですか？

子どもたちのこれからの人生を支えられる先生になりたいです！私は担任の先生に良いところをたくさん褒めてもらったことで、自信をもつことができました。私も子どもたちの良さを見つけ、伸ばしていくことで子どもたちの人生を支えていきたいと思っています！

## 受験生へメッセージまたはアドバイス

大阪教育大学はみなさんが教員になるための環境を用意してくれています。私は、学校現場での経験をもっと積みたいと思い、教育実習が終了してからも、週1回小学校でボランティア活動をしています。これができるのは、大阪教育大学の信頼と実績があるからだと考えています。また、学生同士の交流も多く、たくさんの素敵な出会いがあります。人との出会いが私を成長させてくれました。「人にまっすぐ」向き合える、それが大阪教育大学です。最高の環境で最高のキャンパスライフを送ってみませんか？



# 学校現場での実践

Point 1

## 積み上げ型の教育実践システム

1・3・4回生での教育実習に加えて、2回生からの段階に応じた学校インターンシップでは、児童・生徒との関わり方や授業づくりに加えて今日的な教育課題に触れ、学校教育の現状について実践的に学びます。その学びを大学での修学につなぎ、教員としての高い実践力を身につけます。

Point 2

## 理論と実践を往還する「省察」科目の導入

教育実習・学校インターンシップを通じて自らの実践を振り返り、捉え直ししながら、新たな目標の設定、実践、ふり返りを繰り返す「省察」科目を設定します。

Point 3

## 電子ポートフォリオによる学び診断

夢を叶えるために、学修成果評価システムを活用し、授業の成績や課外活動・ボランティア活動など「学びの軌跡」を蓄積し、自分の成長を確認します。「履修カルテ」と「教育実習カルテ」で構成されます。

### 履修カルテのポイント

#### 自分を知る

- 全学生が入力
- 学習や卒業後の目標を自分で設定
- 授業科目の履修状況と学修成果を把握

#### 何を学んだか何を感じたかを記録

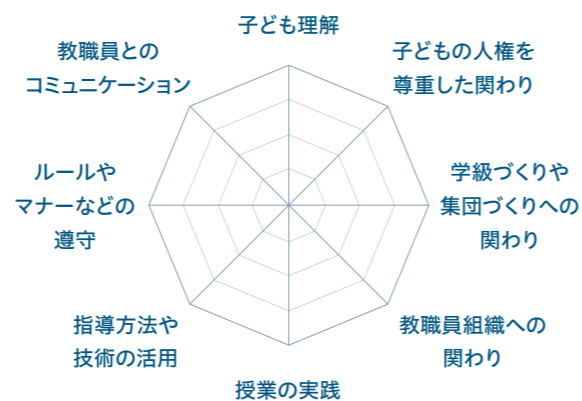
- 履修した全ての授業科目についてふり返り(自由記述)を入力
- 学外実習・ボランティア活動の状況も記録

#### 評価する

- 教員に必要な様々な資質能力について自己評価
- 指導教員による指導・助言(年2回)

### 教育実習カルテ

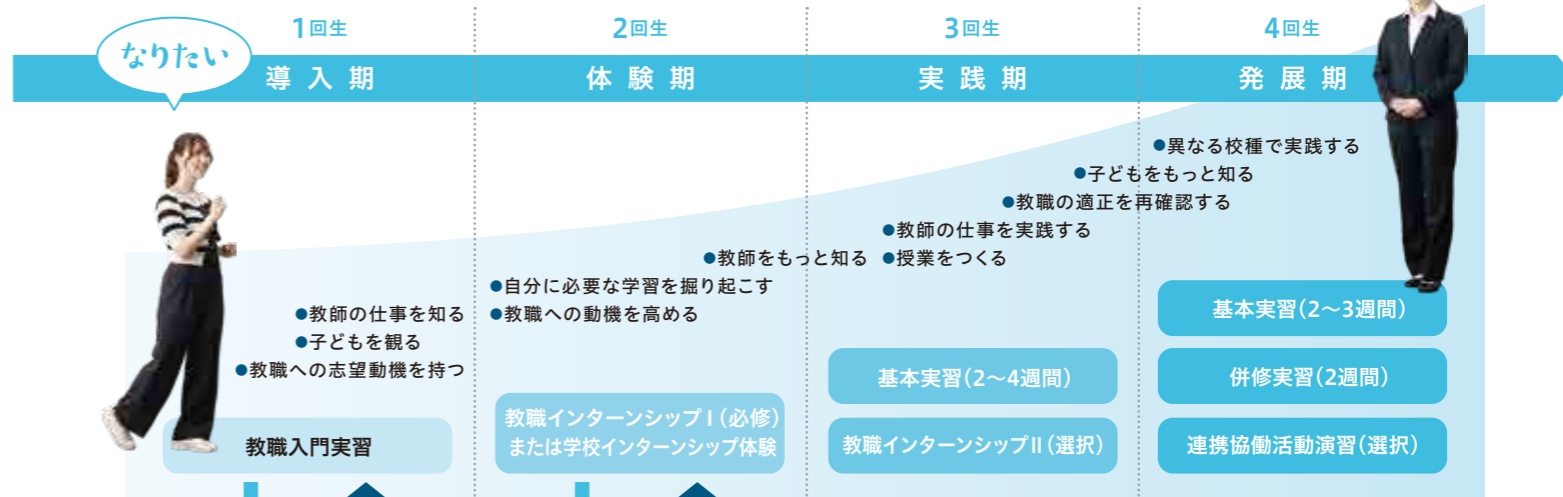
教育実習カルテは、それぞれの実習の指標にそって作成しています。自分の到達目標を設定し、実習にのぞみ、実習終了後はそれぞれの指標について自己評価を行います。また、実習校による学校評価が表示されます。



# 「なりたい」から「なる！」につながる実習

大阪教育大学では「4年間を通じた学校現場における実践的学修」を行っています。4年間にわたり教育実習と学校インターンシップを行い、力を積み上げることで、教師としての実践的指導力を身に付けます。さらに「電子ポートフォリオ」を取り入れ、指導教員と学びの軌跡を確認します。そうすることで総合的な教育実践力と専門分野の知識・技能を向上させます。教育実習の履修方法は、課程・専攻・コースにより異なります。

なる!



### 教職のための省察入門

**必修**  
学校教育教員養成課程の全専攻及び養護教諭養成課程

### 教わる側から教える側へ視点を転換する

教育の理念や教職の意義等の教育の基礎的な知識や、フラッグシップ指定科目の履修を通じて、社会や学校教育における子どもの多様性について理解を深め、教師としての子どもへの接し方についての基礎を学びます。教職入門実習では、実際の学校現場の観察を通じて、これまでの学ぶ立場から教える立場へと視点の転換を行います。キャンパスでは、実際の学校現場の観察体験についてのふり返りを行い、学び続ける教師のための素地を形成します。

### 教職専門性と省察

**必修**  
学校教育教員養成課程の全専攻及び養護教諭養成課程

### 基本実習に備えて実践の基礎を身に付ける

社会における学校の役割や教育課程の意義や教育の方法、生徒指導についての基礎を身に付けるとともに、フラッグシップ指定科目の履修を通じて、探究的な学びや学習者を中心とする授業のための基礎的な理論などについて学びます。学校インターンシップでは、教師としての職能や学習指導の実際に触れ、職業としての教師の体験を行います。キャンパスでは、教師の発達と学習についての理論や発達のための学習を支える研修制度などについて学び、教師としての学びを実践します。

### 学習指導と授業実践力を身に付ける

**必修 (基本実習)**  
学校教育教員養成課程の全専攻及び養護教諭養成課程

### 総合的な学習の時間や特別活動、道徳の指導のあり方などについて学ぶとともに、教える教科内容や教科指導の方法についても理解を深めていきます。

その上で、教育実習では、児童・生徒に応じた授業づくりや教材研究を通じて、実践的な教科指導力を身に付けるとともに、教職の専門性を高めます。また、フラッグシップ指定科目では、教科横断的な学びや教育データの活用などについて学びをさらに高めることができます。

### 必修 (基本実習)

ICT教育コース  
美術・書道教育コースの書道選択者  
**選択** (併修実習)  
上記コース等以外

### 基本実習で身に付けた実践力にみがきかける

教師の卵としての力量を身に付ける最終仕上げの段階です。教職課程の集大成となる教職実践演習では、自身のこれまでの学びを振り返り、不足する知識を補うことや強みを伸ばすことを通じて「なりたい教師になる」ための自己実現を行います。また、選択科目の連携協働活動演習では、学校を支える専門家の立場である教育協働学科の学生と連携しチーム学校を体験します。

### 学校インターンシップと教育実習の接続

専攻やコース、学校のある自治体などにもよりますが、学校インターンシップを行う学校と同じ学校での教育実習を希望することができます。教育実習前に学校インターンシップの活動を行えば、児童・生徒や先生方との人間関係をあらかじめ作っておくことができ、教育実習を円滑にスタートさせることができます。

## 実習制度

	1回生	2回生	3回生	4回生	5回生
小学校教育(夜間)5年専攻				教育実習Ⅰ(必修・2週間)	教育実習Ⅱ(必修・2週間)
教職入門実習		学校インターンシップ体験(必修)	学校インターンシップⅠ(選択)	学校インターンシップⅡ(選択)	

教育協働学科 教員免許取得を希望する学生は、教職実践演習の履修が必要です。教育実習は、4回生で、主として附属高等学校において行っています。



# 02 就職支援

Career support

より実践的な  
就職支援プログラムを展開  
求められる人材へ  
キャリア形成をサポート！

## キャリア支援センターの活用について、後輩へのアドバイスをお願いします

無理して1回生から行こうとしなくても良いですが、案内される説明会には必ず参加した方が良いでしょう。今何をすべきなのかが分かりますし、しなくても良いことに労力を注がなくて済みます。面接練習は、最初から行くべきです。そこでの土台作り・基礎固めをすることで、たくさん練習する際、先生の予約が取れなくても、自分や友達とでも練習できる状況になります。



## こういった指導が教員採用試験に役立った！ ということがあれば教えてください

面接の態度など、基本的なところから、答え方、アピールポイントとそれを追質問してもらえる状況を作ることなど、実際の面接官をされた先生方だからこその質問やアドバイスが役に立ちました。場面指導では、多種多様な状況が設定され、状況に応じた対応方法など、教職を経験された先生方ならではの話も聞け、今後にも生かせると感じました。

## 所属する専攻・コースの良いところは？

中等教育専攻の良いところは教科専門の知識を学べるところです。社会科教育コースの良いところは色んな専門の人が集まっているので、学び合いができ、遺跡の話や、旅行に行くときに共通のネタができることです笑

学校教育教員養成課程  
中等教育専攻  
社会科教育コース  
山本 浩大さん  
(出身校：奈良県立高田高等学校)

## 大教大の好きなところは？

- 好きなところ  
空気が澄んでいる気がします笑  
晴れた日は、青空がきれいで、暗くなってから帰るときは、夜景がきれい。
- お気に入りの場所  
ゼミ室にはたくさんの本があるので、教材づくりもしやすいし、水道やレンジ、冷蔵庫などの設備も整っていて、とても落ち着く場所です。

## 受験生へメッセージまたはアドバイス

「教師になりたい！」。動機が何であれ、その気持ち・夢さえあれば、周りの仲間とともに頑張れる環境が、大教大にはあります。視野を狭めず、複数の校種での実習、様々な講義、学校現場での経験などを通して、夢を実現させましょう！  
「夢なき者に成功なし 一吉田松陰」、いつか一緒に働けることを…。

## キャリア支援センターのアドバイザーとのエピソードがあれば教えてください

初回から近藤先生にずっとお世話になっており、就活について曖昧な問いに対して一緒に考えていただきました。就活後半の4回生の6月頃には最終的な進路選択に迷い、心身共に疲れていたときに近藤先生にお話を聞いてもらい、安心して泣いてしまったことがあります。その相談をきっかけに自分の中での答えが明確になり、良い企業に就職できたため、大変感謝しています。

## 就職活動を終えて、これをして おいて良かったと思うところが あれば教えてください

「自分史を細かく作りながらの自己分析」です。私はやりがいがある仕事に就けなかったため、これまでの人生の中での出来事を振り返り、自分の中での気持ちの変化や性格・特性が現れているような瞬間を洗い出すことで自分の中での判断軸が明確にできたと思います。

## キャリア支援センターの活用について、 後輩へのアドバイスを お願いします

就活で何から取り組むべきか、スケジュールなど分からないことは山積みだと思うので、分からないままにするのではなく、キャリア支援センターのセミナーや面談の中で少しずつ取り組んでほしいと思います。そうすることで今後やるべきことが明確になり、円滑に進めることができると思います。また、一人で就活を乗り切るのは難しいことだと思うので、友人や家族に話づらいことも先生に相談しながら頑張ってください！



教育協働学科 理数情報専攻  
自然科学コース  
小野澤 怜花さん  
(出身校：四天王寺高等学校)

## もっとこうしておけば 良かったと思うところが あれば教えてください

ES作成や企業研究(インターン参加も含め)にもっと時間を割きたかったです。気になる企業が多かったのでとりあえずESを提出して選考に進もうとしてしまい、スケジュール管理が疎かになったり、一つ一つのESに時間を割けずに提出してしまうことが多かったためその点は心残りです…。

## 受験生へメッセージまたは アドバイス

大阪教育大学は自然豊かなキャンパスで同じ目標を持った友人とともに学べる場所です。教員を目指している方、教育に少しでも興味がある方には、吸収できることがたくさんあると思うので、ぜひこの場所で4年間学び、教育に携わる人材として将来活躍してほしいと思います。受験勉強は上手くないこともたくさんあるかと思いますが、ゆっくり休むことも大切です。十分な食事と睡眠を取る方が効率も上がり、はかどると思うので無理はしすぎず最後まで頑張ってくださいね！



# きめ細やかなサポート

本学は、時代に先駆けて行ってきた教養教育や、教員就職・企業就職・公務員就職に関する支援が充実しており、教員正規採用人数は毎年全国トップクラス、就職希望者の就職率は97.7%※と、高い就職実績を実現しています。

また、教員就職・企業就職ともに、人間的魅力や仕事ぶりにおける卒業生の評価が高く、社会の様々な場面で活躍しています。

2010年4月に開設したキャリア支援センターは、大学生活のあらゆる場での学生のキャリア形成と職業選択を支援することを目的とし、学生の進路・就職に向けたサポートを1年次からスタートしています。

「自分の適性」を把握し目標を持った大学生活を過ごすことが理想の就職につながるという観念に立ち、より実践的な就職支援プログラムを展開し、教育協働学科を有する本学だからできるきめ細かいキャリア支援をめざしています。 ※令和5年度末学部卒業生

Point

## 教員就職

経験豊富なキャリアアドバイザーが教員採用試験に向けた面接指導、場面指導や模擬授業対策など幅広いサポートをしています。

## 企業・公務員就職

専門のアドバイザーが企業・公務員就職に関する様々な相談に応じています。エントリーシート添削、面接指導など、きめ細かなサポートをしています。



教員志望者における  
教員就職率

# 99.4%

(講師含む、令和5年度末学部卒業生)

## 就職支援Webシステム

在学生専用Webシステム「Live Campus」では就職ガイダンスや各種対策講座の通知を受けたり、就職相談、面接指導の予約などができます。また、eラーニングのオープンソースでは、教員・企業・公務員就職に関する情報、ガイダンスの説明会の資料、ビデオ、大学に届いた求人情報等、豊富な情報にアクセスすることができます。

### 教採CAFÉ

教員採用試験の対策として、志望自治体が同じ学生同士が自発的に集まり、面接対策の練習や、筆記試験の情報交換等を行い、全員合格をめざす有志の会のことです。対面・オンラインを駆使して、自主的に面接練習などを行っています。



### インターンシップ

企業・官公庁等で、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことです。体験目的は、「アルバイトとの違いを知る」「自分の適性を知る」「業界を知る」等学生により様々です。近年は、1、2回生の募集も増えています。そのため、キャリア支援センター実施の学内説明会は、学年を問わず参加でき、インターンシップの意義や効果を伝えています。



## 入学

学校教育教員養成課程

養護教諭養成課程

教育協働学科

### 職業観をつかむ

キャリア支援センター教員担当授業科目

「キャリアデザイン」「キャリア形成」

入学時より授業(選択制)を通じてキャリア形成力を育成。

キャリア支援センター主催「キャリアガイダンス」

就活準備学生(昼間1、2回生、夜間2、3回生を対象)就活の現状とキャリア支援センターの利用方法や開催講座を紹介し、就活期へのスムーズな移行ができる準備ガイダンスです。



Point 1

1、2年次からの目標設定  
指導教員制による個別支援

### 教員をめざす

### 公務員をめざす

### 企業をめざす

#### データファイル

教員採用試験を受験した先輩たちが記録した試験内容、対策、勉強法など、膨大な情報を集めた本学オリジナルの冊子。学内で配布。先輩たちもこれを見て合格!

#### 教員就職ガイダンス

教員としての資質を磨く上で重要な事を確認。

#### 教師塾、学校サポート活動 学校インターンシップ

実際の学校現場を体験し、将来像や職業観の形成に役立てる。

#### 就職ガイダンス

今年度公務員試験の状況と、次年度の傾向と対策、勉強方法確認。

#### 就職ガイダンス

最新の就職活動状況、次年度の就職状況の説明を聞く。

#### インターンシップ

実際の職場を体験し、将来像や職業観の形成に役立てる。



#### 教採面接指導事前ガイダンス

面接の基本を確認。

#### 教採スタートアップガイダンス

2、3年次から始める教員採用試験対策の解説。

#### 私立学校教員合同説明会

各私立学校の採用担当者から、私立学校の魅力について聞くことができる。

#### 教員採用試験説明会

各教育委員会担当者から試験の詳細や変更点を知ることができる。

#### 面接対策指導

教育委員会や校長を経験されたアドバイザーによる面接練習を受けられる。

#### 筆記試験対策講座

個人では対策の難しい科目について、オンライン形式や講義形式で解説。

#### 実技・面接対策

水泳・音楽・体操など実技試験の対策、集団面接、模擬授業・場面指導の対策講座。

教員採用試験  
1次試験合格!

教採CAFÉで対策

教員採用試験  
最終合格!

#### 自己分析講座

採用試験の初めに必要な履歴書作成のノウハウを身につける。就職活動の第一歩となる自己分析について学ぶ。

#### 面接対策実践講座

企業・公務員の面接試験を実践練習。

#### エントリーシート・グループ ディスカッション対策講座

自己PR方法や簡潔な表現方法を学ぶ。

#### 企業説明会

本学学生の採用に意欲的な多くの企業・官公庁が集まる。



#### 就職相談

就職活動中の悩みを相談したり、求人情報を収集できる相談を随時開講。

公務員試験  
面接合格  
内定!

企業採用試験  
面接合格  
内定!

Point 2

独自のキャリアアッププログラムで  
学生の進路決定をサポート

Point 3

個別の進路に合わせた  
ガイダンス実施と情報発信

Point 4

進路別の対策講座・面接で  
細かな指導を実施

Point 5

卒業生を含め  
就職決定まで万全サポート

教員

公務員

企業



# 03 国際海外留学

Study abroad / International exchange

一步踏み出せば  
広がる新しい世界!  
異文化に触れて  
新しい自分を見つける!

## どうしてタイに留学しようと思いましたか?

一番の理由は、1回生で参加したオンライン留学プログラムをきっかけにタイに興味を抱くようになったからです。プログラムを通して仲良くなった現地の大学生と話す中で、タイの魅力を知り、一度足を運んでみたいと思うようになり、タイを研修先を選びました。

## 留学を迷っている後輩がいたら、何とアドバイスしますか?

迷うくらいなら、絶対に行った方が良いでしょう!卒業するのが遅れる、ホームシックになるかもしれない、など不安なことは尽きないと思います。でも、挑戦せずに後悔するより、やって後悔する方が、あなたの人生を何倍にも豊かにしてくれます。人生は一度きり!一步を踏み出してみてください。



## 留学に行きたいと 思ったきっかけや出来事、 留学の目的を教えてください

留学の目的は、タイのSDGsの取り組みについて学ぶことです。高校生の時から、SGHのメンバーとして世界の課題やSDGsについて学んできました。1回生の夏に参加した、チェンマイ大学のオンライン留学プログラムが充実しており、現地に足を運びたいと思うようになったのがきっかけです。また、現地の大学生との交流や英語の授業が含まれているプログラムに魅力を感じ、この研修への参加を決めました。

教育協働学科 グローバル教育専攻  
英語コミュニケーションコース  
山中 塔子さん  
(出身校:大阪府立三国丘高等学校)

## 留学に行く前、 特に不安だったことと、 実際に留学に行って その不安がどうなりましたか?

特に不安だったことは、孤独を感じないかということです。私が参加したプログラムは複数大学共同のものでしたが、大教大からの参加人数は3人と少人数でした。しかし、初日から様々なアクティビティが企画されており、英語の授業も10人ずつのクラスだったので、すぐに他大学の学生とも仲良くなることができました。研修期間中は一度も寂しい思いを感じることなく、本当に充実した日々を過ごすことができました。

## 受験生へメッセージまたは アドバイス

受験生のみならず、毎日受験勉強お疲れ様です。なかなか成果が出なくて落ち込んでしまうこともあると思います。でも、頑張った経験は一生ものです!頑張った先にはきっと楽しい大学生活が待っています。応援しています!

## いつ頃にどこに留学していましたか、 留学先の思い出もあわせて教えてください

2022年8月から2023年5月(大学4年時)までの間、アメリカ・ノースカロライナ州・ウエスタンカロライナ大学(WCU)に10か月間留学していました。留学先の大学でアルティメットフリスビー部に所属していたのですが、最初はチームメイトとのコミュニケーションに苦戦していましたが、学期末の最後の大会では連携などもうまくとれるようになり、楽しむことができました。



## 留学をして学んだこと 良かったと思ったこと は何ですか?

留学を通して学んだことは、自分の行動が大切ということです。海外に留学に行き、初めてマイノリティーを経験したのですが、マイノリティーだからこそ自分でコミュニケーションを探したり、新しい人に話しかけたりと自分で行動していることに気がつきました。その行動の中で色々な人とつながることができ、彼らとのコミュニケーションを通して多くの価値観を学びました。

学校教育教員養成課程 小中教育専攻  
英語教育コース  
矢部 大喜さん  
(出身校:大阪府立東住吉高等学校)

## 大教大の好きなところ、 所属する専攻やコースの 良いところは?

授業の規模も比較的小さいので教授との距離感も近くコンタクトも取りやすい所やのどかな場所にキャンパスがあるところです。帰り道に大教大から見える夕焼けや夜景も最高です!小中教育専攻の良いところは、小学校の免許だけでなく中高の免許も取得できることやアットホームで学生同士仲が良いところです。

## 留学に行く前、特に不安だったことと、 実際に留学に行ってその不安が どうなりましたか?

お金の不安と言葉が通じるかという心配はありました。WCUは田舎の大学なのであまりお金を使うところなかったためお金の不安はなくなりました(笑)。言葉の心配は行ってからもありましたが、とにかくへたくそでも友達に話続けることを心掛けました。

## 留学先で印象に 残った出来事を 教えてください

日本語クラスでのTAやチューター活動で現地学生の日本語指導のサポートをさせていただき、日本語のライティング力やプレゼンでの音読の向上に貢献できたことです。日本語を学習する学生にもそれぞれのバックグラウンドがあり、様々な理由で日本語や日本という国に興味や関心があることをTA活動や日本語クラブのイベントを通して知れました。

## 受験生へメッセージまたはアドバイス

支えてくれている周りの人に感謝をして、今自分ができることを精一杯頑張りたいと思います。応援しています。





# 新たな価値観を見出す

Point 1

Point 2

## 交換留学(6ヶ月~1年間)

学生交流協定に基づき、本学の学生が海外の協定締結校へ留学し、海外の協定締結校の学生も本学へ留学する制度が、交換留学です。大阪教育大学では、アジア・アメリカ・ヨーロッパなどの大学(海外14か国・地域38校)に交換留学生として留学することができます。留学期間中は、「休学」ではなく「留学」の身分として、各自の専門に応じて、開講されている科目から選んで履修できます。

## 海外短期研修(1~5週間)

本学では、海外協定校協力のもと、夏休みや春休み等を利用して1週間から5週間現地に滞在する語学研修・文化研修・観察実習プログラムを多数実施しています。語学を学ぶとともに異文化を体験する語学研修プログラムは、アメリカ、ドイツ、フランス、オーストラリア、カナダで実施しています。また、文化研修は韓国、台湾、スイスで行っています。教員養成大学の特色を生かし現地小・中学校等で見学・実習を行うプログラムもアメリカ・シンガポールで実施しています。授業として開講している研修も多数あります。

## 留学支援

### 充実の語学学習サポート!

大学内でTOEFL®、IELTS™等各種外部試験のサポートや、TOEFL ITP® 試験を実施しています。また、外国語学習支援ルーム(GLC)では、英会話チャット、ネイティブ教員の個別指導、教員やラーニングアドバイザーによる学習相談、様々な国際交流イベントの他、多数の多読本、外国語検定対策本(英・仏・独・中・韓)の貸出を行っており、留学に向けた語学学習をサポートしています。



### 留学資金のサポート体制も充実!

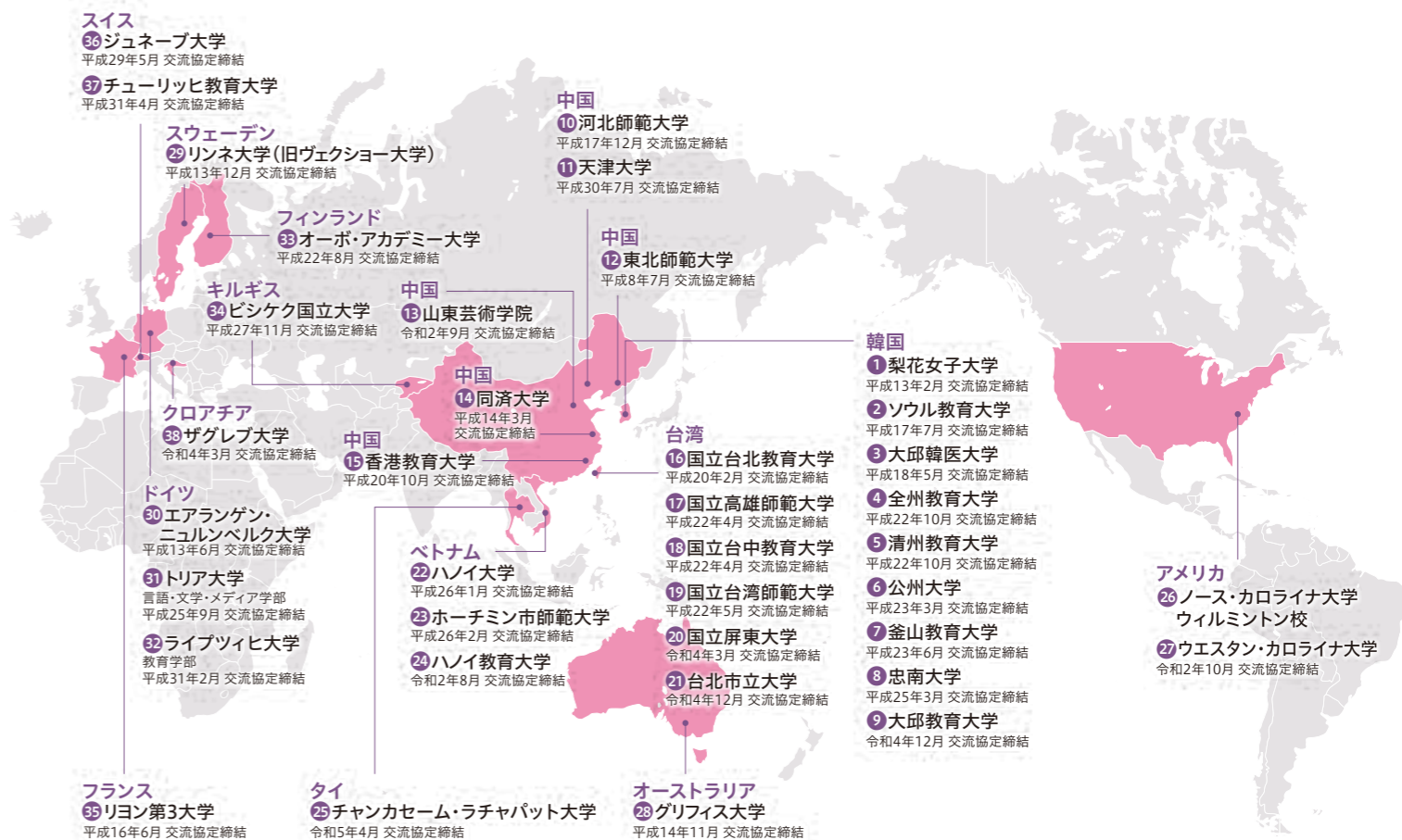
交換留学を終えた学生に半期分の授業料を免除する制度を整えています。また、海外留学のための給付型奨学金(文部科学省・日本学生支援機構・民間団体等)を獲得するために、留学計画や小論文などの申請書類の作成をサポートしています。令和5年度では、給付型奨学金を希望した9割以上の学生が奨学金を受給しました。



# 学生交流協定締結校一覧

(令和6年5月1日現在)

# 14の国・地域 38の海外協定校



## 2学期4ターム制の導入

本学では、平成29年度から、2学期4ターム制を導入しています。短期間で集中的に学ぶことによる教育効果の向上はもとより、海外留学等に参加しても、授業を履修しやすくする環境づくりをするとともに、ターム科目の開講を順次拡大しています。

## 導入によるメリット

01

留学や海外体験がしやすくなる

段階を経て、ターム科目を増やし、留学や海外体験をしやすくなります。また、留学や語学研修に参加しても、修業年限で卒業・修了できるような学年暦及びカリキュラム編成をめざします。

02

短期集中型授業による学修

短期間で集中的に学び、重点的に予習・復習を行うことによる教育効果の向上をめざします。

03

多様な学外活動に参加できる

まとまった時間を利用して、教育実習や学校インターンシップなどの学外実習や、ボランティア活動などの自主的活動を行えるような環境づくりをめざします。



# 04 サークル & クラブ

Club activities

仲間と一緒に  
夢中になれる！  
みなぎる活力が  
明日への力になる！

## クラブやサークルに入ろうと思ったきっかけは何ですか？

5歳から始めた剣道を大学でも継続して取り組み、技術面だけではなく人間的にも成長したいと思ったからです。また、高校3年生の時に新型コロナウイルスの影響で大会が中止になるなど、思うような活動ができなかったこともあり、大学では高校時代の分も頑張りたいと思ったことも剣道部に入ろうと思った1つの理由です。

## 活動の中で一番の思い出は何ですか？

全日本学生剣道優勝大会に出場したことです。高校時代に出場が決まっていた全国大会が新型コロナウイルスの影響で中止になり、つらい思いをしたので、大学で全国の舞台に立てたことは本当に大きな経験になりました。また、稽古に取り組んだ毎日や剣道を通して多くの方々に出会えたことも大切な思い出です！



教育協働学科  
スポーツ科学専攻  
山本 浩輝さん  
(出身校: 奈良県立郡山高等学校)

## 大教大を選んだ理由は？

高校入学当初から国公立大学進学を目指していて、実家からも通いやすく3学年上の姉も大教大に通っていたこともあり、気づけば志望していました。専門競技を活かして学校推薦型選抜を受験できると知り、第一志望にしました。また、自分の好きなスポーツに関して知識を深めたいと思ったことや、教員・企業・公務員・進学などと進路選択の幅が広いということも大教大を選んだ理由です。

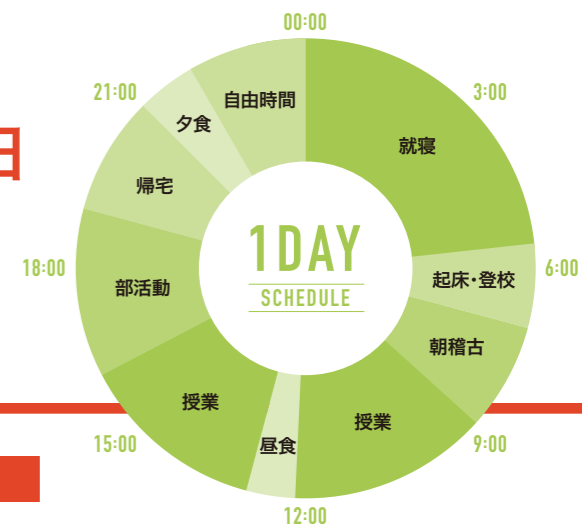
## 受験生へメッセージまたはアドバイス

受験勉強は思うようにいかなかったり、焦ったりするときもあると思いますが、目の前の勉強や部活動、学校行事には全力で取り組んでください！ただし、健康第一でたまには休息も取ってください。受験は最後まで何が起るかかわからないので、粘り強く頑張ってください。

## 学業とクラブやサークル活動の両立で大変なことは何ですか？

中学校も高校も部活をしており、そこまで学業と部活動の両立で大変だと感じたことはありませんが、挙げるとすれば、朝が早くて眠たくなってしまうことがたまにあります。家に帰った後は課題に取り組む気が起らないので、授業の空きコマを活用して早めに課題に取り組むなどの工夫をしています。

## 充実の一日



5:30~7:00

### 起床・登校

朝練がある日は5:30までに起床しています。  
6:00に家を出て、大学に向かいます。  
入学当初は早起きが大変でしたが、今は慣れました！

7:00~8:50

### 朝稽古

稽古は7:30からですが、7:00には道場で素振りをしたり準備運動をするようにしています。約1時間ほどの短い間ですが、その分集中して自己の課題に向き合い稽古に取り組んでいます。



8:50~12:05

### 授業

スポーツ科学専攻に所属しており、保健体育の教員免許取得に向けて日々勉強しています。座学だけではなく、実技もあり様々な競技に挑戦しています。



12:05~12:55

### 昼食

いつも食堂で友達と昼食を食べています。ミールパスを利用しています。



ブルコギ丼



16:10~19:00



### 部活動

4限終了後に稽古があります。曜日によって開始時間が異なりますが、短い時間でも集中して稽古に取り組んでいます。



ササミチーズ  
タルタルソース



# Club & Circles

## 豊かな活動で生活に潤いを

キャンパスでは各ジャンルのサークルが結成されています。  
クラブやサークルの仲間とともに過ごす4年間には、一生の素晴らしい思い出を作るチャンスが豊富にあります。



準硬式野球部

昨年は全国大会準優勝。そして今年も全国大会出場が決まり日々高みを目指し元気に練習しています！



ラグビー部

少ない練習時間でメリハリをつけて日々練習に励んでいます。関西Bリーグに属し、初心者から経験者まで部員全員で力を合わせて勝利をめざしています。



軟式野球サークル elements

対外試合や合宿などをメインに、楽しく勝つ野球をモットーに活動しています！熱く泥臭いサークルです！



ダンスサークル DIL

学年・性別の垣根を越えて、皆でわいわい練習しながらライブを年4回ほど行っています。リズムに乗って体を動かす楽しさが醍醐味です。



男女バスケットボールサークル

学年も性別も関係なく、バスケを通して部員みんなが仲良く笑い合える時間づくりをめざしています。平日活動に加えて、学外の方との交流試合も行っています。



女子バレーボール部

関西リーグ2部昇格をめざして練習に励んでいます！



女子ハンドボール部

1部昇格に向けて、力を合わせて頑張っています！



女子ラクロス部

「oneandonly」をスローガンに2部入れ替え戦出場を目指して日々練習に励んでいます！



軽音楽部

学園祭などの学内ライブから定期演奏会などの学外ライブまで、様々なイベントを演奏技術の向上を目指しながら楽しく行っています！



吹奏楽部

年2回の自主公演を主な活動とし、経験の有無に関係なく楽しく練習を重ねています！



琉球鼓舞  
いちやりばちよーでーエイサー隊

はいさ〜い！普段は小学校でエイサーの演舞指導をしたり、地域のお祭りに参加したりしています！エイサーだけの青春がここにある！！



モダンダンス部

モダンダンス部では自分たちで一から創作に取り組んでいます。大会や自主公演に向けて日々練習に励んでいます！

柔道部

男女とも全国大会での勝利を目指して日々稽古に励んでいます！



### 体育会 (31団体)

- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- 男子ハンドボール部
- 女子ハンドボール部
- 男子ラクロス部
- 女子ラクロス部
- 男子サッカー部
- 女子サッカー部
- 硬式野球部
- 準硬式野球部
- ラグビー部
- アメリカンフットボール部
- 硬式庭球部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- バドミントン部
- 剣道部
- 柔道部
- 合気道部
- 山岳部
- 空手道部
- 体操競技部
- 陸上競技部
- 水上競技部
- スキー部
- フィギュアスケート部
- モダンダンス部
- 弓道部
- L.S.B

### 文化系クラブ・サークル (14団体)

- 映像制作サークル「ライパチフィルム」
- 漫画研究会
- Let's Play
- 聴覚障害学生と共に手話を学ぶ会
- 茶道部
- 放送研究会
- 文芸部
- 演劇集団FREEDOM INFINITY
- 写真部
- パソコンPaPa
- かるた会
- 琉球鼓舞 いちやりばちよーでー エイサー隊
- 点訳サークルまんてん
- 邦楽研究会
- YOSAKOI ソーランサークル 凜凜
- フォーク集団べんべん草

### 体育系クラブ・サークル (6団体)

- ローンテニス部
- 男女ソフトボール同好会
- 軟式野球部
- C.I.O. サークル池田組
- バレーボール同好会
- Soft Tennis Circle

### 音楽系サークル連合会 (5団体)

- 軽音楽部
- 混声合唱団
- 吹奏楽部
- 邦楽研究会
- フォーク集団べんべん草

### 大学行事クラブ・サークル

- 大学祭準備会

### 天王寺キャンパス学生団体 (16団体)

- 学生局
- サークル連絡協議会
- バドミントンサークル
- 軟式野球サークル elements
- フットサルサークル
- ソフトボールサークル Phoenix
- 男女バレーボールサークル
- 男女バスケットボールサークル
- ダンスサークル DIL
- 剣道サークル
- 手話サークル パエリア
- お笑いサークル 笑賊団
- 音研究会
- 軽音楽堂 LED GIGs
- 混声合唱団 ア・コール
- 天文サークル SKYcrew



# 05 一人暮らし

Living alone

計画性を身に付け  
憧れの自立生活！  
寮での共同生活も  
毎日が新鮮！！

## 一人暮らしを始めたきっかけは何ですか？

一人暮らしを始めたきっかけは大学進学です。実家は香川県にあるのですが、音楽を専門的に学びながら高等学校の教員免許も取得できる環境のある大学を探したところ、大阪教育大学が一番適していると思い、受験しました。そして、進学を機に一人暮らしを始めました。

## 一人暮らしをしている中で学んだことや成長を感じたことはありますか？

一人暮らしをしているなかで、計画性が身についたなと感じています。大学の課題や楽器の練習をしたり、バイトに行ったり、家事や買い物をしたりと、一人暮らしはすることが多く、初めのうちはなかなか慣れませんでした。しかし今では、空きコマで課題や練習をしよう、火曜日はこのスーパーが安いから時間を作って行こう、バイトまでに家事をしておこうなど、1日の計画を自然に立てられるようになりました。



教育協働学科 芸術表現専攻  
音楽表現コース  
川村 あみさん  
(出身校：香川県立観音寺第一高等学校)

## 一人暮らしの場所を選ぶ際に重視したことは何ですか？

防犯面と大学からの距離を重視しました。初めての一人暮らしは何か起こるか分からなかったため、オートロックが付いているか、2階以上の部屋に住めるかなどを確認していました。また、大学から30分以内に通える場所を選ぶことで、通学時のストレスを減らすことも重視しました。

## 一人暮らしをしている中で最も思い出深いエピソードは何ですか？

近くに住んでいる同期と夜集まって映画を見ながらご飯を食べたり、演奏会を開催したことです。同じ音楽表現コースの同期4人が同じマンションに住んでいるのですが、その4人は性格も専攻している楽器もバラバラで、近くに住んでいなければ一緒に演奏会をするほど仲良くなれなかったと思います。仲良くなれたのは、共に一人暮らしをしていたからだと思います。

## 受験生へメッセージまたはアドバイス

大変な時期かもしれませんが、まず自分の夢や目標に向かって努力しつづけていることを誇りに思ってください。適度な休息やストレス発散も忘れずに行い、心身ともに健康を保ちながら、自分のペースでコツコツと勉強に取り組みましょう。自分の可能性を信じて、自信を持って受験に臨んでください。成功を祈っています！

## アルバイトで自立した生活を

平成30年12月末をもって大学窓口でのアルバイト・家庭教師紹介業務を終了しましたが、「学生アルバイト情報ネットワーク(バイトネット)」に紹介業務を移行し、引き続き紹介業務を行っています。

Voice

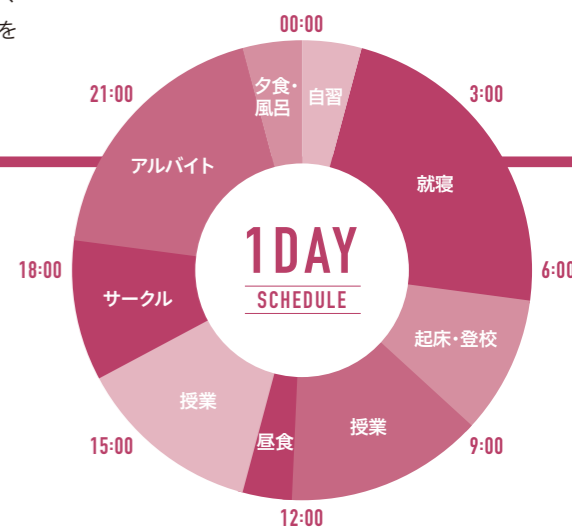


## アルバイト体験記

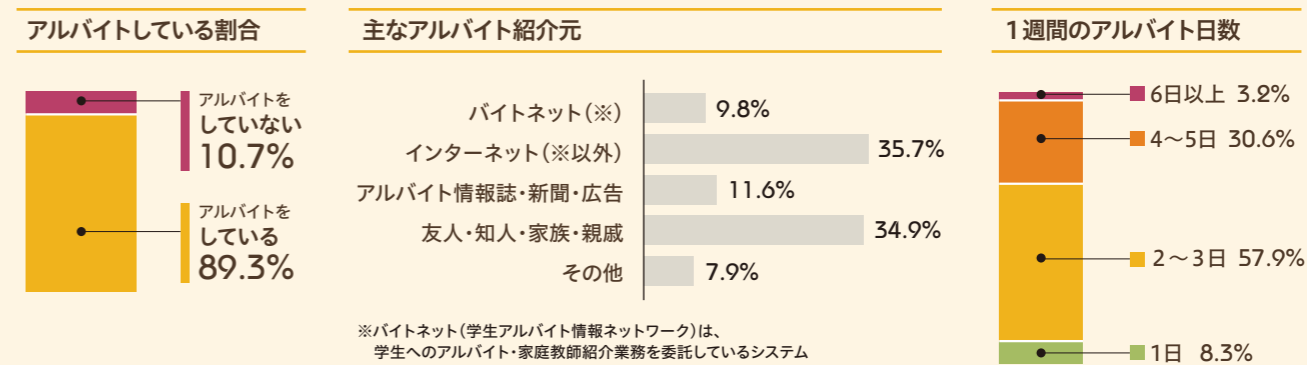
学校教育教員養成課程 小中教育専攻  
数学教育コース  
山口 凌矢さん  
(出身校：奈良県立畝傍高等学校)

私は将来教員を目指しており、少しでも将来の役に立てばよいと考え、塾講師をしています。塾講師は勤務の時間帯が夜になることが多く、サークル活動との両立がしやすいことも魅力です。また、日頃から中学生や高校生に授業をしているので大学での模擬授業では緊張することなく落ち着いて発表することができています。大学生は高校生に比べ、自由な時間

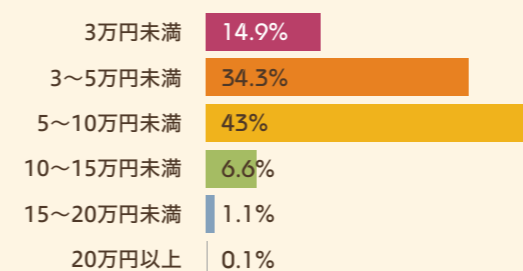
が多く行動範囲もひろがるので自分が経験してみたいアルバイトにぜひチャレンジしてみてください。働くということは責任をもつことにもなりますが、社会勉強にもつながります。アルバイトをすることでアルバイト先の仲間や先輩たちとも仲良くなることができ、より充実した大学生活が送ることができます。



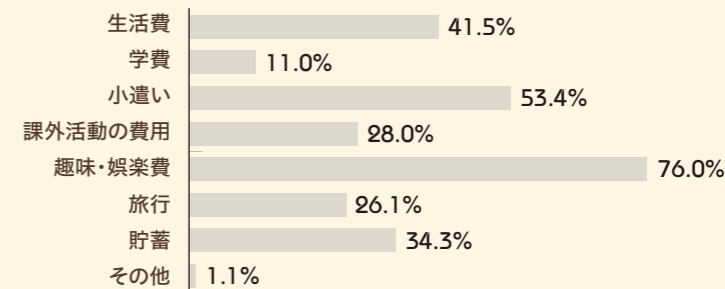
## Column 大教生のアルバイト・お財布事情 (令和元年度 学生生活実態調査より)



### 1ヶ月のアルバイト収入



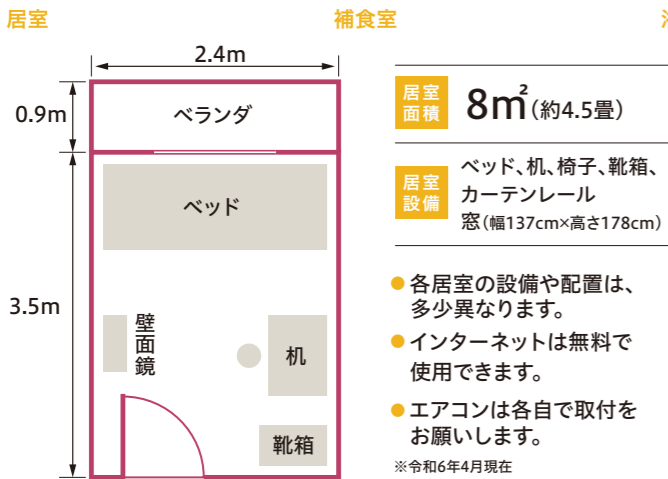
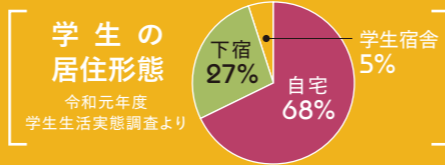
### アルバイトで得たお金の使い道 (複数回答可)





## 学生宿舎で仲間と共同生活

柏原キャンパス内には、本学学生の勉学に資する居住の場を提供し、修学を容易にすることを目的として設置された、男子学生宿舎と女子学生宿舎が各1棟あります。入居者の募集は入学時および途中退去者が出たときに行い、入居資格を満たした申請者の中から大学の定める選考基準に基づき選考委員会において選考されます。



宿舎名	収容定員	居室形態	宿舎料(月額)	共益費(月額)
男子学生宿舎	60人	全室個室	5,000円	700円
女子学生宿舎	80人	全室個室	5,000円	700円

宿舎料・共益費のほか、居室内および共有部分の光熱水料費として、月額および5~6,000円が必要です。上記の金額は令和6年度の金額で、在学中に改定が行なわれた場合には、改定時から適用されます。

### 宿舎に住んでいる学生のコメント

- ◎宿舎費が安い!
- ◎キャンパス内にあるので通学がしやすい!
- ◎宿舎から出て買い物に行くのは大変だから生協食堂をよく利用します。
- ◎談話室に集まって、ご飯を作って食べることもしています。
- ◎友達がいるからさびしくありません。
- ◎お風呂が広くて良いです。

入居に際して

- 学生宿舎は数に限りがあるため、希望されても入ることができない場合があります。
- 入居者は、必ず決められたルールを守っていただきます。

入居者のルールの一部

- 建物内禁煙 ※入居者以外立入禁止
- 入居者同士のプライバシーの保護

## ボランティアで自身の経験値を高める

大阪教育大学では、学生ボランティア活動の情報提供窓口としてボランティアデスクを設置し、教員養成大学の学生にふさわしいボランティア情報を提供しており、大阪教育大学の学生の35%がボランティア活動に参加しています。学校などの児童や生徒に対するボランティア活動に参加する学生が多いです(令和元年度学生生活実態調査)。



### 学校サポート活動

今しかできない体験!  
現場がわかる!  
子どもがわかる!



自らの問題意識に応じて主体的に学校の教育に参画していくサポート活動を通して、児童・生徒や教職に対する理解を深め、指導力の向上を図ります。

### SAS (Study After School)

大阪教育大学と  
柏原市が連携して行う  
放課後学習支援事業



放課後に小学校の空き教室を利用し、学生が子どもたちの学習補助をしながら、実践的な経験ができる取組です。

### 森林体験学習

子どもとふれあい  
自然に対する  
理解を深める



本学・柏原市・柏原市教育委員会が連携して支援しています。学生リーダーとして柏原市小学校での森林体験学習の実施(森のピンゴゲーム、植物のなかま分け、リース作り、竹細工などのアクティビティ)をサポートします。

## 大阪教育大学では学生に各種ボランティア活動を推奨しています

### Voice

学校教育教員養成課程 中等教育専攻  
理科教育コース  
吉田 駿作さん  
(出身校:兵庫県立星陵高等学校)

防犯面を考えた時の安全性や、大学に近くコストを抑えられるという点で学生寮に入居しました。警備員さんが常駐して下さることや大学の様々な施設に近いことなどの魅力がこの学生寮には多くあります。寮内には個人の部屋と共有スペースがあり、補食室で一緒にご飯を食べながら談笑している人も多くいます。また入居者同士の交流を深める機会も用意されています。このようにすぐ傍に誰かがいるという寮特有の空間だからこそ作っていく交友関係も魅力の一つです。これまで僕は寮生活をしたことがなかったので少し不安でしたが、何気ないことを話したり、何か助けてほしいことがあった時にはすぐに声をかけることができる存在がすぐ傍にいることは、慣れない大学生活の中で大きな支えになりました。ただ下宿するだけでは得られない人との繋がりを得られる寮生活をあなたと一緒に始めてみませんか。「親愛なる隣人」はあなたの大学生活を送るうえで重要なパートナーになってくれると思います。



▲ 談話室でのおしゃべりが癒やしの時間!

### Voice

## ボランティア体験記

私は、大阪教育大学と柏原市が連携して行っているSASというボランティアをしています。SASとは、学生が主体となって放課後、子どもたちに勉強を教える活動です。この活動では、実際に教育現場にいる子どもたちの様子を見ながら、学生たちでどんな取り組みを行うべきか考え、挑戦することができます。また、現職の先生と関わることで、様々なアドバイスをすることもできます。このことは、大学の講義だけ

では得ることのできない貴重な経験だと感じています。私は、この活動の中で特に大好きな瞬間があります。それは、子どもたちが苦手な問題を解けた瞬間です。「できた!先生ありがとう!」と嬉しそうにしている子どもたちを見ていると自分自身も頑張ろうという気持ちになります。また、教員になりたいという気持ちがより一層強くなったことからボランティアをやってみて良かったと感じています。



学校教育教員養成課程  
特別支援教育専攻  
谷野 彩音さん  
(出身校:横浜市立金沢高等学校)



# 06年間行事

Event schedule

四季折々、季節ごとの  
イベントが盛りだくさん！  
一つひとつの思い出が  
掛替えのない宝物

## 大学祭等のイベントの企画や準備が一番大変だったことは何ですか？

2023年度神霜祭で、芸能人企画を復活させたことです。新型コロナウイルスの流行による自粛要請等によって芸能人を呼ぶ企画は2020年度から実施できなくなっていました。そこで、「自分たちの代で復活させよう！」ということになったのですが、芸能人企画を行っていた当時を知る実行委員会の先輩方は卒業して、どのように企画を進めていけばいいのか分からず、失敗はできないという緊張感の中で、険しい道のりを歩みながら、企画を進めていきました。

## 大学祭をより良くするために心がけていることはありますか？

運営している自分たち自身が楽しいと思える企画を行うことです。どれほど規模の大きな大学祭を行おうとも、運営している実行委員会が楽しそうにしていなければ、来場していただいた方も楽しめないからです。そして、実行委員会の委員長である自分が常に誰よりも笑顔でいて、楽しそうにすること。自分の笑顔はメンバーや参加団体さん、来場者の方々にも伝播すると信じて、それを心がけていました。



## 大学祭のイベントや企画の中でこういったところに注目してほしい！

大教大の学祭は5月の五月祭、11月の神霜祭の二種類があります。どちらの学祭も、実施内容としては大きく三つで、飲食出店、教室出店、ステージ企画です。そのどれもが、参加団体の個性が爆発しているので、ぜひすべての出店、ステージ出演団体の個性に注目してほしいです。また、実行委員会は大学祭の度に、A棟のガラスに大きな絵を張り出します。毎年壮大で圧倒されるようなスケールのものを描いていますので、見に来てください！

学校教育教員養成課程 小中教育専攻  
理科教育コース  
毛穴 大翔さん  
(出身校:大阪府立堺東高等学校)

## 大学祭実行委員の活動の中でやりがいを感じたことは何ですか？

学祭開催中に会場内を巡回していた時に、小さいお子さんやご年配の方々まで多くの方々に来ていただき、自分たちが作った学祭を楽しんでくださっているところを見たときに自分たちのやってきたことは間違っていなかったんだと、改めて実感しました。また、学祭が終了し、無事撤収も終わった後、実行委員会メンバーで最後の集合写真を撮影した時に、このメンバーたちと苦楽を共にしてきてよかったと、心の底から思えて、やりがいを感じました。

## 受験生へメッセージまたはアドバイス

受験期というのは、人生でも屈指の高い壁です。しかし、この受験という時間を使って、誰よりも勉強してください。あなたにたまった知識や知見は、大学に入学した後に大きく役に立ちます。今は勉強することを苦しいとしか思えないかもしれませんが、たくさん勉強してから大学に入ると、自分の目に映る世界は確実に広がります。どうか負けないでください。

### 入学式

音楽教育コースと芸術表現コース(音楽分野)の学生たちの合唱により幕が開く入学式。学長によるお話の後は、本学が誇る音楽表現コースオーケストラの記念演奏が花を添え、新たな一歩を踏み出した後輩たちを、盛大に祝福します。

### サークルフェスティバル

春、新入生の訪れとともに、柏原キャンパスの大通りで、多くのクラブ・サークルがお出迎え。新入生勧誘のため、あの手この手を使い、趣向を凝らしてしのぎを削ります！  
新入生・編入生歓迎行事(天王寺キャンパス)

4 APR

5 MAY

6 JUN

7 JUL

8 AUG

9 SEP

10 OCT

11 NOV

12 DEC

1 JAN

2 FEB

3 MAR

### 五月祭

大学にも少し慣れた5月、春の学園祭である「五月祭」が開催されます。五月祭は、新入生が中心となって創作するお祭り。仲間たちと交流を深め、友情を育み、青春を分かち合います。

### フィールドワーク

外の社会を広い目で学ぶ「フィールドワーク」。教員養成課程では、柏原市をはじめとした公立学校での観察実習プログラムがあり、1回生から学校現場を体験できます。専攻によっては、博物館や研究所を見学することも。  
学生大会(天王寺キャンパス)

### オープンキャンパス

例年約4000人以上が訪れるオープンキャンパスには、大学の魅力を紹介するため、学生たちもスタッフとして参加しています。※今年度はオンラインと対面で開催

### 語学・文化研修

長い夏休みは、異国の地で未知の世界にふれるチャンス。欧米やアジアの協定校で、プチ留学に挑戦してみましよう！



たまごどり

イベントや  
行事の中にも  
学びがたくさんある！

### 神霜祭

神無月(10月)と霜月(11月)の期間にかけて開催される、本学最大の学園祭。ステージでは、ダンスや音楽ライブ、漫才などのパフォーマンスが繰り広げられ、周辺に連なる模擬店には、地元住民の皆さんが紅葉を眺めながら列をつくります。

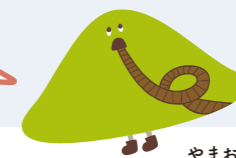
### 芸術表現コース(音楽分野) 定期演奏会

プロオーケストラも多数公演するザ・シンフォニーホールで、教育協働学科芸術表現コース(音楽分野)オーケストラによるコンサートが開かれます。同じ学生と思えない本格的な演奏と合唱に、感動すること必至！  
大学祭(天王寺キャンパス)

### 人権教育全学シンポジウム

人権尊重への意識を高めることを目的に、1979年から続く、本学の理念を表すシンポジウムです。講演やパネルディスカッションを通して、人権とは何かを考えます。

一年中、いろんな  
イベント会場を  
盛り上げます！



やまお

### 公立学校・私立学校 教員説明会

教育委員会による自治体説明会やさまざまな私立学校が集まる合同学校説明会に参加して、未来に向かってステップアップ！

### 卒業式

先輩たちの旅立ちの日。やまおとたまごどりも舞台上に立ち、卒業生の門出に花を添えます。  
卒業行事(天王寺キャンパス)

※一例であり、状況により実施しない場合もあります。



YouTube

OKU Channel



イベントの様子や  
インタビューなど  
動画を随時更新中！  
チャンネル登録してね！



# 07 ショップ 食堂 &

Restaurant & Shop

美味しいごはんが  
勢ぞろい！  
便利なショップもあり  
みんなの憩いの場！

教育協働学科 教育心理学専攻  
**脇 鈴歩**さん  
(出身校:大阪府立生野高等学校)



## 食堂のメニューで一番おすすめのものは何ですか？

食堂で一番おすすめのメニューは「肉じゃがコロッケ」です。食堂の揚げ物はどれもサクサクとても美味しいですが、特に「肉じゃがコロッケ」はニンジンやじゃがいも、お肉をたくさん感じられて絶品です！値段も安く、コロッケが売られている日はついおやつ感覚で買ってしまいます。

## 大学生協(=ショップ)の魅力について教えてください

生協は組合員の出資金で成り立っているので、組合員の意見を最大限に受け入れてくれます。具体的には、「ひとことカード」というものがあるのですが、そこに書くとし協の職員さんは最大限に受け入れてくれます。例えば「この商品を置いてほしい。」とか、「食堂にこのメニューを追加してほしい。」と書くとは限りませんが、多くのものが実際に販売されるようになっている印象です。また、実現できなかった意見にも、生協の職員さんが丁寧に返答をしています。生協と組合員がつながり、一緒に豊かな大学生活を作り上げるといえるのは生協ならではの取り組みであると思います。

## 受験生へメッセージまたはアドバイス

毎日受験勉強お疲れ様です。勉強すればするほど自分のできていないところが見えてきて、自信を失うなんてことはありませんか？私が大学生になって思うことは、「自分のやりたいことをあきらめてはいけない」ということです。辛い受験勉強を乗り越えると「やりたいこと」に近づけると考えて、最後まであきらめないでください。「やりたいことをあきらめない」という姿勢が今後の人生にも関わってきます。応援しています。

M 大学会館



## SUN CAFE, Dining TERRA, 第2食堂、Restaurant FORETで一番利用頻度が高いところは？

一番利用頻度が高いのは、第二食堂です。なぜなら一番営業している日数が多くて、営業している時間が長いからです。第二食堂は土曜日の営業と夕食営業も行っています。第二食堂にはサークルの後など、夜おながすいたときに「揚げパン」を食べに行きます。土曜日が暇なときは土曜日に第二食堂でお昼ご飯を食べることもあります。

## 大教大の好きなどころは？

大教大の魅力は教員志望や教育関係に興味を持っている人がたくさんいて、その人たちと関わることができることです。優しく面白くて真面目な学生が多く、多くの学生が夢に向かって日々頑張っています。また、大教生は活発な人が多く、部活・サークルに入っている人がたくさんいるので、大学生活を楽しんでいる人が多い印象です。



## SUN CAFE

場所 大学会館3階  
営業時間 平日11:30~13:30/土日祝休業

日替わりサンドセットを中心にスイーツやポテトフライなど、他の店舗にはないメニューを食べることができます。軽食・デザートが充実しているカフェレストランです。



日替わりサンドセット

いちごパフェ

## Dining TERRA

場所 大学会館1階  
営業時間 平日11:30~13:30/土日祝休業

ごはん・おかず・惣菜・麺類・カレー・丼など、お好みのメニューを自由に組み合わせることができるカフェテリア形式。学内で1番広い食堂です。



照り焼きチキン



豚塩おろしうどん



## 第2食堂

場所 大学会館2階  
営業時間 平日土11:00~14:00/日祝休業  
※授業のある平日のみ夕食営業あり(17:00~19:45)

麺類・カレー・丼などの単品メニューを注文する形式と、待たずにおかずやご飯を食べられるスピードレーンがあります。急いでいるときも安心して利用できる食堂です。



チキン南蛮丼



担々麺



Restaurant FORET 大学会館2階  
営業時間 平日11:45~14:00/土日祝休業

スタッフが席まで料理を運んでくれるフルサービス形式。落ち着いた雰囲気です。



テイクアウトショップ 大学会館3階  
営業時間 平日11:45~13:00/土日祝休業

あったかいお弁当のテイクアウト専門店です。



Shop IRIS 大学会館2階  
営業時間 平日8:20~16:45/土日祝休業

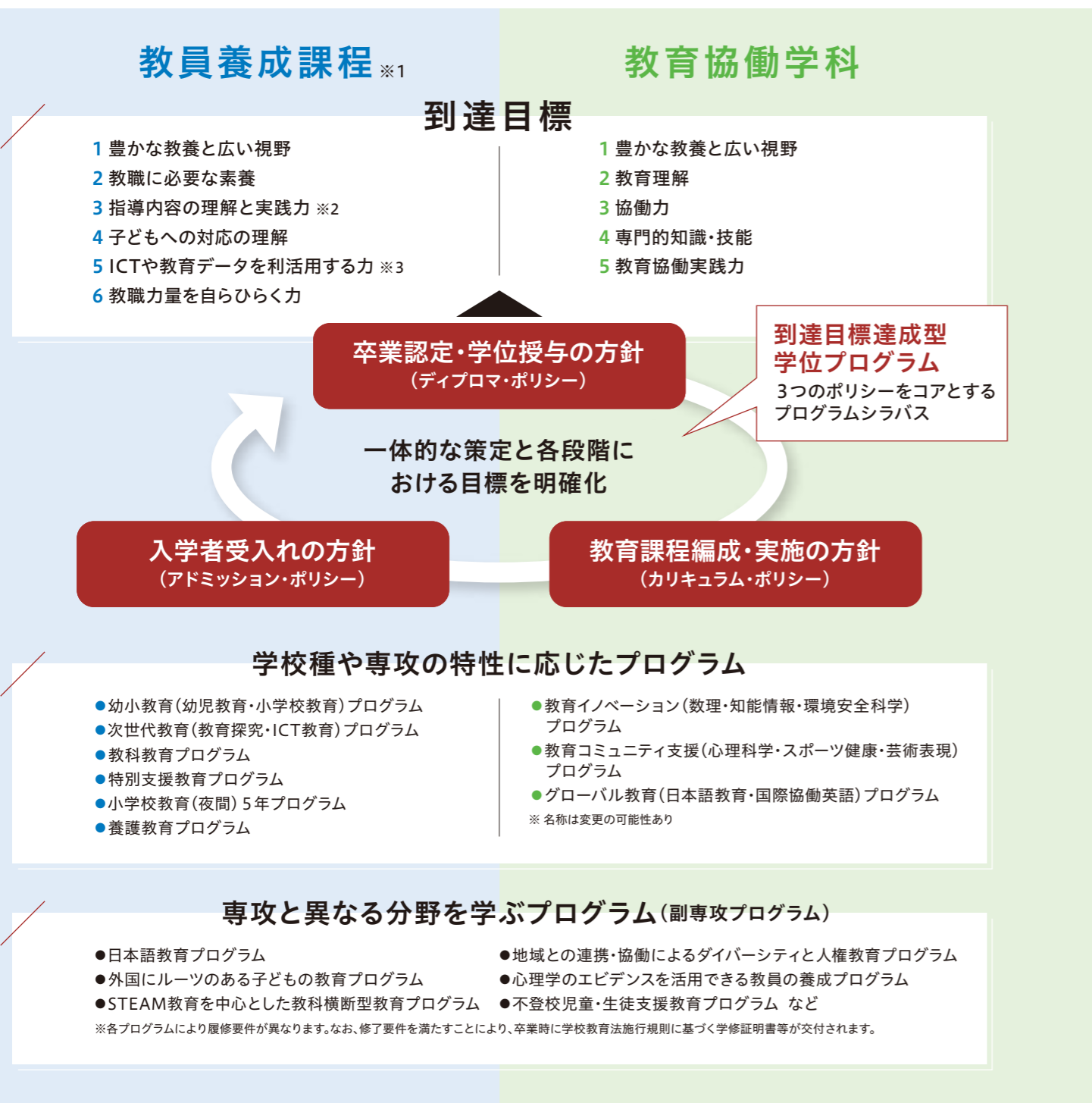
お弁当やお菓子などの食品から、書籍、文具、生活用品、国内海外旅行、教習所紹介、各種レンタル物品、パソコン(及び修理相談)など幅広く取り扱っています。

※記載の営業時間は大学の授業、課外活動等が通常通り行われる場合の営業時間です。営業時間や店舗の形式が変更になる場合があります。



# 08 学位プログラムと3つのポリシー

学位プログラムは、平成29年度学部教育より導入し、各プログラムに定める到達目標(卒業時に身に付ける力)達成型の教育課程として、運用を行っています。「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー **P.89**)」、「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー **P.90**)」及び「入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー **P.85**)」を一体的に策定のうえ、卒業時に到達目標を達成できることを念頭に置き、カリキュラムを実施します。



各専攻・コースに対応した学位プログラムは本学WEBページにてご確認ください。

※1 学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程をいう。 ※2 養護教諭向けには、養護実践力 ※3 学校教育教員養成課程のみ



# 学修成果評価システム

学業成績や学外実習、課外活動とボランティア活動などから構成される学修成果の蓄積と到達目標への到達度を明らかにするポートフォリオの構築を行いました。学生自身が自己の学びをふり返り、次の学びのデザインを行うための新たなツールとして整備し、主体的な学びを促進しようとするものです。

01 Evaluation System

## 学修プロセスの蓄積

授業の成績や、学外実習、課外活動、ボランティア活動における取組の成果をポートフォリオに蓄積し、活用を支援します。



## 学修のふり返りと学びのデザイン

指導教員は、入学から卒業までの間、継続的に面談をおこない、ポートフォリオに基づいて指導や助言をし、良好な大学生活を送れるように支援します。

電子ポートフォリオをコアとする学生による学修成果評価システム

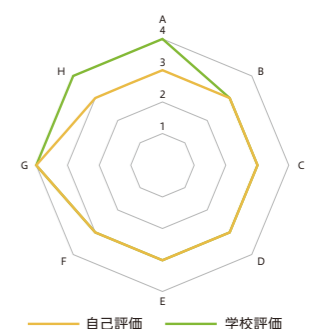


03 Evaluation System

## 教育実践力の育成

キャンパスにおける学びをもとに、学校における教育実習や、インターンシップによる活動を通じて、これからの教職に求められる実践的資質・能力の形成プロセスを確認します。

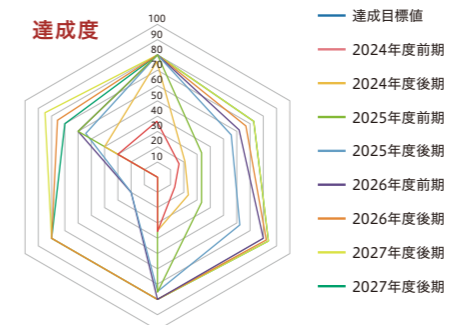
※教育協働学科の学生は、教員免許状取得希望者のみ



02 Evaluation System

## 学修成果の可視化

学位プログラムの到達目標に対応する授業科目をカリキュラムマップとして整備のうえ、到達目標への到達度をレーダーチャートにより明らかにします。



※図は令和6年度のイメージです。



# 学校教育教員養成課程

幼小教育専攻／次世代教育専攻／教科教育専攻／  
特別支援教育専攻／小学校教育(夜間)5年専攻

これからの学校現場で必要とされる教員に

学校種を超えて子どもの発達を踏まえた学校教育全体を俯瞰した教師に必要な資質・能力を育成するため、令和6年4月に初等教育教員養成課程と学校教育教員養成課程を一本化しました。

本学は令和4年3月に文部科学省から教員養成フラッグシップ大学の指定を受けており、教員養成フラッグシップ大学の特例を活用した先導的・革新的な教員養成カリキュラムを展開し、現代の教育課題に対応した「学校現場で必要とされる教員」を養成します。

本課程には、学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程があります。

学校教育教員養成課程は、幼児教育と小学校教育の接続を踏まえた幼小教育専攻、学習者中心の学びを支え、次世代の学校教育をけん引する次世代教育専攻、小・中・高の教科指導力を身に付け、小学校及び中学校(一部高等学校)の免許が取得できる教科教育専攻、特別支援教育の専門的な指導力と実践力を身につける特別支援教育専攻、夜間5年間で小学校教育について学ぶ小学校教育(夜間)5年専攻で構成されます。子ども一人一人の学びに寄り添いながら自らも探究心をもって学び続ける人材育成をめざします。

近畿地区唯一の国立大学の養護教諭養成課程は、学校保健の中心的役割となるような養護教諭を育てます。

## ▼天王寺キャンパス

学校教育	幼小教育	幼児教育、小学校教育
	小学校教育(夜間)5年	
	小学校教育(夜間)5年(3年次編入学)※	

※令和7年度までは、旧課程の夜間5年コースの第3年次編入となります。

## ▼柏原キャンパス

学校教育	次世代教育	教育探究、ICT教育
	教科教育	国語、英語、社会科、数学、理科 技術、家政、保健体育、音楽 美術・書道
	特別支援教育	

実践力のある、  
幼・小・中・高・特別支援の  
教諭および養護教諭を育てる。



# 【教員養成課程がめざす人材育成】

## 指導内容の理解と実践力

保育または各教科や教科外の指導に必要な専門的知識や技能の基本を身に付ける。また、学習環境の整備、アクティブ・ラーニングを取り入れた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた学習者を中心とする指導計画の立案や授業づくりができる。

## 子どもへの対応の理解

外国にルーツのある子どもや障がいのある子どもなど、特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性や社会的包摂の理念を理解したうえで、支援するために必要な知識や支援の方法を身に付ける。また組織的な取組や専門家等と連携する重要性を理解する。

## ICTや教育データを利活用する力

学校におけるICTの活用の意義を理解し、授業や校務等にICTを活用するとともに、児童等のICT活用能力を育成するための授業を構想できる。また、学習の改善を図るため教育データを適切に活用することができる。

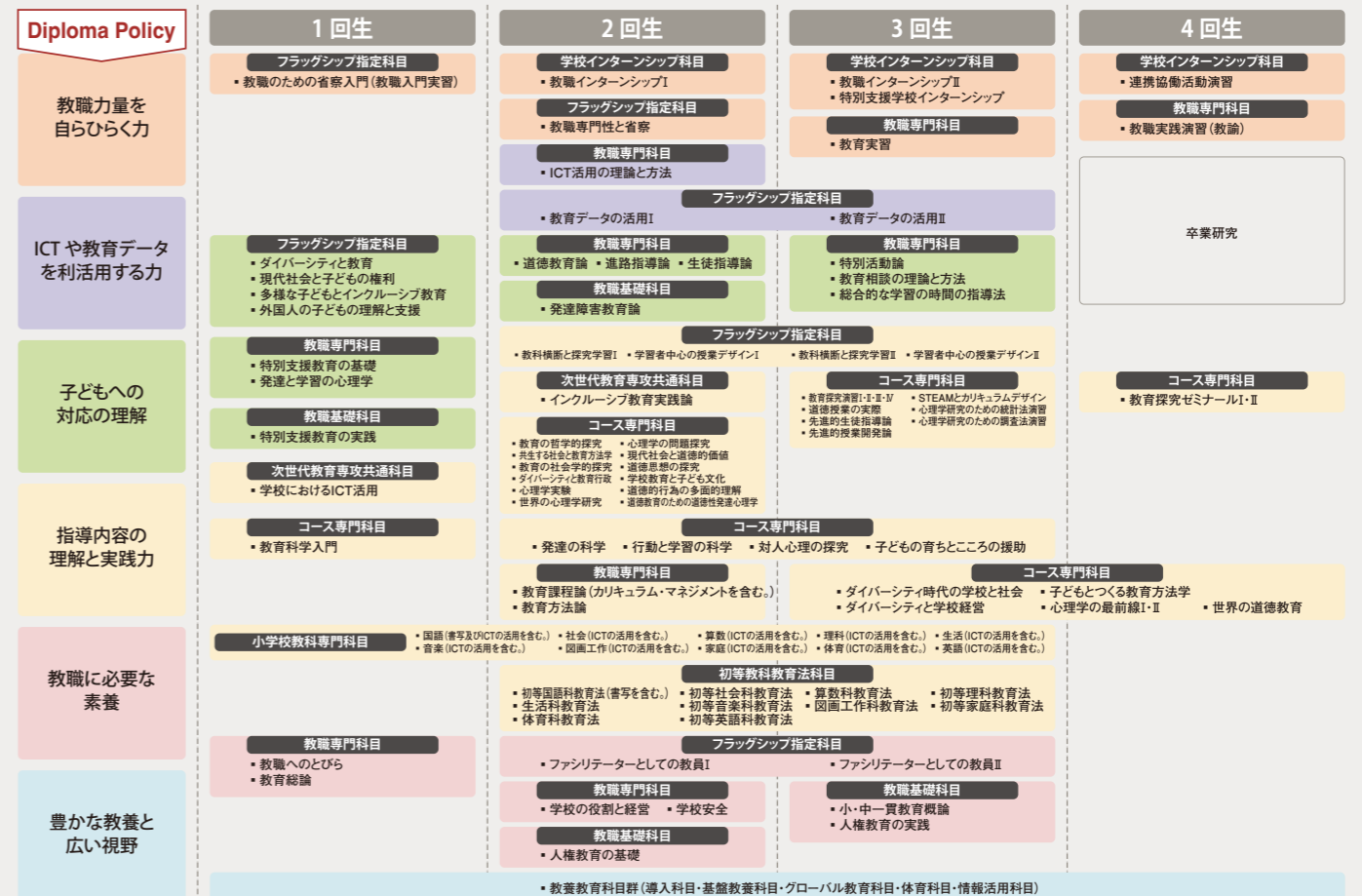
## 教職力量を自らひらく力

実践的な教育活動に参画し、児童等と積極的なコミュニケーションをとることができ、自らの学修を記録などに基づいて省察し、目標達成に向けて成長しようとする意欲や学び続ける教師としての姿勢や態度を身に付けている。

## ◆学校教育教員養成課程 次世代教育専攻(教育探究コース) カリキュラムマップ

カリキュラムマップは、各科目を履修することによりどのような力を身に付けることができるかを表しています。

以下は、学校教育教員養成課程 次世代教育専攻(教育探究コース)の事例です。各課程の専攻及びコースごとのカリキュラムマップは、本学ウェブページに掲載します。フラッグシップ指定科目とは、教員養成フラッグシップ大学の特例を適用した、本学独自の教職課程を編成するための新しい授業科目です。



✚ 教育職員免許状の副免許状及びその他の資格を取得する場合、上記卒業に必要な科目の単位を修得するほか、各資格の取得に必要な科目の単位を併せて修得する





## 幼小連携を踏まえた実践力の高い 幼稚園・小学校教員をめざす

グローバルな視野と豊かな教養を身に付け、幼稚園と小学校との連携を踏まえた専門的知識・技能及び優れた実践力・応用力を有する教員を養成します。そのために、教養科目及び基礎的科目を修得しながら、教職に関わる科目を幅広く学ぶとともに、一人ひとりの子どもの人権や安全を守る教育についての知識や能力を養い、幼児教育と小学校教育の双方の専門分野について学修を深めます。

「幼児教育コース」では、幼児を理解する力や豊かな表現力を身に付け、小学校教育との接続を踏まえた幼児教育について総合的な視点をもつ実践力のある幼稚園教員を養成します。

「小学校教育コース」では、児童を理解する力や基礎的な指導力を身に付け、幼児教育との接続を踏まえた小学校教育について総合的な視点をもつ実践力のある小学校教員を養成します。

### 幼小教育専攻

# 幼児教育コース

知識と技能を深め、幼・小連携を踏まえた幼稚園教員をめざす

幼児教育コースでは、幼児を理解する力や豊かな表現力を身に付け、高度な実践力・専門性及び幼児教育の総合的な視点をもつ幼稚園教員を養成します。幼児と出会う・幼児の発達を理解する・現実の幼児教育に関わる、の3つのステップを中心に、幼児とのふれあいの中から多くを学び、「幼児教育の現場と関わりつつ学ぶ」という創造的・体験的な側面を重視します。さらに、多文化共生としょうがい共生についての知識や能力を養います。1~2回生を柏原キャンパス、3~4回生を天王寺キャンパスで修学します。

#### 求める学生像

- 高等学校等で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 幼稚園等での教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 幼児教育に深い関心を持ち、学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 幼児とのふれあいなどの体験的な活動を通じて学びたいと思っている人

#### POINT

- 幼児期から児童期の発達と学びを見通し、制度や歴史を理解する
- 幼児の主体的な表現を支える力量を育む
- 多文化共生、しょうがい共生、子育て支援など、新しい課題に対応する態度と基礎を培う

#### 取得可能な免許

- 幼稚園教諭一種
- ◎ 小学校教諭一種
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状

## 4年間の学びの流れ

### 1回生

「教職のための省察入門」での観察実習や附属幼稚園での入門的授業で、幼児教育の全体像をふまえます。

#### 主な授業

- 教育総論
- 教職へのとびら
- 幼児理解と教育相談
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 多様な子どもとインクルーシブ教育
- 外国人の子どもの理解と支援
- 教職のための省察入門
- 5つの領域に関する専門的事項（健康、人間関係、環境、言葉、表現）
- 幼児教育実践総論
- ピアノ表現演習Ⅰ・Ⅱ

### 2回生

5つの領域に関する指導法などから実践の基礎をかため、自身の得意領域も意識しはじめます。

#### 主な授業

- 学校安全
- 幼児教育指導法
- 5つの領域に関する指導法（健康、人間関係、環境、言葉、表現）
- 教職専門性と省察
- 幼児教育インターンシップ
- 表現指導基礎演習Ⅰ・Ⅱ
- 幼児教育研究調査法Ⅰ・Ⅱ
- 就学前の教育学

### 3回生

教育実習や「幼小連携教育論」「保育とダイバーシティ」などにより、現場の機微を学び、多様性への対応力を養います。

#### 主な授業

- 幼小連携教育論Ⅰ・Ⅱ
- 幼児教育課程論
- 教育実習
- 表現指導演習Ⅰ
- 幼児教育分析演習
- 幼児教育プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ
- 幼児臨床学
- 家庭地域連携の政策
- 保育内容実践演習Ⅰ~Ⅳ
- 保育とダイバーシティ

### 4回生

領域を深めた授業や卒業論文で、自身が生涯をかけて取り組むテーマに出会うことをめざします。また「教職実践演習」などで現場に出る最終準備を行います。

#### 主な授業

- 教職実践演習
- 表現指導演習Ⅱ
- 幼児教育学特講
- 幼児教育探究演習Ⅰ・Ⅱ
- 保育内容特講
- 幼児教育実践研究Ⅲ・Ⅳ
- 卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

#### 専任教員・専門分野(五十音順)

ピアノ演奏法・音楽表現 加藤 あや子  
教育心理学 戸田 有一  
幼児教育学・保育学 中橋 美穂



# 次世代教育専攻



## 幼小教育専攻

# 小学校教育コース

## 小学校教員としてのオールラウンドプレイヤー

小学校の全教科・領域に関する幅広い知識・技能・指導力や今日的な教育課題(ICT、発達障がい、多文化共生、英語を中心とした外国語能力)などに対応する能力と共に、児童を理解する力や基礎的な指導力を身につけ、特に幼児教育からの接続を理解した現場実践力の高い小学校教員を養成します。このコースは、1・2回生は柏原キャンパス、3・4回生は天王寺キャンパスで学びます。天王寺キャンパスは交通の便がよく、学校インターンシップや児童いきいき放課後事業(大阪市)で小学校現場に通うのも便利で、学生のうちから学校現場を身近に経験することができます。

### 求める学生像

- 小学校教育について関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 小学校教員をめざすために必要な基礎学力を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- 教職に必要な知識や技能、教科に関わる専門分野への関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人

### POINT

- 小学校の全教科について全方位的な力量形成
- 柏原でホップ、天王寺でステップ、現場へジャンプ!
- たいせつなことはすべて小学校教育コースが教えてくれる

### 取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ○ 幼稚園教諭一種
- 中学校教諭一種または二種(技術・家庭 以外)
- 高等学校教諭一種(工業・家庭・書道 以外)
- 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 取得をめざすことができる教員免許状

## 4年間の学びの流れ

### 1回生

「教職のための省察入門」での観察実習、教育学や心理学の教職専門科目を通して小学校教育の全体像を学ぶ。

#### 主な授業

- 教育総論
- 教職へのとびら
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 多様な子どもとインクルーシブ教育
- 外国人の子どもの理解と支援
- 教職のための省察入門

### 2回生

幼児教育も視野に入れ、教科に関する専門科目を学ぶ。

#### 主な授業

- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
- 教科横断と探究学習 I
- 教育データの活用 I
- ファシリテーターとしての教員 I
- 学習者中心の授業デザイン I
- 教職専門性と省察
- 学校インターンシップ体験
- 初等教科教育法 (社会、生活、家庭、体育)

### 3回生

教育や教科の指導法を学び、「教育実習」や学校インターンシップを通して実践力を高める。

#### 主な授業

- 幼小連携教育論 I・II
- 教育実習
- 教育データの活用 II
- 学習者中心の授業デザイン II
- 初等教科教育法 (国語、算数、理科、音楽、図画工作、英語)
- 小学校教科専門(英語)
- 教育学研究 Ia・Ib
- 心理学研究法 a・b
- 学校インターンシップ I
- ICT教育の実践研究 a・b
- 学習指導研究 a・b (国語科、社会科、英語科、音楽科、図画工作科、体育科)
- 数学入門 a・b
- 数学・数学教育演習 a・b
- 理科の実験 Ia・Ib
- 学校保健学 a・b
- 生活科学 a・b

### 4回生

「卒業研究」や「教職実践演習」などを通して、幼児教育からの接続を理解した小学校教員としての資質能力を築きます。

#### 主な授業

- 教職実践演習
- 課題研究 I・II
- 学校インターンシップ II
- 理科の実験 IIa・IIb
- 卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

### 専任教員・専門分野(五十音順)

教育方法学 芦田 祐佳	英語教育学 生馬 裕子	理科教育学 岡部 舞	情報教育・ものづくり教育 垣本 徹	英語教育学 小林 翔	国語(漢文学) 佐藤 一好	教育哲学・教育思想 高松 みどり	国語教育学 田中 俊弥	基礎解析学・数学教育学 富永 雅
応用行動分析学・インクルーシブ教育 野田 航	体育科教育学・身体表現 橋元 真央	地学教育・科学教育 廣木 義久	国際経済学 裴 光雄	学校臨床心理学 牧 郁子	図画工作・美術・工芸教育 松井 祐	発達心理学 柳岡 開地	教育社会学 藪田 直子	音楽学・音楽教育学 吉野 秀幸

## 令和の日本型学校教育を担う 先進的な教員養成コース

次世代教育専攻は、令和の日本型学校教育を担う教職人材を育成すべく、本学が文部科学省より指定された教員養成のフラッグシップ大学構想を象徴する専攻として、令和6年度に新設されました。今や職業としての教職には、児童・生徒の多様性と個性、協働性を重視しながら、アクティブ・ラーニングの授業実践力、多様性を視野に入れた生活指導、ICTに関わる環境の整備や機器の活用など、総合的な資質・能力が求められます。次世代教育専攻は、このような現代的かつ総合的な教職力量を高めることを中心的な目標としています。



# 教育探究コース

現代の幅広い教育課題に対応する未来志向の教職コース

教育探究コースは現代の教育課題に幅広く対応できる教員を養成するために、令和6年度に設置されました。多様な人々が共生する現代のダイバーシティ社会にあっては、様々な個性を見せる児童・生徒の学びを、時には従来の教科の枠に捉われず教科横断的に、時には個別的な問題意識に基づく探究的な学びとして、教育データを活用しながら効果的にデザインする必要があります。このような教職力量の育成をめざす本コースでは、教職力量の基盤となる教育学や心理学、道徳教育学、教科教育学を融合する先進的なカリキュラムを設定し、小学校を中心に教職を強く志望する学生をサポートしていきます。また本コースは、さらなるステップアップとして、本学教職大学院への進学にもスムーズに開かれています。

## 求める学生像

- 現代の様々な教育課題に対応できる幅広い教養を身に付けるため、高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 教職の基盤となる教育学や心理学、道徳教育学さらには学習者中心の教科学習に関心があり、それらを専門的に学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 社会の多様性を理解し、様々な個性を見せる児童・生徒の育成・支援をめざして、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人

**POINT**

- 現代の教育課題、特に大阪の教育課題(ダイバーシティ教育)に対応できる
- 最新の教育研究に基づいた実践的課題解決力の育成
- 学校教育現場や教職大学院と連携した学びの展開

## 取得可能な免許

- 小学校教諭一種
  - 中学校教諭一種または二種(国語・英語・社会から選択)
  - 高等学校教諭一種(国語・英語・[地理歴史・公民]・情報から選択)
  - 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
  - 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
  - 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
  - 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
  - 取得をめざすことができる教員免許状

## 4年間の学びの流れ

1回生	2回生	3回生	4回生
<p>ダイバーシティ(多様性)社会を前提とした教育研究を進めるにあたり、入門的性格を帯びる各授業で、現代の学校教育に求められる諸課題や、それにアプローチする方法の概観を獲得します。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育総論</li> <li>●教職へのとびら</li> <li>○ダイバーシティと教育</li> <li>○現代社会と子どもの権利</li> <li>○多様な子どもとインクルーシブ教育</li> <li>○外国人の子どもの理解と支援</li> <li>○教職のための省察入門</li> <li>●学校におけるICT活用</li> <li>●教育科学入門</li> </ul>	<p>教育学、心理学、道徳教育学、教科教育学という4つの領域の専門的学修が本格的に始まり、特に学習者中心を意識した自身の問題意識を醸成します。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校安全</li> <li>●ICT活用の理論と方法</li> <li>○教科横断と探究学習 I</li> <li>○教育データの活用 I</li> <li>○ファシリテーターとしての教員 I</li> <li>○学習者中心の授業デザイン I</li> <li>○教職専門性と省察</li> <li>●教職インターンシップ I</li> <li>●インクルーシブ教育実践論</li> <li>●共生する社会と教育方法学</li> <li>●心理学の問題探究</li> <li>●道徳的行為の多面的理解</li> <li>●学校教育と子ども文化</li> </ul>	<p>専門的学修と並んで、基本教育実習など実際の学校教育現場での体験も視野に入れながら、自身の「強み」を活かす探究課題を明確にし、卒業研究につながる活動を展開します。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育相談の理論と方法</li> <li>●教育実習</li> <li>○教科横断と探究学習 II</li> <li>○教育データの活用 II</li> <li>○ファシリテーターとしての教員 II</li> <li>○学習者中心の授業デザイン II</li> <li>●小学校教科専門(英語)</li> <li>●先進的生徒指導論</li> <li>●心理学研究のための統計法演習</li> <li>●道徳授業の実際</li> <li>●STEAMとカリキュラムデザイン</li> </ul>	<p>卒業研究(卒業論文)として自身の探究課題に取り組むとともに、希望に応じて、さらに高度な学修の道筋として、教職大学院等への進学を準備します。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教職実践演習</li> <li>●教育探究ゼミナール I・II</li> <li>●卒業研究</li> </ul>
●初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)			
○は本学のフラッグシップ指定科目です。			

## 専任教員・専門分野(五十音順)

臨床心理学・ カウンセリング 上田 裕美	随伴性の科学・ 実験的行動分析 大河内 浩人	道徳教育 金光 靖樹	道徳教育・ 教育学 小林 将太	発達心理学・ 教育心理学 小松 孝至	人権教育・ 家族社会学・ 部落問題研究 齋藤 直子	教科教育学 (生活科・総合的な学習) 佐久間 敦史	教育方法学・ 生活指導 佐藤 雄一郎	教育哲学・ 教育思想 瀬戸口 昌也
教育社会学 高橋 一郎	発達心理学・ 教育心理学 高橋 登	国語科教育学 土山 和久	教育方法学・ 教育課程論 八田 幸恵	認知科学・ 教育心理学 森 兼隆	教育方法学・ ライティング 教育研究 森本 和寿	教育方法学・ 授業研究 吉田 茂孝	実験心理学・ 認知科学 渡邊 創太	外国語教育・ 教師教育 王 林鋒

# ICT教育コース ①高校情報+小学校 ②高校情報+中高数学

最先端のICTを活用できる知識と素養を身に付ける教職コース

予測困難な時代が到来する中で、ICTの活用は学校を支える基盤として必要不可欠なものになりました。GIGAスクール構想による1人1台端末環境を活かし、児童生徒も日常的に端末の活用が必須な時代です。この時代背景を受け、次世代の教育を支える人材を育成すべく、ICT教育コースが令和6年度に設置されました。GIGAスクール構想を踏まえたデジタル教材開発や、教育データの活用、インターネットを活用した教材開発、デジタル技術の活用による教育課題の発見や解決といった、学校内でICT活用に見知が深く、先導的な役割を担える教師の育成を行います。

## 求める学生像

- 現代の様々な教育課題に対応できる幅広い教養を身に付けるため、高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 新しい概念や技術に自ら積極的に触れ合おうとする向上心を持つ人
- ICTの特性について理解するだけでなく、教育の情報化を推進すべく、他者にその特性を「伝える・教えられる」ようにするコミュニケーション能力や、他者と協働できる能力を身に付けようとする意欲のある人

**POINT**

- 最新の情報機器やクラウドサービスを積極的に活用した授業実践
- 情報科学の知識・技術を身に付けるための抱負な演習授業
- ICTの特徴理解をもとにした学校教育現場への実践力の育成

## 取得可能な免許

- ① ●小学校教諭一種 ●高等学校教諭一種(情報)
  - 中学校教諭一種または二種
  - 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
  - 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- ② ●中学校教諭一種(数学) ●高等学校教諭一種(情報)
  - 高等学校教諭一種(数学)
  - 小学校教諭一種または二種
  - 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
  - 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
  - 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
  - 取得をめざすことができる教員免許状
  - ①もしくは②を出願時に選択します。

## 4年間の学びの流れ

1回生	2回生	3回生	4回生
<p>教育現場におけるICT活用の理解を進めるにあたり、各専門領域の入門授業を中心に行います。情報教育や学校におけるICT活用の必要性の理解をめざします。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育総論</li> <li>●教職へのとびら</li> <li>○ダイバーシティと教育</li> <li>○現代社会と子どもの権利</li> <li>○多様な子どもとインクルーシブ教育</li> <li>○外国人の子どもの理解と支援</li> <li>○教職のための省察入門</li> <li>●学校におけるICT活用</li> <li>●情報倫理</li> <li>●情報処理演習</li> <li>●教育メディアの表現</li> <li>●教育メディアの技術</li> </ul>	<p>情報科学やデータサイエンスの基礎を学ぶための基礎数学や情報理論、プログラミングの演習を行います。プログラミングの演習では、座学のみならず受講生同士の議論を踏まえて、より良いコーディングスキルやディスカッションスキルの獲得をめざします。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校安全</li> <li>●ICT活用の理論と方法</li> <li>○教科横断と探究学習 I</li> <li>○教育データの活用 I</li> <li>○ファシリテーターとしての教員 I</li> <li>○学習者中心の授業デザイン I</li> <li>○教職専門性と省察</li> <li>●情報科教育法 I・II</li> <li>●教職インターンシップ I</li> <li>●インクルーシブ教育実践論</li> <li>●計算機科学 ●データサイエンス I</li> <li>●プログラミングとグループワーク I・II</li> <li>●プログラム言語</li> </ul>	<p>専門分野の理解を深化すべく、ICTを活用した教材開発や学習環境の構築、情報通信ネットワークの基礎等を学び、学校現場においてICT活用の普及・促進するための技術を体系的に獲得することをめざします。また、自身の研究テーマを探索します。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育相談の理論と方法</li> <li>●教育実習</li> <li>○教科横断と探究学習 II</li> <li>○教育データの活用 II</li> <li>○ファシリテーターとしての教員 II</li> <li>○学習者中心の授業デザイン II</li> <li>●情報通信ネットワーク</li> <li>●ICTを活用した教材開発</li> <li>●データ構造とアルゴリズム</li> <li>●ロボット教材とプログラミング A・B</li> <li>●システムソフトウェア</li> <li>●ソフトウェア設計・開発</li> <li>●データベース演習</li> </ul>	<p>これまでの学びを振り返り、学校教員に必要な資質・能力を確認します。各研究室でそれぞれの専門をより深く学び、その集大成として卒業研究を通して情報教育に深く理解のある教員をめざします。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育実習</li> <li>●教職実践演習</li> <li>●ICT課題研究 I・II</li> <li>●ICTを活用した教育支援</li> <li>●卒業研究</li> </ul>
●小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)		●小学校教科専門(英語)	
② ●線形代数学 a ●微分積分学 a		●代数学 a・b ●幾何学 ●解析学 a・b	
●初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)		●初等教科教育法 I・II・III・IV ●確率・統計概論	
○は本学のフラッグシップ指定科目です。			

## 専任教員・専門分野(五十音順)

教育情報学 尾崎 拓郎	情報教育学 納庄 聡	計算機科学 望月 久稔	教科教育学(情報) 若杉 祥太
----------------	---------------	----------------	--------------------





## 令和の日本型教育を視野に入れた 教科学習を構想・実践しよう！

教科教育専攻は、ICTの活用、個に応じた教育（個別最適化）、協働的な学びなど、令和の日本型学校教育に求められる学校教育の諸課題に対応し、主に小・中学校の教科学習を中心に、教師としての授業力を開発することを目標とする専攻です。基本的には、各教科に独特の教科内容や指導法に関する授業が展開され、各教科の探究的な学びにじかに触れることができ、それと並んで、教科を横断する授業開発のありかたも学ぶことができます。さらに、条件が合えば、所属する教科コースで取得する中学校・高等学校の教科免許状以外に、他教科の免許状を取得する可能性も開かれています。

- 国語教育コース
- 英語教育コース
- 社会科教育コース
- 数学教育コース
- 理科教育コース
- 技術教育コース
- 家政教育コース
- 保健体育コース
- 音楽教育コース
- 美術・書道教育コース

### 教科教育専攻

# 国語教育コース

## 国語の専門家として学び続ける教師を育てる

国語教育コースでは、小学校から中学校、高等学校を通じて取り組まれる母語としての国語教育に関する幅広い確かな知識と技能を持ち、児童・生徒の言葉の力を豊かに育てる国語教育実践力を備えたエキスパートとしての資質・能力を育成します。そのため、国語科の基礎科学としての国語学、日本文学、児童文学、漢文学等を学ぶとともに、授業実践につながる精緻な教材分析、学習者を中心とした授業づくり、教育ファシリテーションについて学びます。

### 求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 国語科を中心に、教科に関わる専門分野への関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人

### POINT

- 基本から発展へ 学習者から指導者へ
- 実践力につながるアクティブラーニング
- 国際的視野に立つ国語教育

### 取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(国語)
- ◎高等学校教諭一種(国語)
- 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
- 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
- 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 取得をめざすことができる教員免許状

## 4年間の学びの流れ

### 1年生

国語学概論、国文学概論、漢文学概論、国語科教育入門という各専門領域を学び始めます。ことばの力の基礎作りをめざします。

#### 主な授業

- 教育総論
- 教職へのとびら
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 多様な子どもとインクルーシブ教育
- 外国人の子どもの理解と支援
- 教職のための省察入門
- 国語学概論 A・B
- 国文学概論 A・B
- 漢文学概論 A・B
- 国語科教育入門 A・B

### 2年生

教科専門科目は、概論から特論・講義へと進みます。より専門的な内容になり、広がりが深まり、ことばの力が大きく伸びます。また、「国語科資質・能力開発論」では、教材研究の仕方や国語科授業作りの基礎基本、指導方法などを学び、「書道概論」では、国語教師としての書道の基本を学びます。

#### 主な授業

- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
- 教科横断と探究学習Ⅰ
- 教育データの活用Ⅰ
- ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- 学習者中心の授業デザインⅠ
- 教職専門性と省察
- 中等国語科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 教職インターンシップⅠ
- 国語学特論 A・B
- 国文学特論 A・B
- 書道概論Ⅰ・Ⅱ
- 国語科資質・能力開発論Ⅰ・Ⅱ

●初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)

### 3年生

専門分野に分かれて、課題を探究しながら、実践につながる力を身に付けていきます。今まで培ったことばの力を、教育実習の場で発揮します。学習者のことばの力を育てるための「ことばの授業づくり」に取り組み、実践します。

#### 主な授業

- 教育実習
- 教科横断と探究学習Ⅱ
- 教育データの活用Ⅱ
- ファシリテーターとしての教員Ⅱ
- 学習者中心の授業デザインⅡ
- 中等国語科教育法Ⅲ・Ⅳ
- 国語学講義ⅠA
- 国文学講義ⅠA
- 国語科授業実践論
- 小中連携国語科学習開発論
- 国語教育実践演習Ⅰ・Ⅱ
- 小学校教科専門(英語)

### 4年生

卒業論文を書くのは、小学校からの学校教育生活16年間の総まとめです。ことばをめぐるいろいろな現象を研究対象に選び、自分の力で分析し、結論を導き、他の人にそれが伝わるように文章表現として構成し、卒業論文としてまとめます。

#### 主な授業

- 教職実践演習
- 国語学研究Ⅰ・Ⅱ
- 国文学研究Ⅰ・Ⅱ
- 国語教育学研究Ⅰ・Ⅱ
- 国語教育ゼミナールⅠ・Ⅱ
- 卒業研究

●小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

### 専任教員・専門分野(五十音順)

国語学 井上 博文	国語教育学(漢文教育)/ 中国哲学 小路口 真理美	国語教育学 (文学教育) 住田 勝	近現代文学/ 児童文学 成實 朋子	古典文学 堀 淳一	国語教育学 (説明的文章教育) 村井 隆人
--------------	---------------------------------	-------------------------	-------------------------	--------------	-----------------------------



# 英語教育コース

Be flexible, be strong, and be thoughtful.

英語教育は「グローバル化」「ダイバーシティ」などのキーワードで表される現代教育において、最も迅速に変化への対応が求められる分野の1つです。母語ではないが故に個々の学習者の理解は非常に大切になりますし、教科横断型の授業でも重要な役割を担います。求められるものは多いですが、チャレンジ精神を持って臨めば、ポジティブな変化を実感できるフィールドです。強く、しなやかで、思いやりの心を持った英語教師をめざして、共に学んでいきましょう。

## 求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 小学校教員や中学校・高等学校の英語教員として必要な知識・技能・関連する専門分野への関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 国内外の社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身につけようと思っている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人

**POINT**

- 英語力+教師力=英語教師力
- コース独自の研修を含め、多様な海外留学をサポート
- 理論(英語学・言語習得)と実践(指導技術・模擬授業)の徹底した往還

## 取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ● 中学校教諭一種(英語)
  - ◎ 高等学校教諭一種(英語)
  - 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
  - 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
  - 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- 
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
  - ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
  - 取得をめざすことができる教員免許状

## 4年間の学びの流れ

1年生	2年生	3年生	4年生
<p>英語教師として必要な英語そのものの知識、英語を使うスキルを磨いていきます。「英語音声学」では英語の個々の音を発する仕組みを学び、「比較文化論」では英語圏に限らず多様な文化を学びます。「Integrated English」では4技能統合型の授業で全体的な英語力向上をめざします。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育総論</li> <li>● 教職へのとびら</li> <li>○ ダイバーシティと教育</li> <li>○ 現代社会と子どもの権利</li> <li>○ 多様な子どもとインクルーシブ教育</li> <li>○ 外国人の子どもの理解と支援</li> <li>○ 教職のための省察入門</li> <li>● 英語音声学 I・II</li> <li>● 比較文化論</li> <li>● Integrated English I</li> </ul>	<p>1年生での学びをベースに、「英語を指導する」とはどういうことを学びます。「応用言語学」では言語習得の基礎を、「英語科評価論」では言語の力をどう測るかを学びます。「中等英語科授業研究」では実際の授業のビデオの分析や模擬授業を行います。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校安全</li> <li>● ICT活用の理論と方法</li> <li>○ 教科横断と探究学習 I</li> <li>○ 教育データの活用 I</li> <li>○ ファシリテーターとしての教員 I</li> <li>○ 学習者中心の授業デザイン I</li> <li>○ 教職専門性と省察</li> <li>● 中等英語科教育法 I・II</li> <li>● 教職インターンシップ I</li> <li>● 中等英語科授業研究</li> <li>● 応用言語学</li> <li>● 英語科評価論</li> </ul>	<p>個々の興味に応じたゼミに所属してさらに学びを深めます。「英語学研究」では英語という言語が持つ音声・文法の真理に迫り、「英語教育学研究」では理論に基づく英語指導を様々な角度から検討します。英語教育に特化した留学プログラム(TEFL Studies)にもぜひチャレンジしてください。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育実習</li> <li>○ 教科横断と探究学習 II</li> <li>○ 教育データの活用 II</li> <li>○ ファシリテーターとしての教員 II</li> <li>○ 学習者中心の授業デザイン II</li> <li>● 中等英語科教育法 III・IV</li> <li>● 英語学研究 I・II</li> <li>● 英語教育学研究 I~VIII</li> <li>● TEFL Studies</li> <li>● 小学校教科専門(英語)</li> </ul>	<p>各ゼミで卒業論文執筆に向けた研究が進められ、並行して教員採用試験やさらに学びを深めるための教職大学院入学に向けて準備します。英語教育コースの卒業論文は英語での執筆が原則です。「Academic Writing」で約5,000語の論文を書くコツを学びます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教職実践演習</li> <li>● 英語教育セミナー I・II</li> <li>● Academic Writing</li> <li>● 卒業研究</li> </ul>
● 小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)			

## 専任教員・専門分野(五十音順)

英語教育 (特に、全人教育としての英語教育のあり方) <b>加賀田 哲也</b>	英語教育 (特に、スピーキング、ICT活用) <b>篠崎 文哉</b>	英語教育 (特に、英語コミュニケーション) <b>Justin Parker Pool</b>	英語統語論 <b>寺田 寛</b>
第二言語習得・英語教育 (特に、リーディング・リスニング) <b>橋本 健一</b>	英語教育(特に、音声指導) <b>箱崎 雄子</b>	国際理解教育 <b>Bruce James Malcolm</b>	

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

# 社会科教育コース

社会科に強みを持ち、児童生徒と教員のウェルビーイングのための学校づくりに貢献できる教員

学校教員養成課程社会科教育コースでは、広い視野と豊かな教養を持ち、多様な人々との共生社会を実現できる優れた人権感覚を身につけ、小中学校の社会科教育に関する幅広い知識や技能、およびファシリテーション能力に優れた小中学校の教員を主に養成します。そのために基礎的な教養科目を修得した上で、学習者中心の授業づくりができるよう教職に関する多面的な科目を学びます。また社会科教育コースの専門分野における研究活動を通して、児童生徒の探究学習を豊かにデザインし指導できる力を身につけていきます。

## 求める学生像

- 教員の基盤としての広く豊かな教養を身につけるため、高等学校までに履修した教科・科目、とりわけ社会科・地理歴史科・公民科の基礎学力を有している人
- 教職に必要な知識や技能、および社会科の専門分野に関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 児童生徒および社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身につけようと思っている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有し、自分がある場所をより良くしようとして行動できる人

**POINT**

- 幅広い分野を網羅するカリキュラム
- 自主性と専門性を育てる細やかな指導
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

## 取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ● 中学校教諭一種(社会)
  - ◎ 高等学校教諭一種(地理歴史・公民)
  - 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
  - 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
  - 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- 
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
  - ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
  - 取得をめざすことができる教員免許状

## 4年間の学びの流れ

1年生	2年生	3年生	4年生
<p>幅広い視野と教養を身につけるとともに、社会科の各専門領域の基礎を学びます。自分自身が主体的に学びを獲得していく姿勢を身に付けます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育総論</li> <li>● 教職へのとびら</li> <li>○ ダイバーシティと教育</li> <li>○ 現代社会と子どもの権利</li> <li>○ 多様な子どもとインクルーシブ教育</li> <li>○ 外国人の子どもの理解と支援</li> <li>○ 教職のための省察入門</li> <li>● 小学校教科内容(社会)</li> <li>● 地誌概論</li> <li>● 世界史概説</li> <li>● 社会学</li> <li>● 経済学</li> <li>● 哲学の基礎</li> <li>● 自然地理学の基礎</li> <li>● 人文地理学の基礎</li> </ul>	<p>教職関連の科目の比重が増し、教員に必要な知識とスキルを積み上げていきます。また社会科の専門性を深め、授業づくりの基礎的力量を高めていきます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校安全</li> <li>● ICT活用の理論と方法</li> <li>○ 教科横断と探究学習 I</li> <li>○ 教育データの活用 I</li> <li>○ ファシリテーターとしての教員 I</li> <li>○ 学習者中心の授業デザイン I</li> <li>○ 教職専門性と省察</li> <li>● 中等社会科教育法 I・II</li> <li>● 教職インターンシップ I</li> <li>● 地理学概論 ● 日本史概説</li> <li>● 法学 ● 政治学</li> <li>● 倫理学の基礎</li> <li>● 歴史探究の基礎</li> <li>● 社会調査</li> <li>● 西洋思想概論</li> <li>● 倫理学諸問題</li> <li>● 社会科教育学基礎論</li> </ul>	<p>専攻内の各専門分野に所属し、より専門性の高い学びを進めていきます。演習形式の授業も始まり、学問への理解を広げ、自身の研究テーマを探索する時期です。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育実習</li> <li>○ 教科横断と探究学習 II</li> <li>○ 教育データの活用 II</li> <li>○ ファシリテーターとしての教員 II</li> <li>○ 学習者中心の授業デザイン II</li> <li>● 中等社会科教育法 III・IV</li> <li>● 社会科基礎演習 I・II</li> <li>● 自然地理学特講</li> <li>● 人文地理学特講</li> <li>● 地理探究の基礎</li> <li>● 日本史特講 I・II</li> <li>● 東洋史特講 ● 西洋史特講</li> <li>● 社会学特講 ● 哲学諸問題</li> <li>● 公民科探究</li> <li>● 小学校教科専門(英語)</li> </ul>	<p>大学での学びの集大成として、卒業論文に取り組みます。1年間を通じた探究を通して、研究スキルと専門性を身につけていきます。また、これまでの学びを振り返って、必要な補足を行います。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教職実践演習</li> <li>● 社会科発展演習 I・II</li> <li>● 卒業研究</li> </ul>
● 小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)			

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

## 専任教員・専門分野(五十音順)

社会科教育学 <b>飯島 敏文</b>	社会学 <b>串田 秀也</b>	哲学・倫理学 <b>倉本 香</b>	社会学 <b>小林 和実</b>	日本史 <b>櫻澤 誠</b>
社会科教育学 <b>手取 義宏</b>	哲学・倫理学 <b>松本 啓二朗</b>	地理学 <b>山田 周二</b>	地理学 <b>山近 博義</b>	



# 数学教育コース

算数・数学の基本を身につけ、本質を見抜く教員になろう

数学教育コースでは、将来、教育の現場において、算数・数学に関して優れた指導力をもち、中心的な役割を担う小学校・中学校・高等学校教員を育成することをめざします。数学的な能力を高め、算数教育・数学教育の理解を深めることにより、論理的に正しく考え、何が大切かを理解するとともに、個々の児童・生徒を観察し、どう教えたら腑に落ちる体験に導けるかを見抜く力を養成することに重点を置きます。

## 求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人で、特に、数学に關しては、数Ⅲまで履修した人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- 数学の専門知識と数学教育に関する実践力の習得に意欲をもつ人
- 創意工夫することができて、数学の楽しさ・面白さを児童・生徒に伝えたいと思っている人
- 専門知識を駆使して、数学の諸問題に積極的に取り組める人

**POINT**

- 算数・数学教育に必要な専門知識を学ぶ
- 専門知識に基づいた実践研究力を身につける
- 教育実習を通して実践指導力を育てる

## 取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(数学)
- ◎高等学校教諭一種(数学)
- 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
- 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
- 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 取得をめざすことができる教員免許状

## 4年間の学びの流れ

**1回生**

高校数学までは、与えられた問題を解くことを通して数学の学習を行いました。大学数学では自ら論理を組み立てて、それを展開していくことが重視されます。このような大学数学を学ぶ上でのポイントは問題意識の変革です。1回生では、その変革を促すようなショッキングな講義が展開されます。この意識の変革により、大学数学を学ぶ4年間の基盤を創ります。

**主な授業**

- 教育総論
- 教職へのとびら
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 多様な子どもとインクルーシブ教育
- 外国人の子どもの理解と支援
- 教職のための省察入門
- 小学校教科内容(算数)
- 線形代数学 a・b
- 微分積分学 a・b

**2回生**

2回生では、1回生での入門を経て、数学を代数学、幾何学、解析学、確率・統計という分化した形で体系的に学んでいきます。また、演習により、自力で論理を組み立てたり、表現する力を養成します。さらに、算数科教育法や数学科教育法の授業も始まり、「小学校で算数を、中学校・高等学校で数学を教えるとはどういうことか」について学び始めます。

**主な授業**

- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
- 教科横断と探究学習Ⅰ
- 教育データの活用Ⅰ
- ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- 学習者中心の授業デザインⅠ
- 教職専門性と省察
- 数学科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 教職インターンシップⅠ
- 代数学 a・b ●距離空間
- 幾何学 ●解析学 a・b
- 確率・統計概論

**3回生**

1、2回生で学習したことを基礎として、代数学、幾何学、解析学、確率論、算数・数学教育学といった各分野の専門性を高めていきます。このようにして身に付けた高い専門性を背景に、基本教育実習に臨みます。そこで、児童・生徒を実際に教えることにより、「教育とは、教えるとは、分かつとは」等を真剣に考えます。

**主な授業**

- 教育実習
- 教科横断と探究学習Ⅱ
- 教育データの活用Ⅱ
- ファシリテーターとしての教員Ⅱ
- 学習者中心の授業デザインⅡ
- 数学科教育法Ⅲ・Ⅳ
- 代数学 c
- 幾何学Ⅰ
- 解析学 c
- 確率論
- 算数・数学教育論
- 小学校教科専門(英語)

**4回生**

4回生では、専門的な各分野(代数学、幾何学、解析学、確率論、算数・数学教育学)に分かれて、セミナー形式で数学や算数・数学教育学を学びます。セミナー形式で学習することにより、数学とはどのような学問か、算数・数学の本を読むとはどういうことか、算数教育・数学教育はどうあるべきかを真剣に学びます。それは、将来教員になったとき、自分の核になります。

**主な授業**

- 教職実践演習
- 数学演習 a・b
- 卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

## 専任教員・専門分野(五十音順)

解析学 岡安 類	数学教育学 葛城 元	確率論 貞末 岳	数学教育学 東尾 晃世	代数学 馬場 良始
-------------	---------------	-------------	----------------	--------------

# 理科教育コース

身近な「自然」や「科学技術」を学ぶことの喜びや感動を児童・生徒と分かち合える教員をめざす

理科教育コースでは、学習内容や指導の背景となる物理学・化学・生物学・地学・理科教育学の知識や技能によって裏付けられた確かな専門性を持つとともに、総合的な学習・探究の時間等にも対応できる教科・領域横断的な力量を兼ね備えた、理科教育の中核となる人材を育成します。

## 求める学生像

- 小学校・中学校・高等学校の教員になることを強く希望し、自然科学に関する知識の修得と教員としての課題の探究に意欲を持つ人
- 理科における探究的な学習や実験・観察についての興味や経験を持っている人
- 高等学校までに理科をはじめとする様々な教科・科目における基礎学力を有している人

**POINT**

- 自然科学についての幅広い教養と高い専門性を身につける
- 仲間とともに「学びあい」ながら教員資質を高める
- 学内外との交流・連携により実践的理科指導力を育成する

## 取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(理科)
- ◎高等学校教諭一種(理科)
- 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
- 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
- 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 取得をめざすことができる教員免許状

## 4年間の学びの流れ

**1回生**

幅広い教養とともに、自然科学を学んでいくために必要な理科の各分野や、科学の言語としての数学の基礎的な内容を学びます。さらに、教職の基礎を学びます。

**主な授業**

- 教育総論
- 教職へのとびら
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 多様な子どもとインクルーシブ教育
- 外国人の子どもの理解と支援
- 教職のための省察入門
- 科学のための数学
- 物理学ⅠA
- 化学ⅠA
- 生物学ⅠA
- 地学ⅠA

**2回生**

理科教育の目的とその内容や指導方法を学びます。また、理科の各分野の実験を通して小学校・中学校・高等学校に必要な観察・実験の実践的なスキルを身に付けます。

**主な授業**

- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
- 教科横断と探究学習Ⅰ
- 教育データの活用Ⅰ
- ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- 学習者中心の授業デザインⅠ
- 教職専門性と省察
- 中等理科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 教職インターンシップⅠ
- 物理学実験Ⅰ ●化学実験Ⅰ
- 生物学実験Ⅰ ●地学実験Ⅰ
- 力学 ●電磁気学
- 無機化学入門 ●物理化学
- 動物科学 ●植物科学
- 気象学 ●天文学

**3回生**

小学校・中学校・高等学校の教員に必要な資質・能力の向上を図るために、教職と教科の専門性を深めます。また、これまでの学びの成果を教育実習の実践の場で活かすとともに、自らの新たな課題を見出し、今後の学びにつなげます。

**主な授業**

- 教育実習
- 教科横断と探究学習Ⅱ
- 教育データの活用Ⅱ
- ファシリテーターとしての教員Ⅱ
- 学習者中心の授業デザインⅡ
- 中等理科教育法Ⅲ・Ⅳ
- 熱力学
- 反応有機化学
- 生命科学
- 地学野外実習
- 小学校教科専門(英語)

**4回生**

これまでの学びを振り返り、身につけた小学校・中学校・高等学校の教員に必要な資質・能力を確認します。また卒業研究を通して、理科教育の課題や自然界の仕組みを探究できる教員をめざします。

**主な授業**

- 教職実践演習
- 理科ゼミナールⅠ・Ⅱ
- 卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

## 専任教員・専門分野(五十音順)

科学教育 安積 典子	理科教育学(環境教育) 石川 聡子	生物学(生化学) 鶴澤 武俊	生物学(植物分類学) 岡崎 純子	化学(無機物理化学) 神鳥 和彦	物理学 鈴木 康文	化学(有機化学) 種田 将嗣
科学教育 種村 雅子	理科教育学(諸外国の科学教育) 日高 翼	複合科学(地球惑星物質科学) 平川 尚毅	物理学 深澤 優子	地学(天文学) 松本 桂	地学(気象学) 吉本 直弘	



# 技術教育コース

めざせ ものづくり教育の達人

技術教育コースでは、ものづくりについての幅広い教養を身につけると共に、専門的知識や技能と優れた教育実践力や指導力を持ち、生徒たちの創造性や技術的な課題を解決する能力を育成することのできる小学校、中学校又は高等学校において技術教育に関わる教員の養成を目的としています。そのため、教科横断的な教育実践力も含めて、技術に関する専門分野や教科教育法に関する授業を学習者中心に展開しています。

## 求める学生像

- 小学校、中学校又は高等学校において技術教育に関わる教員をめざすために必要な基礎学力を有している人。特に数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、物理基礎、物理を履修した人が望ましい。
- 小学校、中学校又は高等学校において技術教育に関わる教員になることを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- ものづくりの好きな人、失敗することを恐れない人
- ものづくりを通して創意工夫することの楽しさを児童・生徒に伝えたいと思っている人

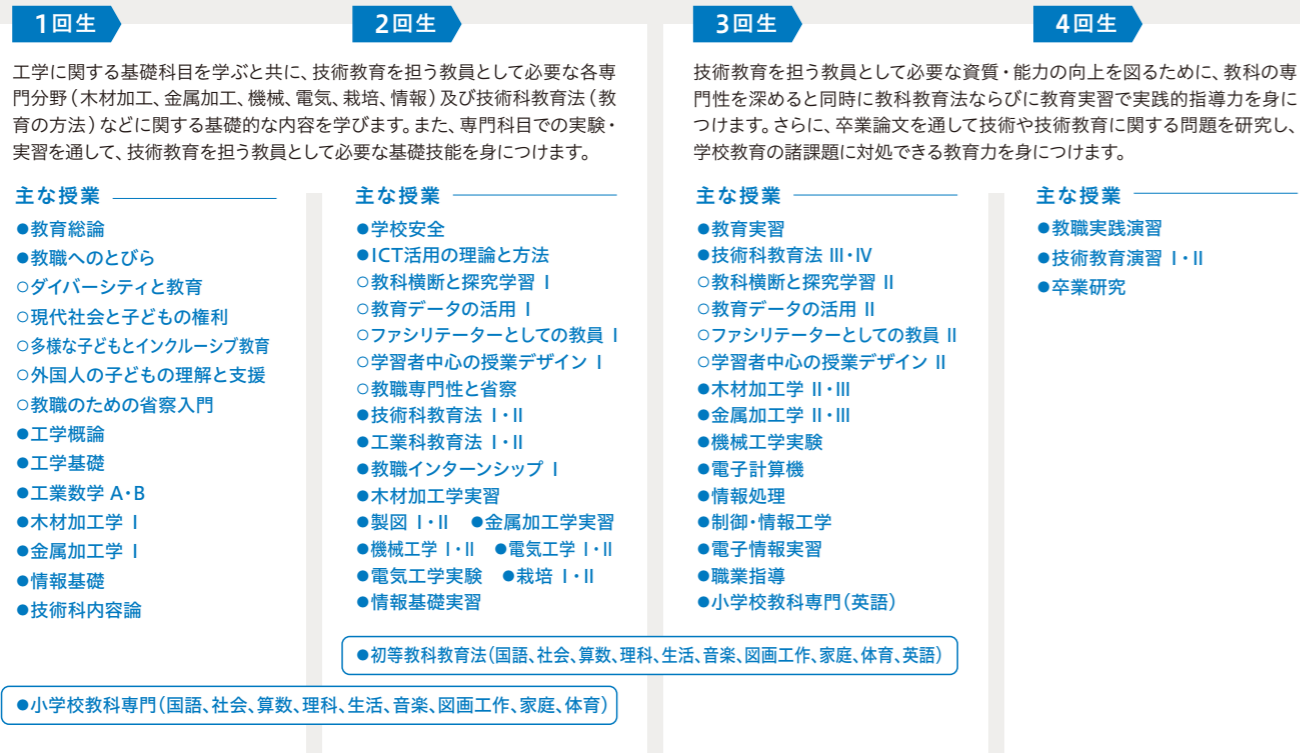
**POINT**

- 体系立ったカリキュラム
- 少人数教育によるきめ細やかな指導
- 体験的学び(実験・実習)の重視

### 取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ● 中学校教諭一種(技術)
  - ◎ 高等学校教諭一種(工業)
  - 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
  - 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
  - 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- 
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
  - ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
  - 取得をめざすことができる教員免許状

## 4年間の学びの流れ



# 家政教育コース

めざせ 暮らしのプロフェッショナル

家政教育コースでは、ダイバーシティやインクルーシブの視点から今日の多様な生活課題に対応できる問題解決能力を育成するとともに、学校教育において、生活に関わる教科横断・探究学習活動を担える小学校・中学校教員を養成します。そのために、生活に関わる専門的な知識と技能を学びます。

## 求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 家庭科を中心に、小学校教員や中学校教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人

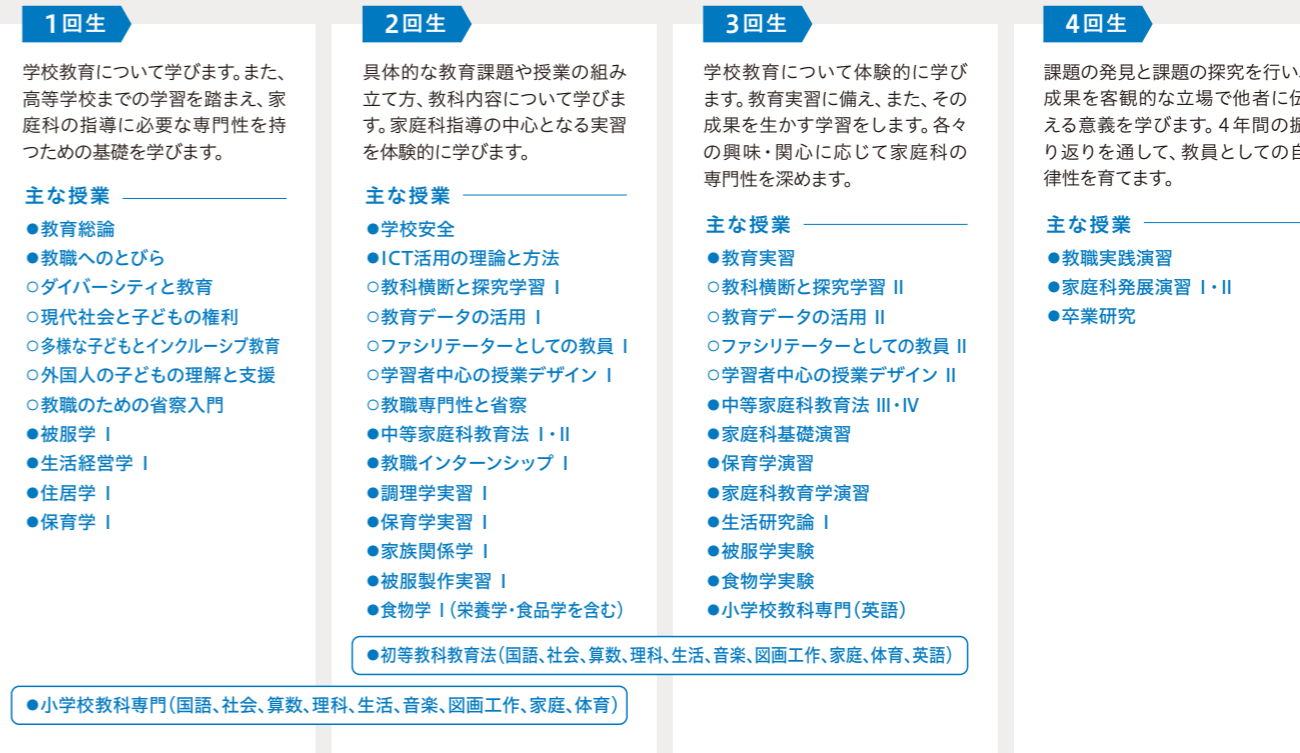
**POINT**

- 生活に密着した分野の授業科目を数多く開講
- 体験的学び(演習、実習、実験)を重視
- 少人数ゼミ指導による学びの深化

### 取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ● 中学校教諭一種(家庭)
  - ◎ 高等学校教諭一種(家庭)
  - 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
  - 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
  - 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- 
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
  - ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
  - 取得をめざすことができる教員免許状

## 4年間の学びの流れ





# 保健体育コース

身体を動かす楽しさを児童・生徒に伝えられる教員を育成

保健体育コースでは、保健体育やスポーツに関する広い知識と豊かな教養を持つとともに、小学校、中学校および高等学校の教育に関する知識や技能を持ち、専門の教科のみならず教科横断・探究学習についての指導力に優れた教員を育成します。また、学校安全や危機管理についての知識や能力を養うとともに、教育データの活用や学習者中心の学習を行うことで、自らが所属するコースにおいて専門分野の学習を深めます。

## 求める学生像

- 保健体育を中心に、小学校から高等学校の教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれている人
- 保健体育やスポーツに興味と関心を強く抱き、運動の最適学習期にある児童・生徒を、その発達段階に応じて適切に指導することに喜びを見いだせる人
- 高等学校までに履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人

## POINT

- 多種多様な体育・スポーツ種目を経験することが可能である
- 様々な保健体育やスポーツに関する専門的知識を身につけることが可能である
- 小学校教員または保健体育教員として教育現場で活躍できる知識・技能を身につけることが可能である

## 取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(保健体育)
- ◎高等学校教諭一種(保健体育)
- 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
- 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
- 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 取得をめざすことができる教員免許状

## 4年間の学びの流れ

1年生	2年生	3年生	4年生
<p>教員となるための資質を育てる第一歩として、学校教育及び保健体育やスポーツに関する基礎的事項を講義や実技、実習を通じて学んでいきます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育総論</li> <li>●教職へのとびら</li> <li>○ダイバーシティと教育</li> <li>○現代社会と子どもの権利</li> <li>○多様な子どもとインクルーシブ教育</li> <li>○外国人の子どもの理解と支援</li> <li>○教職のための省察入門</li> <li>●運動生理学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>●衛生学及び公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>●水泳</li> <li>●器械運動</li> <li>●体づくり運動</li> <li>●スポーツ教育原理</li> <li>●スポーツ社会学</li> </ul>	<p>1年生で学んだことを基に、学校教育及び保健体育やスポーツにまつわる知識や経験を身につけていくために、幅広い学びの場があります。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校安全</li> <li>●ICT活用の理論と方法</li> <li>○教科横断と探究学習Ⅰ</li> <li>○教育データの活用Ⅰ</li> <li>○ファシリテーターとしての教員Ⅰ</li> <li>○学習者中心の授業デザインⅠ</li> <li>○教職専門性と省察</li> <li>●保健体育科教育法Ⅰ・Ⅱ</li> <li>●教職インターンシップⅠ</li> <li>●運動学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>●学校保健Ⅰ・Ⅱ</li> <li>●陸上競技 ○ダンス</li> <li>●スポーツ心理学</li> <li>●スポーツマネジメント論</li> <li>●体育史 ●柔道 ●剣道</li> </ul>	<p>教員になるための学びをより実践的にしていくために、実習・演習等を通じて深めていきます。また、研究室に所属し、より専門的な知識を深めていきます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育実習</li> <li>○教科横断と探究学習Ⅱ</li> <li>○教育データの活用Ⅱ</li> <li>○ファシリテーターとしての教員Ⅱ</li> <li>○学習者中心の授業デザインⅡ</li> <li>●保健体育科教育法Ⅲ・Ⅳ</li> <li>●保健体育学研究各論演習A・B</li> <li>●小学校教科内容(体育)</li> <li>●学校と地域スポーツ</li> <li>●発育発達学</li> <li>●サッカー</li> <li>●バスケットボール</li> <li>●バレーボール</li> <li>●小学校教科専門(英語)</li> </ul>	<p>教員採用試験に向けて取組むことはもちろん、実際に教壇に立つための自覚と自信を育むために、自ら考え、求め、学んでいく姿勢を大切に、4年間の学びをまとめしていきます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教職実践演習</li> <li>●保健体育学ゼミナールⅠ・Ⅱ</li> <li>●ハンドボール</li> <li>●ラグビー</li> <li>●テニス</li> <li>●卒業研究</li> </ul>
●初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)			
●小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)			

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

## 専任教員・専門分野(五十音順)

保健体育科教育学 浅井 雄輔	コーチング学 石川 美久	体育科教育学 井上 功一	武道論 太田 順康	学校保健学 小川 剛司
スポーツ心理学 神藤 隆志	運動生理学 鉄口 宗弘	体育哲学 林 洋輔	保健体育科教育学 森井 亮和	

# 音楽教育コース

音楽で表現する楽しさや喜びを子どもと共有できる教師

子ども自身が「こんな風に歌いたい」「○○なイメージの音楽にしたい」というように学習者中心の音楽科授業を展開できるような教師の育成をめざします。そのために、音楽教育コースでは実技面と理論面の両側面からアプローチしていき、「誰もが取り組める」というインクルーシブの視点をもった音楽科の授業構成ができるように指導していきます。

## 求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 現在の教育に求められている音楽科の学習活動を展開できる能力を身に付けようとする意欲のある人

## POINT

- 教師に求められる実践的指導力が身に付くカリキュラム
- 音楽科の学習指導に必要な専門的知識や演奏技能の習得
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

## 取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(音楽)
- ◎高等学校教諭一種(音楽)
- 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
- 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
- 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 取得をめざすことができる教員免許状

## 4年間の学びの流れ

1年生	2年生	3年生	4年生
<p>まずは、教育を取り巻くさまざまな現状を把握することが重要になります。そのために、教職についての基礎を学ぶと共に、音楽表現に必要な実技科目および理論科目を通して、音楽教育にかかわる基礎を習得します。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育総論</li> <li>●教職へのとびら</li> <li>○ダイバーシティと教育</li> <li>○現代社会と子どもの権利</li> <li>○多様な子どもとインクルーシブ教育</li> <li>○外国人の子どもの理解と支援</li> <li>○教職のための省察入門</li> <li>●ソルフェージュ</li> <li>●創作表現Ⅰ</li> <li>●演奏基礎(こえ)</li> <li>●ピアノ伴奏法</li> <li>●音楽学Ⅰ</li> <li>●小学校教科内容(音楽)</li> </ul>	<p>1年生で身に付けた内容を踏まえて、教職に関する内容や教科専門の内容をステップアップさせていきます。音楽科教科法の授業も始まり、実際の小中高等学校での音楽科授業にかかわる基礎理論と実践について学びます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校安全</li> <li>●ICT活用の理論と方法</li> <li>○教科横断と探究学習Ⅰ</li> <li>○教育データの活用Ⅰ</li> <li>○ファシリテーターとしての教員Ⅰ</li> <li>○学習者中心の授業デザインⅠ</li> <li>○教職専門性と省察</li> <li>●中等音楽科教育法Ⅰ・Ⅱ</li> <li>●教職インターンシップⅠ</li> <li>●アンサンブル指揮法</li> <li>●演奏基礎(ピアノ)</li> <li>●合奏Ⅰ</li> <li>●演奏表現(こえ)Ⅰ</li> <li>●演奏表現(ピアノ)Ⅰ</li> <li>●音楽教育学</li> </ul>	<p>学びのメインは夏休みに実施される教育実習になります。教育実習では、教科専門および教科教育のそれぞれの授業で身に付けた全ての能力が統合され、実際の授業の中で児童・生徒の学力の育成にどのよう生きて働くかが課題となります。また、定期演奏会の企画運営を通して、学校行事等を行う能力を身につけます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育実習</li> <li>○教科横断と探究学習Ⅱ</li> <li>○教育データの活用Ⅱ</li> <li>○ファシリテーターとしての教員Ⅱ</li> <li>○学習者中心の授業デザインⅡ</li> <li>●中等音楽科教育法Ⅲ・Ⅳ</li> <li>●和楽器アンサンブルⅠ</li> <li>●スコアリーディング</li> <li>●音楽学Ⅱ</li> <li>●演奏表現(こえ)Ⅲ</li> <li>●演奏表現(ピアノ)Ⅲ</li> <li>●舞台表現演習(伝統音楽を含む)</li> <li>●小学校教科専門(英語)</li> </ul>	<p>演習を中心としたより実践的な学びを通して、教育実習等で得た課題を解決するための力をつけていきます。それらの学修が、教員採用試験や大学院の入試につながります。また、これまでの学びの集大成となる卒業研究に取り組みます。そこでは、演奏表現や論文執筆を通して自らの課題を一層明確にし、卒業してからの課題をもちます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教職実践演習</li> <li>●音楽教育学研究各論演習Ⅰ・Ⅱ</li> <li>●音楽教育実践演習</li> <li>●合唱指導法(混声)Ⅴ</li> <li>●和楽器アンサンブルⅢ</li> <li>●合奏Ⅴ</li> <li>●卒業研究</li> </ul>
●初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)			
●小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)			

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

## 専任教員・専門分野(五十音順)

声楽・合唱 浦田 恵子	音楽教育学 兼平 佳枝	作曲・指揮 猿谷 紀郎	ピアノ・音楽教育 平井 裕也	音楽教育学 藤本 佳子
----------------	----------------	----------------	-------------------	----------------



# 特別支援教育専攻



## 教科教育専攻

# 美術・書道教育コース

アート×人 美術・書道教育で未来を拓く

美術・書道教育コースでは、表現・鑑賞の活動を通し、子どもの人格形成を図る教育を展開できる教師を育成します。実習や講義により、美術・書道に関する様々な知識・技能を身につけ、教科横断的な学びや、探究学習を取り入れつつ、学習者中心の指導方法を学びます。セミナー合宿、研修旅行など、学年を越えたつながりを大切に、卒業研究では、専門のゼミに分かれ、4年間の成果を展覧会などで発表します。美術・書道を通し、人と交流し自らの世界を広げ学ぶ力を育てる教育をめざします。

### 求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 美術・書道分野に関し、小学校・中学校・高等学校教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする探究心を持った意欲あふれる人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人

### POINT

- 美術・書道の基礎から、実践的な教育、制作、研究へ
- 子どもによりそい感性を豊かに
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

### 取得可能な免許

- 〔美術分野〕
- 小学校教諭一種
  - 中学校教諭一種(美術)
  - ◎ 高等学校教諭一種(美術)
  - 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
  - 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
  - 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- 〔書道分野〕
- 小学校教諭一種
  - 高等学校教諭一種(書道)
  - 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
  - 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
  - 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状  
 ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状  
 □ 取得をめざすことができる教員免許状

## 4年間の学びの流れ

### 1回生

一般教養と教職入門をはじめとする教職基礎科目を主体としたカリキュラム構成です。幼稚園、小学校、中学校で幼児、児童、生徒の実態や先生の指導方法を観察する実習があります。美術・書道の専攻科目では、造形の基礎・書法の基礎を学びます。

#### 主な授業

- (共通) 教育総論
- (共通) 教職へのとびら
- (共通) ダイバーシティと教育
- (共通) 現代社会と子どもの権利
- (共通) 多様な子どもとインクルーシブ教育
- (共通) 外国人の子どもの理解と支援
- (共通) 教職のための省察入門
- (美術) 絵画・彫刻表現基礎 A・B
- (美術) デザイン・工芸表現基礎 A・B
- (美術) 小学校教科内容(図工)
- (美術) 日本美術史概論
- (書道) 仮名書法研究 I
- (書道) 楷書法研究 I
- (書道) 小学校教科内容(書写)

- (共通) 小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)

### 2回生

一般教養と教職基礎および教職専門科目を主体としたカリキュラム構成です。図画工作科教育法、美術科教育法、造形の基礎、美術理論、書道理論、書道史を中心に学び、教材研究にも取り組みます。

#### 主な授業

- (共通) 学校安全
- (共通) ICT活用の理論と方法
- (共通) 教科横断と探究学習 I
- (共通) 教育データの活用 I
- (共通) ファシリテーターとしての教員 I
- (共通) 学習者中心の授業デザイン I
- (共通) 教職専門性と省察
- (美術) 美術科教育法 I・II
- (共通) 教職インターンシップ I
- (美術) 絵画・彫刻表現研究 A・B
- (美術) 絵画・彫刻表現発展研究 A・B
- (美術) デザイン・工芸表現研究 A・B
- (美術) デザイン・工芸表現発展研究 A・B
- (美術) 美術理論 I
- (書道) 書道概論 I・II (書写を中心とする)
- (書道) 中国書道史
- (書道) 日本書道史
- (書道) 行書法研究 I・II
- (書道) 草書法研究 I・II
- (書道) 仮名書法研究 II

- (共通) 初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)

### 3回生

これまでの学びを基に教育実習を行い実践的指導力を身につけます。美術・書道の専攻科目では、専門分野の学びを深めます。また、卒業研究に向けた研究テーマを設定しゼミ形式での研究を始めます。

#### 主な授業

- (共通) 教育実習
- (共通) 教科横断と探究学習 II
- (共通) 教育データの活用 II
- (共通) ファシリテーターとしての教員 II
- (共通) 学習者中心の授業デザイン II
- (美術) 美術科教育法 III・IV
- (書道) 書道科教育法 I・II
- (美術) 美術科応用研究 I・II
- (美術) デザイン・工芸史
- (美術) コミュニティとアート
- (書道) 漢字作品制作 I・II
- (書道) 仮名作品制作 I・II
- (書道) 書鑑賞論
- (書道) 書論研究
- (書道) 書道研究基礎 I・II
- (共通) 小学校教科専門(英語)

### 4回生

3回生で設定したテーマにもとづき卒業研究を進めます。教職実践演習を通して、教職に対するこれまでの学びを振り返り、それぞれの課題に応じ必要な力を伸ばします。卒業研究の成果は、卒業制作展などで発表されます。

#### 主な授業

- (書道) 教育実習
- (共通) 教職実践演習
- (美術) 美術科発展研究 I・II
- (書道) 実用書式の研究
- (書道) 書道自由研究 I・II
- (共通) 卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

### 専任教員・専門分野(五十音順)

漢字書道 池田 利広	彫刻 加藤 可奈衛	美術教育・染織 佐藤 賢司	仮名書道・書写書道教育 瀬川 賢一
日本美術史 高間 由香里	デザイン・工芸 谷村 さくら	書論研究・漢字学 出野 文莉	絵画・美術教育 渡邊 美香

## 多様な特別なニーズのある子どもたちに 対応できる特別支援教育の専門性

本専攻では、特別支援学校及び通常の学校における特別支援教育への高度な専門性を有する教員を養成するため、①多様な障がいのある子どもの教育に対する高度な知識・能力を培い、②障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に学び育つ授業やクラスづくりの専門性を育み、③豊富なインターンシップや教育実習により、特別支援教育の実践力を高めていきます。



## 都市型キャンパスで学校現場が求める 優れた実践力を身に付ける

### POINT

- 昼は自由に活動、夕方から大学で学ぶ
- 広く豊かに、何でも学ぶ充実の5年間
- 多様な経験を持つ、多才な仲間たちとの学び

#### 取得可能な免許

- 小学校教諭一種
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状

小学校の全教科・領域に関する幅広い知識・技能・指導力や今日的な教育課題（ICT、発達障がい、多文化共生、英語を中心とした外国語能力）などに対応する能力と共に、昼間の勤務経験や教育現場でのインターンシップ活動などの豊富な経験を活かした、豊かな人間性と社会性を備えた現場実践力の高い小学校教員を養成します。

小学校教育についての知識及び技能を身に付け、小学校教育に関する最先端の知見や指導力を備えた教員を養成します。

#### 求める学生像

- 小学校教育について、強い関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 小学校教員をめざすために、高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人

#### 求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 特別支援教育に必要な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人
- 障がいのある子どもの成長に関わることへの関心があり、特別支援教育の専門性を有する教員に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人

### POINT

- 視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱、発達障がいの6つの障がい領域の専任教員による日本有数の特別支援教育の専門性を有する教員を養成
- 視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱5領域の教員免許状を取得
- 現場経験のある豊富なスタッフによる教員採用試験対策等の就職支援の結果、全国の特別支援学校教員や小学校教員等として就職し活躍

#### 取得可能な免許

- 小学校教諭一種
- 特別支援学校教諭一種 ※  
(視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱)
- 中学校教諭一種または二種
- 高等学校教諭一種
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状  
 取得をめざすことができる教員免許状  
※所属コースに応じた3領域を取得。  
さらに選択科目の単位を修得することで最大5領域とすることができる。

## 4年間の学びの流れ

1回生	2回生	3回生	4回生
<p>新入生を対象とした講義が用意され、4年間を過ごす仲間や教員と共に特別支援教育についての基礎を学びます。また小学校での教職入門実習で通常の学校で学ぶ子どもの教育を実際に学びます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育総論</li> <li>● 教職へのとびら</li> <li>○ ダイバーシティと教育</li> <li>○ 現代社会と子どもの権利</li> <li>○ 多様な子どもとインクルーシブ教育</li> <li>○ 外国人の子どもの理解と支援</li> <li>○ 教職のための省察入門</li> <li>● 特別支援教育総論</li> <li>● 手話学習の基礎</li> <li>● 点字指導法</li> <li>● インクルーシブ教育システム基礎論</li> </ul>	<p>6つの障がい種のいずれかのコースに所属し専門性を高めます。また、所属コース以外の障がい種の講義を受講することで、特別支援学校教諭一種免許状にはすべての障がい種を付記できます。特別支援学校インターンシップでは特別支援学校で障がいのある子どもの教育を実際に学びます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校安全</li> <li>● ICT活用の理論と方法</li> <li>○ 教科横断と探究学習 I</li> <li>○ 教育データの活用 I</li> <li>○ ファシリテーターとしての教員 I</li> <li>○ 学習者中心の授業デザイン I</li> <li>○ 教職専門性と省察</li> <li>● 特別支援学校インターンシップ</li> <li>● 視覚障害教育 ● 聴覚障害教育</li> <li>● 知的障害教育</li> <li>● 肢体不自由教育</li> <li>● 病弱教育 ● 発達障害教育</li> <li>● 特別支援教育コーディネーター基礎論</li> </ul>	<p>小学校と特別支援学校での教育実習をそれぞれ3週間行い、幅広く高度な実践力を培います。またゼミに所属し、自分の興味・関心のあるテーマについて小人数で議論しながら、見識・知見を深めていきます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育実習</li> <li>● ICT活用の理論と探究学習 II</li> <li>○ 教育データの活用 II</li> <li>○ ファシリテーターとしての教員 II</li> <li>○ 学習者中心の授業デザイン II</li> <li>● 特別支援教育実践論</li> <li>● 障害児のキャリア教育</li> <li>● 知的障害者の心理・生理・病理</li> <li>● 肢体不自由者の心理・生理・病理</li> <li>● 病弱者の心理・生理・病理</li> <li>● 視覚障害心理</li> <li>● 聴覚障害心理</li> <li>● 小学校教科専門（英語）</li> </ul>	<p>特別支援教育専攻独自の教員採用試験（筆記試験・面接試験）対策講座に参加し、「教採合格」をめざします。ゼミでは、各自の興味・関心に基づき、卒業論文を指導教員の個別指導を受けながらまとめていきます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教職実践演習</li> <li>● 視覚障害指導論</li> <li>● 聴覚障害指導論</li> <li>● 知的障害指導論</li> <li>● 肢体不自由指導論</li> <li>● 病弱指導論</li> <li>● 発達障害指導論</li> <li>● ユニバーサルデザイン授業論</li> <li>● 卒業研究</li> </ul>
○は本学のフラッグシップ指定科目です。			
<p>● 初等教科教育法（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語）</p> <p>● 小学校教科専門（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育）</p>			

#### 専任教員・専門分野（五十音順）

聴覚障がい児の心理と教育 井坂 行男	知的障がい教育 今枝 史雄	脳科学/ リハビリテーション医学 大内田 裕	障がいのある幼児の心理/ 音楽療法 茂野 仁美	インクルーシブ教育の理論と実践/ スイス・ドイツの特別ニーズ教育 富永 光昭	視覚障がい児の心理と教育/ 教師の職能成長 奈良 里紗
人間性心理学/ 発達障がい児の心理 西山 健	肢体不自由教育 早野 眞美	院内学級での教育/ 病弱者の心理 平賀 健太郎	視覚障がい教育/ 自立活動 正井 隆晶	聴覚障がい心・音声学/ 発達・言語障がい教育 湯浅 哲也	

## 5年間の学びの流れ

1回生	2回生	3回生	4回生	5回生
<p>「教職へのとびら」や教養教育科目を通して、大学での学びの基礎を築きます。「教職のための省察入門」で小学校を訪問します。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教職へのとびら</li> <li>○ ダイバーシティと教育</li> <li>○ 現代社会と子どもの権利</li> <li>○ 多様な子どもとインクルーシブ教育</li> <li>○ 外国人の子どもの理解と支援</li> <li>○ 教職のための省察入門</li> <li>● 小学校教科専門 (国語、社会、算数、理科)</li> </ul>	<p>「教育総論」や学校インターンシップ科目、小学校教科専門科目により、教育や授業づくりの基礎を学びます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育総論</li> <li>○ 教科横断と探究学習 I</li> <li>○ 教育データの活用 I</li> <li>○ ファシリテーターとしての教員 I</li> <li>○ 学習者中心の授業デザイン I</li> <li>○ 教職専門性と省察</li> <li>● 初等教科教育法（生活）</li> <li>● 学校インターンシップ体験</li> <li>● 小学校教科専門 (生活、音楽、図画工作、家庭、体育)</li> </ul>	<p>教育・実習実践系科目や教科教育系科目により、教育や授業づくりに関する知を深め、実践に備えます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習者中心の授業デザイン II</li> <li>● 初等教科教育法 (国語、社会、理科、図画工作、英語)</li> <li>● 教育学研究 Ia・Ib</li> <li>● 学校インターンシップ I</li> <li>● ものづくり教育研究 a・b</li> <li>● 社会科学習指導研究 a・b</li> <li>● 数学・数学教育研究 a・b</li> <li>● 理科の実験 Ia・Ib</li> <li>● 学校保健学 a・b</li> <li>● 生活科学 a・b</li> </ul>	<p>「教育実習」や学校インターンシップを通して、学校での実践力を高めます。「卒業研究」に向けて希望する専門の授業を受講します。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校安全 a・b</li> <li>● 総合的な学習の時間の指導法</li> <li>● 教育実習 I</li> <li>● 初等教科教育法 (算数、音楽、家庭、体育)</li> <li>● 教育学研究 IIa・IIb</li> <li>● 心理学研究法 a・b</li> <li>● 学校インターンシップ II</li> <li>● 学習指導研究 a・b (国語科、英語科、音楽科、図画工作科、体育科)</li> <li>● 理科の実験 IIa・IIb</li> </ul>	<p>「教育実習」や「教職実践演習」などを通して、小学校教員としての資質能力を養います。また「卒業研究」を通して、学校教育の諸課題を探究します。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育実習 II</li> <li>● 教職実践演習</li> <li>● 課題研究 I・II</li> <li>● 卒業研究</li> </ul>
○は本学のフラッグシップ指定科目です。				

#### 専任教員・専門分野（五十音順）

教育方法学 芦田 祐佳	英語教育学 生馬 裕子	理科教育学 岡部 舞	情報教育・ ものづくり教育 垣本 徹	英語教育学 小林 翔	国語（漢文学） 佐藤 一好	教育哲学・ 教育思想 高松 みどり	国語教育学 田中 俊弥	基礎解析学・ 数学教育学 富永 雅
応用行動分析学・ インクルーシブ教育 野田 航	体育科教育学・ 身体表現 橋元 真央	地学教育・ 科学教育 廣木 義久	国際経済学 裴 光雄	学校臨床心理学 牧 郁子	図画工作・美術・ 工芸教育 松井 祐	発達心理学 柳岡 開地	教育社会学 藪田 直子	音楽学・ 音楽教育学 吉野 秀幸





## 学校保健の中心的役割を担う養護教諭

養護教諭養成課程では、教育学の基礎の上に、医学・看護学・養護学など、幅広い専門分野の基礎知識と実践能力を備え、健康を保持増進する能力を子どもたちが獲得できるように、様々な機会を捉え支援する資質を備えた養護教諭を養成します。そのため、幅広い教養教育の基礎の上に立って、各専門分野の学習を深めるとともに、臨床(病院)実習、養護実習などをとおして実践能力の向上をめざします。さらに、学校安全や危機対応についての知識や能力を養います。

### ▼ 柏原キャンパス

養護教諭

### 求める学生像

- 養護教諭をめざするために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれた人
  - 養護教諭になることを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
  - 子どもたちの健康な学校生活を支援することにやりがいと使命感を感じる人
  - 人と明るく温かなコミュニケーションが図れる能力や個性を備えている人
- ※生物、化学を入学までに学習していることを前提として講義を行う

### POINT

- 養護教諭として、幅広い教養と高い専門性を身につける
- 養護教諭として、子どもの心身の健康を支援する実践力を高める
- 養護教諭として、様々な教育課題に対応する実践力を身につける

### 取得可能な免許

- 養護教諭一種
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状

## 4年間の学びの流れ

### 1回生

教養教育科目と教職専門・フラッグシップ科目を通して、教職の意義、教職への動機づけ、さらに、学校教育における今日的課題について関心を深める。また、特別な配慮や支援を必要とする子どもについて理解し、支援についての基礎的知識を修得する。養護専門科目を通して、養護教諭として、からだの構造・機能、子どもの発育・発達に関する基礎的知識を修得するとともに、子どもの健康の保持増進を考えていく上で必要不可欠な基本的理念・知識を体系的に理解する。

### 主な授業

- 教育総論
- 教職へのとびら
- 発達と学習の心理学
- 特別支援教育の基礎
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 多様な子どもとインクルーシブ教育
- 外国人の子どもの理解と支援
- 教職のための省察入門
- 学校保健
- 解剖生理学 I・II
- 小児保健

### 2回生

教職基礎・専門科目を通して、人権侵害や差別の現状、道徳教育の理論・指導法、子どもの生活背景について理解し、学校の役割と経営についての基礎的知識を修得するとともに、今日における生徒指導上の諸問題に関する理論的・実践的な認識を身につける。また、学校安全や危機管理についての基本的事項を理解する。養護専門科目を通して、健康診断、保健指導、保健室経営等における養護教諭として必要な指導力の基礎を養う。子どもの援助と指導に関して、看護学・精神保健学の基本的理論と技法・技能を修得する。

### 主な授業

- 人権教育の基礎
- 学校の役割と経営
- 学校安全
- 道徳教育論
- 生徒指導論
- 教職専門性と省察
- 教職インターンシップ I
- 養護概説
- 養護活動実習
- 看護学 I
- 精神保健学

### 3回生

教職専門科目を通して、特別活動及び総合的な学習や探究の時間の指導法についての基礎的知識を修得する。心理学の基礎的な理論や教育相談などの技法を理解する。養護専門科目を通して、専門的資質・能力を高める。健康相談の知識・技能を修得する。救急処置実習・臨床実習を通して、実践的な更なる技能の向上を図り、養護実習の履修前に知識・技能を深める。養護実習を行い学校現場における経験を踏まえ、学修成果と今後の課題を再認識する。

### 主な授業

- 特別活動論
- 教育相談の理論と方法
- 養護実習
- 養護学 I
- 健康相談活動(カウンセリング論)
- 看護学 II
- 救急処置実習
- 臨床実習

### 4回生

養護教諭になるために必要とされる養護専門科目の履修と卒業研究を通して、更なる深い専門的知識と技能を修得する。4年間の集大成として、養護教諭として必要な知識・技能全体について到達点と課題を確認し、課題克服に努め、養護教諭としての資質・能力を確実なものとする。

### 主な授業

- 教職実践演習
- 養護教育演習 I・II
- 卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

### 専任教員・専門分野(五十音順)

学校保健学 大道 乃里江      神経科学 高橋 秀典      看護情報学 橋 弥 あかね



# 教育協働学科

教育イノベーション専攻／教育コミュニティ支援専攻／  
グローバル教育専攻

地域と連携・協働し、  
多様な教育課題の解決方法を創造できる人材へ

総合的な教養に加え、教育マインドと専門性の高い能力を身につけ、チーム学校による支援に加えて、企業やNPO法人、行政等との連携・協働をより一層推進できる人材を養成すべく、令和7年4月に教育協働学科の専攻・コースを再編します。

令和7年4月より、教育協働学科は「教育イノベーション専攻」「教育コミュニティ支援専攻」「グローバル教育専攻」で構成されます。

教育イノベーション専攻は、数理・知能情報コースと環境安全科学コースに分かれ、数理・AI・データサイエンスや、自然科学・環境科学・安全科学などの専門的知識・技能を修得します。

教育コミュニティ支援専攻は、心理学コース、スポーツ健康コース、芸術表現コースに分かれ、心理学やスポーツ活動、芸術活動に関する専門的知識・技能を修得します。

グローバル教育専攻は、日本語教育コースと国際協働英語コースに分かれ、日本語・日本文化に関する専門的知識・技能や高度な英語運用能力を身につけます。

各専攻・コースの詳細については、後掲のページをご覧ください。

## ▼柏原キャンパス

教育イノベーション	数理・知能情報
	環境安全科学
教育コミュニティ支援	心理学
	スポーツ健康
	音楽 芸術表現 美術
グローバル教育	日本語教育
	国際協働英語



教育的な視点から、  
学校・家庭・地域・企業等と連携・協働し、  
社会に貢献する人を育てる。

## 【教育協働学科がめざす人材育成】

### 多様性理解

社会における人種・宗教・歴史・文化・ジェンダー・年齢・価値観等の多様性を理解・尊重し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身につける。グローバル時代における多様な課題を解決するために能動的に行動ができる。

### 協働力

社会のグローバル化に対応し、学校や地域等と連携の上、協働して課題解決にあたる。他者と協働して問題を分析のうえ整理し、課題解決に向けてのプランを策定することができる能力や、課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を持つ。

### 専門的知識・技能

所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備え、専門分野に関する内容やその意義を社会に向けて的確に伝達、表現することができる能力を有し、主体的に物事を考え、専門的知識・技能を活用した行動ができる。

## ◆教育協働学科 教育イノベーション専攻 数理・知能情報コース カリキュラムマップ

カリキュラムマップは、各科目を履修することによりどのような力を身につけることができるかを表しています。

以下は、教育協働学科教育イノベーション専攻数理・知能情報コースの事例です。

各課程の専攻及びコースごとのカリキュラムマップは、本学ウェブページに掲載しています。

Diploma Policy	1 回生	2 回生	3 回生	4 回生
専門的知識・技能	<b>専攻共通科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数理科学教育とプレゼンテーション</li> <li>・サイエンスコミュニケーション概論</li> <li>・生活環境と安全入門</li> <li>・安全な生活環境のデザイン</li> </ul> <b>コース専門科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理演習</li> <li>・線型代数A・B</li> <li>・微分積分学A・B</li> <li>・情報倫理</li> <li>・解析学基礎</li> <li>・代数学基礎</li> </ul>	<b>専攻共通科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIと情報社会</li> <li>・サイエンス活動指導論</li> </ul> <b>コース専門科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データサイエンスI</li> <li>・情報理論</li> <li>・数理情報</li> <li>・メディア表現とコミュニケーション</li> <li>・マルチメディア教材開発</li> <li>・情報通信ネットワークI</li> <li>・情報通信ネットワークII</li> <li>・プログラミングとグループワークI</li> <li>・プログラム言語</li> <li>・代数学A・B</li> <li>・幾何学A・B</li> <li>・解析学A・B</li> <li>・確率・統計</li> <li>・確率・統計統計</li> <li>・AI概論</li> </ul>	<b>コース専門科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代数学I・II</li> <li>・幾何学I・II</li> <li>・解析学I・II</li> <li>・統計活用</li> <li>・数理探究</li> <li>・AI技術と教育</li> <li>・データサイエンスII</li> <li>・データ構造とアルゴリズム</li> <li>・システムソフトウェア</li> <li>・情報通信ネットワークIII</li> <li>・マルチメディア技術と教育</li> <li>・メディアデザイン演習</li> <li>・ロボット教材とプログラミングA・B</li> <li>・ソフトウェア設計・開発</li> <li>・データベース演習</li> </ul>	卒業研究
探究力	<b>課題探究プログラム科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創造探究演習I</li> </ul>	<b>課題探究プログラム科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創造探究演習II</li> </ul>	<b>課題探究プログラム科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創造探究演習III</li> </ul>	<b>課題探究プログラム科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創造探究演習IV</li> </ul>
協働力 教育協働実践力	<b>協働共通科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育協働概論I・II</li> <li>・キャリア形成</li> <li>・キャリア形成演習</li> <li>・教育協働とキャリア</li> <li>・ライフプランニング</li> </ul>	<b>協働共通科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アントレプレナーシップ概論I・II</li> <li>・教育協働実践デザイン演習</li> <li>・多職種と連携した地域振興</li> <li>・キャリア形成のための金融ファイナンス学</li> </ul>	<b>協働共通科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育コラボレーション演習</li> <li>・コミュニケーション実践演習</li> </ul>	<b>協働共通科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携協働活動演習</li> </ul>
教育理解	<b>教育理解科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育基礎セミナー</li> <li>・教育総論</li> <li>・発達と学習の心理学</li> <li>・特別支援教育の基礎</li> <li>・ダイバーシティと教育</li> <li>・現代社会と子どもの権利</li> <li>・多様な子どもとインクルーシブ教育</li> <li>・外国人の子どもの理解と支援</li> </ul>	<b>教育理解科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の役割と経営</li> <li>・学校安全</li> <li>・現代社会と教育I</li> <li>・教育データの活用I</li> </ul>	<b>教育理解科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育データの活用II</li> </ul>	
豊かな教養と 広い視野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教養教育科目群(導入科目・基礎教養科目・グローバル教育科目・体育科目・情報活用科目)</li> </ul>			

✚ 教育職員免許状及びその他の資格を取得する場合、上記卒業に必要な科目の単位を修得するほか、各資格の取得に必要な科目の単位を併せて修得する

※令和7年度教育協働学科再編のため、授業科目については今後変更となる可能性があります。





教育イノベーション専攻は、数理・AI・データサイエンスや環境安全科学に関する高度な専門的知識・技能と探究力を組み合わせて、学校や教育関連企業と連携・協働して多様な教育課題の解決方法を創造できる人材の養成を目的とします。

求める学生像

- 教育現場、企業に必要な課題解決能力を身につけたい人
- 未知の現象を探究し、その社会的意義を説明する意欲を持つ人
- 学校および地域の多様な組織と協働し、安全な教育環境の推進に貢献したい人
- 環境問題に深い興味を持ち、そこでの課題解決方法を探究していきたい人

専任教員・専門分野(五十音順)

数理・知能情報コース

応用数学 芦野 隆一	算数教育 木村 憲太郎	ラーニング アナリティクス 中村 航平	データサイエンス 西出 亮	代数学 平木 彰	解析学 藤田 真依	情報工学/ ウェブ情報学 堀 真寿美	幾何学 町頭 義朗
情報通信システム 三島 和宏	応用数学 守本 晃	創造的思考/ AIデータサイエンス 安松 健	教育学 山本 良太	確率論 湯浅 久利			

環境安全科学コース

生態学 乾 陽子	住環境学 碓田 智子	生体物質科学/ 知財教育 片桐 昌直	ナノ構造科学 川越 毅	統計力学 喜綿 洋人	物理教育 串田 一雅	分析化学 久保楚 公二	環境安全情報学 後藤 健介
気象学 小西 啓之	有機化学 谷 敬太	安全行動学 豊沢 純子	STEAM教育 仲矢 史雄	食生活科学 西川 章江	水圏科学 広谷 博史	安全教育学 藤田 大輔	有機化学 堀 一繁
地球宇宙化学 堀 真子							

教育イノベーション専攻

数理・知能情報コース

数理・知能情報コースでは、数理・AI・データサイエンスに関する高度な専門的知識・技能を効果的に活用し、学校や教育関連企業と連携・協働して、データ分析や情報マネジメントによる教育現場のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進することにより、多様な教育課題の解決方法を創造できる人材を養成します。

求める学生像

- 数理・AI・データサイエンスに関する専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に探究心を持って、多様な教育課題の解決を自ら図ることができる人
- 数理・AI・データサイエンスに関する高度な知識や高い技能を修得し、それらとICTを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- 確かな学力と旺盛な知的的好奇心、人間への深い理解を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

4年間の学びの流れ

<p><b>1回生</b></p> <p>「教育基礎セミナー」等により論理的な思考力を養います。また、「解析学基礎」「代数学基礎」「情報処理演習」などを通じて、数理科学および情報科学の初歩を学びます。「教育協働概論Ⅰ・Ⅱ」等により、教育分野で協働することの大切さを学びます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育基礎セミナー</li> <li>●教育総論</li> <li>●ダイバーシティと教育</li> <li>●現代社会と子どもの権利</li> <li>●教育協働概論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>●キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>●創造探究演習Ⅰ</li> <li>●情報処理演習</li> <li>●解析学基礎</li> <li>●代数学基礎</li> </ul>	<p><b>2回生</b></p> <p>数学の各分野(代数学・幾何学・解析学)の基礎を学び、「情報通信ネットワーク」「AI概論」など情報科学の基礎を学びます。また、「アントレプレナーシップ概論」等で協働することについて学びます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校安全</li> <li>●アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>●創造探究演習Ⅱ</li> <li>●データサイエンスⅠ</li> <li>●マルチメディア教材開発</li> <li>●情報通信ネットワークⅠ</li> <li>●AI概論</li> <li>●代数学A・B</li> <li>●幾何学A・B</li> <li>●解析学A・B</li> </ul>	<p><b>3回生</b></p> <p>数学の各分野を深く学び、様々な問題を論理的に解決できる力を身につけます。データサイエンス、プログラミング、AI技術と教育など情報分野と教育について学びます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育コラボレーション演習</li> <li>●コミュニケーション実践演習</li> <li>●創造探究演習Ⅲ</li> <li>●データサイエンスⅡ</li> <li>●マルチメディア技術と教育</li> <li>●ロボット教材とプログラミングA・B</li> <li>●ソフトウェア設計・開発</li> <li>●AI技術と教育</li> <li>●統計活用</li> </ul>	<p><b>4回生</b></p> <p>卒業研究においては、少人数のセミナー形式で、洋書を読む、問題解決のためにソフトウェアを作成するなどして、様々な教育の場で活躍できるように、個々の力を伸ばします。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●創造探究演習Ⅳ</li> <li>●卒業研究</li> </ul>
--	---	--	--

※令和7年度教育協働学科再編のため、授業科目については今後変更となる可能性があります。

POINT

- 数理科学・情報科学(AI、データサイエンスを含む)の専門的な知識を身につける
- 数理科学・情報科学の応用実践力を身につける
- 数理科学・情報科学の教育マインドを身につける

取得可能な免許・資格等

- ◎ 中学校教諭一種(数学) ◎ 高等学校教諭一種(数学)
- ◎ 高等学校教諭一種(情報)※
- 社会教育士(養成課程)、社会教育主事任用資格
- 図書館司書 □ 学校図書館司書教諭
- ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- ※ 高等学校教諭一種(情報)免許状については、文部科学省に教職課程を申請中であり、審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。
- 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる資格等

教育イノベーション専攻

環境安全科学コース

環境安全科学コースでは、自然科学や生活科学、安全科学など多様な専門的知識・技能を融合し、学校や教育関連企業、行政、自治体などと連携・協働して、身の回りの環境から地球環境に至る幅広い課題を探究することにより、多様な教育課題の解決方法を創造できる人材を養成します。

求める学生像

- 自然科学や生活科学、安全科学などに関する専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に探究心を持って、多様な教育課題の解決を自ら図ることができる人
- 自然科学や生活科学、安全科学などに関する高度な知識や高い技能を修得し、それらとICTやデータサイエンスを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- 確かな学力と旺盛な知的的好奇心、人間への深い理解を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

4年間の学びの流れ

<p><b>1回生</b></p> <p>「生命科学実験」、「自然災害教育論」、「住環境学」などの講義と実践により、自然科学や生活科学、安全科学の基礎・基本を習得していき、環境安全科学の土台となる基礎学力を身につけていきます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育基礎セミナー</li> <li>●教育総論</li> <li>●ダイバーシティと教育</li> <li>●現代社会と子どもの権利</li> <li>●教育協働概論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>●キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>●創造探究演習Ⅰ</li> <li>●自然災害教育論</li> <li>●住環境学</li> <li>●生命科学実験</li> </ul>	<p><b>2回生</b></p> <p>自然科学や生活科学、安全科学各分野の基礎を固めつつ、「分子生物学」、「熱力学」、「学校安全」、「安全行動学」など各領域の専門を修得し始めます。また、「アントレプレナーシップ概論」など、自然科学や生活科学、安全科学の知識を教育分野へどのように融合させるかについて学び始めます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校安全</li> <li>●アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>●創造探究演習Ⅱ</li> <li>●環境安全科学教育概論</li> <li>●食の安全と環境</li> <li>●安全行動学</li> <li>●分子生物学</li> <li>●熱力学</li> <li>●地球科学概説</li> <li>●物質化学概説</li> </ul>	<p><b>3回生</b></p> <p>「集団生物学」や「野外環境実習」、「環境安全情報学」、「住環境デザイン演習」などにより各専門領域の知識をより深く修得するとともに、「教育コラボレーション演習」で、その活用力を養います。さらに、学生自ら諸課題を発見し、その対応力を身につけていきます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育コラボレーション演習</li> <li>●コミュニケーション実践演習</li> <li>●創造探究演習Ⅲ</li> <li>●環境インフォマティクス</li> <li>●住環境デザイン演習</li> <li>●環境安全情報学</li> <li>●基礎物理化学</li> <li>●集団生物学</li> <li>●野外環境実習</li> </ul>	<p><b>4回生</b></p> <p>少人数での研究室所属による「卒業研究」や「環境安全科学教育実践演習」で研究方法や実践力をしっかりと養いつつ、研究の視点や研究方法の探求力を高めていきます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●創造探究演習Ⅳ</li> <li>●環境安全科学教育実践演習</li> <li>●卒業研究</li> </ul>
---	---	--	--

※令和7年度教育協働学科再編のため、授業科目については今後変更となる可能性があります。





教育コミュニティ支援専攻は、心理科学や健康科学、スポーツ活動、芸術活動に関する高度な専門的知識・技能と探究力を組み合わせ、学校や教育関連企業と連携・協働して、多様な教育課題の解決方法を創造できる人材の養成を目的とします。

求める学生像

- 将来、学校、家庭、地域社会における教育・学習活動を支援する仕事に就きたいと考えている人
- 様々な立場の人と協働しながら、様々な年代の人々の心身の発達を支えていきたいと考えている人
- 学校や教育行政および地域の多様な組織と協働し、教育課題の解決に貢献したい人
- スポーツや芸術の理解および実践に強い関心があり、その素晴らしさを子どもたちに伝えていきたいと考えている人

専任教員・専門分野(五十音順)

心理科学コース

臨床心理学	精神神経科学	図書館情報学	社会福祉学	生涯学習論	教育心理学	臨床心理学
石橋 正浩	岩切 昌宏	高 敏 裕樹	高橋 味央	出相 泰裕	寺坂 明子	山口 正寛

スポーツ健康コース

スポーツ科学	健康科学	身体教育学	衛生学/公衆衛生学	スポーツ医学	スポーツ科学	内科学	スポーツ科学
生田 泰志	榎木 泰介	千住 真智子	永井 由美子	橋本 恒	松原 英輝	松本 鉄也	吉田 雅行

教育コミュニティ支援専攻

# 心理科学コース

心理科学コースでは、人間の生涯にわたる心理や社会の課題を解決するために必要な理論と実践や、人間の発達とコミュニティのあり方に関する知識を修得し、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働して、人々が安心して生活できる社会のあり方を探究することにより、多様な教育課題の解決を支援できる人材を養成します。

求める学生像

- 心理科学や生涯教育学、社会福祉学に関する専門的知識とスキルを身につけ、学校や地域との連携・協働のもと、多様な教育課題の改善や解決に貢献したいと思う人
- 公認心理師、社会教育主事・社会教育士、図書館司書、社会福祉主事、児童心理司、児童福祉司などの資格等を取ることに関心のある人

## 4年間の学びの流れ

1 回生

大学での学びの基礎となるスキルを修得するとともに、「生涯学習概論」「心理学概論」「社会福祉学概論」で各領域の基礎を体系的に身につけます。

主な授業

- 教育基礎セミナー ● 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ
- キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ
- 創造探究演習Ⅰ
- 心理学概論 ● 生涯学習概論
- 社会福祉学概論
- 人体の構造と機能及び疾病

2 回生

多くの専門科目が開講されます。現在の関心や将来の進路を見据えて必要な科目を選択して履修します。現在学校で行なわれている協働の実際を理解するための科目もあります。

主な授業

- 学校安全
- アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ
- 創造探究演習Ⅱ
- 心理学研究法
- 生涯教育学研究法
- 心理学実験
- 生涯教育実践研究Ⅰ
- 臨床心理学概論
- 図書館サービス概論

3 回生

引き続き多彩な専門科目を履修します。また「創造探究演習Ⅲ」では、これまでに身につけた知識をもとにプロジェクトテーマをみずから考え、研究と実践をおこなうことをとおして卒業研究の準備をおこないます。

主な授業

- 教育コラボレーション演習
- コミュニケーション実践演習
- 創造探究演習Ⅲ ● 心理学的支援法
- 心理的アセスメント
- 生涯教育実践研究Ⅱ
- 社会教育課題研究
- 情報サービス概論
- 児童サービスと資料

4 回生

4回生では大学での学びの集大成として卒業研究に取り組みます。みずから設定したテーマに沿って研究計画を作成し、資料やデータの収集と分析、考察や展望などを担当教員の指導のもとでおこない、卒業研究を完成させます。

主な授業

- 創造探究演習Ⅳ
- 卒業研究
- 心理演習
- 心理実習
- 社会教育実習

※令和7年度教育協働学科再編のため、授業科目については今後変更となる可能性があります。

教育コミュニティ支援専攻

# スポーツ健康コース

スポーツ健康コースでは、高いスポーツ実技力を有した学生がスポーツの普遍的価値と社会における有用性、人間の心理的発達や機能発達におけるスポーツの重要性と有効性、心身の健康や運動行動、スポーツ活動などについての原理や方法を学びます。そして、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働して、様々な人々が安全かつ健康にスポーツを実践・交流することができる指導力を身に付け、多様な教育課題の解決を支援できる人材を養成します。

求める学生像

- 高いスポーツ実技力ならびにスポーツと健康に関する専門性と教育理解を備え、専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校や地域と共に、探究心を持って多様な教育課題の解決を図ることができる人
- スポーツや健康に関する高度な知識や技能、さらには様々なニーズに対応できるスポーツ実践力を修得し、ICTやデータサイエンスをも活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- 確かな学力と旺盛な知的好奇心、人間への深い愛情と理解を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

## 4年間の学びの流れ

1 回生

スポーツ指導者やチーム学校の一員となる初歩として、スポーツや健康、教育に関する学びをさらに広げます。スポーツ指導者としての学びも本格的に始まります。

主な授業

- 教育基礎セミナー ● 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ
- キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ
- 創造探究演習Ⅰ
- 水泳 ● 器械運動
- 体づくり運動
- スポーツ社会学
- 運動生理学Ⅰ・Ⅱ

2 回生

1回生で学んだことを基に、スポーツや健康、教育に関する学びをさらに広げます。スポーツ指導者としての学びも本格的に始まります。

主な授業

- 学校安全
- アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ
- 創造探究演習Ⅱ
- 陸上競技 ● 剣道 ● 柔道 ● ダンス
- ソフトボール
- スポーツコーチング論
- 運動学Ⅰ・Ⅱ ● スポーツ心理学
- スポーツマネジメント論
- スポーツ医学
- スポーツトレーニングと適応

3 回生

スポーツ指導者やチーム学校の一員としての対応力を実習・演習等により深めていきます。また、研究室に所属し、スポーツや健康、教育に関する学術的知見を理解し、応用する力を身に付けます。

主な授業

- 教育コラボレーション演習
- コミュニケーション実践演習
- 創造探究演習Ⅲ
- バレーボール ● サッカー
- バスケットボール
- アスレティックリハビリテーション
- 救急処置法 ● スポーツバイオメカニクス
- スポーツ指導者育成論
- スポーツと栄養 ● スポーツ行政論

4 回生

スポーツ指導者やチーム学校の一員としての学びを通して獲得した自信と自己に基づき、多様なニーズに応える力や自ら学ぶ姿勢の育成を図るなど、スポーツや健康、教育に関する4年間の学びを社会に還元するための研鑽を重ねます。

主な授業

- 創造探究演習Ⅳ
- 卒業研究
- ハンドボール ● テニス ● ラグビー
- スポーツマッサージ
- 環境保健学
- 産業保健
- 免疫学
- 健康生化学

※令和7年度教育協働学科再編のため、授業科目については今後変更となる可能性があります。



# 芸術表現コース〈音楽〉

芸術表現コースでは、音楽及び美術の普遍的価値と人間社会における有用性ならびに人間の心理的発達における芸術の重要性と有効性を理解し、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働して、芸術の実践と交流によって社会における様々な人々をつなぐ方策を探究することにより、多様な教育課題の解決を支援できる人材を養成します。

## 求める学生像

- 芸術に興味・関心を持ち、教育及び芸術文化の発展に幅広く貢献したい人
- 専門領域の高度な表現能力を習得し、地域社会や学校教育現場で指導力を発揮したいと志す人
- コミュニケーション能力を発揮し、他の人々と協働し、教育及び芸術文化の多様な課題を解決したいと志す人
- 教育や社会における芸術表現の在り方について、実践的かつ持続的な活動を通して探求できる人
- 複雑化した現代社会において、人間らしく生きるための糧となる芸術の本質を追求・理解したい人

## POINT

- 高めよう 教える力 人間力
- 養おう 音楽の力 みっちり
- つなげよう 学校・地域 音楽の輪

## 取得可能な免許・資格等

- ◎ 中学校教諭一種(音楽) ◎ 高等学校教諭一種(音楽)
- 社会教育士(養成課程)、社会教育主事任用資格
- 図書館司書 □ 学校図書館司書教諭

- ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる資格等



# 芸術表現コース〈美術〉

芸術表現コースでは、音楽及び美術の普遍的価値と人間社会における有用性ならびに人間の心理的発達における芸術の重要性と有効性を理解し、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働して、芸術の実践と交流によって社会における様々な人々をつなぐ方策を探究することにより、多様な教育課題の解決を支援できる人材を養成します。

## 求める学生像

- 芸術に興味・関心を持ち、教育及び芸術文化の発展に幅広く貢献したい人
- 専門領域の高度な表現能力を習得し、地域社会や学校教育現場で指導力を発揮したいと志す人
- コミュニケーション能力を発揮し、他の人々と協働し、教育及び芸術文化の多様な課題を解決したいと志す人
- 教育や社会における芸術表現の在り方について、実践的かつ持続的な活動を通して探求できる人
- 複雑化した現代社会において、人間らしく生きるための糧となる芸術の本質を追求・理解したい人

## POINT

- 高度な表現能力の習得をめざす指導が受けられる
- 教育や地域社会と芸術表現の関わり方について学ぶ

## 取得可能な免許・資格等

- ◎ 中学校教諭一種(美術) ◎ 高等学校教諭一種(美術)
- 社会教育士(養成課程)、社会教育主事任用資格
- 図書館司書 □ 学校図書館司書教諭

- ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる資格等



## 4年間の学びの流れ

1回生	2回生	3回生	4回生
<p>「音楽専門実技」を中心に「ピアノ」「歌唱表現の基礎」といった基礎的な実技科目や「作曲理論」「音楽学」「芸術表現文化論」等の理論科目を通して音楽の基礎能力を身に付けます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育基礎セミナー</li> <li>● 教育総論</li> <li>● ダイバーシティと教育</li> <li>● 現代社会と子どもの権利</li> <li>● 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● 創造探究演習Ⅰ</li> <li>● 音楽専門実技ⅠA・ⅠB</li> </ul>	<p>芸術表現能力をさらに高めるとともに「社会芸術教育協働活動基礎演習」や「課外活動指導法(音楽)」等で、芸術がどのように学校や社会での教育協働活動に関わるかを学び、実践していきます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校安全</li> <li>● アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● 創造探究演習Ⅱ</li> <li>● 音楽専門実技ⅡA・ⅡB</li> <li>● 課外活動指導法</li> </ul>	<p>専門能力を学校や社会で発揮するために、「創造探究演習Ⅲ」で様々な企画や運営を自ら考えアプローチします。「ピアノ指導法協働演習」でも問題解決型授業により指導力と人間力を高めていきます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育コラボレーション演習</li> <li>● コミュニケーション実践演習</li> <li>● 創造探究演習Ⅲ</li> <li>● 音楽専門実技ⅢA・ⅢB</li> <li>● ピアノ指導法協働演習</li> <li>● 障害を越える音楽</li> </ul>	<p>今日的課題の解決に関わる教育プロジェクト演習を通して教材の開発や多様性理解について学び、学校や社会との協働力を高めます。また4年間で修得した高度な専門能力を公開演奏会で披露します。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 創造探究演習Ⅳ</li> <li>● 卒業研究</li> <li>● 音楽専門実技ⅣA・ⅣB</li> </ul>

※令和7年度教育協働学科再編のため、授業科目については今後変更となる可能性があります。

## 専任教員・専門分野(五十音順)

ピアノ	作曲	トランペット	声楽	フルート	指揮法	ピアノ
岡本 麻子	北川 文雄	神代 修	玉井 裕子	中務 晴之	Paget Yannick	山畑 誠

## 4年間の学びの流れ

1回生	2回生	3回生	4回生
<p>絵画・立体造形・デザイン各分野の基礎とともに、充実した一般教養を学ぶことを通して、基礎技術と幅広い知識を養います。それらの実践の中で自分のやりたいことを固めていきます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育基礎セミナー</li> <li>● 教育総論</li> <li>● ダイバーシティと教育</li> <li>● 現代社会と子どもの権利</li> <li>● 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● 創造探究演習Ⅰ</li> <li>● 立体造形基礎演習</li> <li>● 絵画基礎演習</li> </ul>	<p>絵画・立体造形・デザイン各分野の実技演習の他に、版画やウェブデザイン、アニメーション等の様々な表現手法を学びます。また「課外活動実践・美術」では、表現活動を通して学校現場や地域社会との交流を体験します。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校安全</li> <li>● アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● 創造探究演習Ⅱ</li> <li>● 立体造形演習</li> <li>● 絵画演習</li> <li>● 地域交流とデザイン</li> <li>● 課外活動実践・美術</li> </ul>	<p>絵画・立体造形・デザインから1分野を選択し、高度な専門性の獲得をめざします。また「社会芸術活動・美術」では、学外でワークショップ等を開催し、美術表現による地域連携の可能性について実践的に学びます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育コラボレーション演習</li> <li>● コミュニケーション実践演習</li> <li>● 創造探究演習Ⅲ</li> <li>● 立体造形実習Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● 絵画実習Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● デザイン実習Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● 社会芸術活動・美術</li> </ul>	<p>卒業研究では、専門性の深化だけでなく、より多様な価値観の理解と広範な視野の獲得をめざし、成果を発表します。また、これまでの学びをどうやって活かしていくのかを主体的に考え、社会に貢献する力を高めます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 創造探究演習Ⅳ</li> <li>● 卒業研究</li> <li>● 立体造形実習Ⅲ・Ⅳ</li> <li>● 絵画実習Ⅲ・Ⅳ</li> <li>● デザイン実習Ⅲ・Ⅳ</li> <li>● 総合制作活動</li> </ul>

※令和7年度教育協働学科再編のため、授業科目については今後変更となる可能性があります。

## 専任教員・専門分野(五十音順)

ビジュアルデザイン	立体造形	絵画・平面表現
江藤 亮	五明 真	寺島 みどり





グローバル教育専攻は、異文化・多文化共生に対する理解の下、日本語・日本文化に関する専門的知識・技能や高度な英語運用能力と国際的な視野から学ぶ協働に関する専門的知識・技能と探究力を組み合わせて、学校や教育関連企業と連携・協働して、多様な教育課題の解決を創造できる人材の養成を目的とします。

求める学生像

- グローバル化する社会が抱える課題に対して、多文化理解力とコミュニケーション能力を活用して、学校、企業、地域、自治体などと連携・協働をすすめるが課題解決に取り組むことを望む人
- 日本の教育とあわせて海外の教育にも関心を寄せ、グローバルな視点から教育を理解し、将来、それを活かすことを考えている人
- 学校および地域の多様な組織と協働し、教育課題の解決に貢献したい人

専任教員・専門分野(五十音順)

ドイツ文学・ドイツ女性史 赤木 登代	日本近現代文学 石橋 紀俊	歴史学 井上 岳彦	フランス文学 井上 直子	日本古典文学 小野 恭靖	ドイツ文学 亀井 一	日本語学 榊引 祐希子
コミュニケーション学 小山 哲春	財政学 高山 新	思想史 滝 一郎	英文学 筒井 瑞貴	中国文学 中野 知洋	比較・国際教育学 中山 あおい	日本語教育学 野瀬由季子
英語学 Brown Robert Sanborn		英語学・言語学 松本 マスミ	公法学 棟形 康平	日本語教育学 米澤 千昌		

グローバル教育専攻

日本語教育コース

日本語教育コースでは、日本語および日本文化に関する専門的知識を修得し、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働して、異文化間のコミュニケーションと相互理解を率先して推進することにより、多様な教育課題の解決方法を創造できる人材を養成します。

求める学生像

- 日本語・日本文化に関する専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に探究心を持って、多様な教育課題の解決を自ら図ることができる人
- 日本語・日本文化に関する高度な知識や高い技能を修得し、それらとICTやデータサイエンスを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- 確かな学力と旺盛な知的好奇心、人間への深い理解を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

4年間の学びの流れ

<p><b>1 回生</b></p> <p>「教育基礎セミナー」や「創造探究演習Ⅰ」などにより、これからの学びの基本となるアカデミック・スキルを身につけるとともに、言語文化教育についての基礎的知識や考え方を学びます。さらには多文化共生社会における言語文化教育の意義について探究します。加えて、グローバルな視点から幅広く教育について考えます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育基礎セミナー</li> <li>● 教育総論</li> <li>● ダイバーシティと教育</li> <li>● 現代社会と子どもの権利</li> <li>● 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● 創造探究演習Ⅰ</li> <li>● 多文化共生と言語文化教育</li> </ul>	<p><b>2 回生</b></p> <p>日本語や日本語教育、及び国語教育、さらには多文化理解に関する専門科目や専攻共通科目に加え、「創造探究演習Ⅱ」などを通して、言語文化教育分野を専門的に学ぶために必要とされる知識や研究手法を身につけます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校安全</li> <li>● アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● 創造探究演習Ⅱ</li> <li>● 日本語学研究ⅠA・ⅠB</li> <li>● 日本文学研究ⅠA・ⅠB</li> <li>● グローバル教育と法</li> <li>● 日本語習得概論</li> </ul>	<p><b>3 回生</b></p> <p>日本語や日本語教育、及び国語教育、多文化理解に関する専門科目を通して、2回生までに得た学識をさらに深めるとともに、「創造探究演習Ⅲ」によって具体的な研究テーマを構想しながら、そのために必要な知識や研究手法を修得します。加えて、様々な課題や社会的課題に応用可能な汎用的実践力を身につけます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育コラボレーション演習</li> <li>● コミュニケーション実践演習</li> <li>● 創造探究演習Ⅲ</li> <li>● 日本語教育演習A・B</li> <li>● 中国言語文化研究Ⅱ</li> <li>● 異文化間教育</li> <li>● 言語構造論</li> <li>● グローバル教育と法</li> <li>● 日本文学演習A・B</li> <li>● 国際教育比較プロジェクトA・B</li> </ul>	<p><b>4 回生</b></p> <p>「創造探究演習Ⅳ」により、質の高い卒業研究を可能とする論理的思考力や表現力などを修得し、3回生までに積み上げてきた各自の学知と関心をさらに深め、その成果を卒業論文の作成につなげます。「日本語教育プロジェクト演習」では、日本語教育に関わる教育実習に取り組みます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 創造探究演習Ⅳ</li> <li>● 卒業研究</li> <li>● 日本語教育プロジェクト演習</li> </ul>
---	---	---	--

※令和7年度教育協働学科再編のため、授業科目については今後変更となる可能性があります。

グローバル教育専攻

国際協働英語コース

国際協働英語コースでは、異なる文化、考え方を尊重し、共感を持ちながら、英語の運用能力と発信力を持って積極的にコミュニケーションを行うとともに、各国・地域の教育モデルを深く理解することにより、国際的な視野から新たな教育の在り方の創造や多様な教育課題の解決に貢献できる人材を養成します。

求める学生像

- 高度な英語運用能力と国際協働に関する専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に探究心を持って、多様な教育課題の解決を自ら図ることができる人
- 高度な英語運用能力と国際協働に関する高度な知識や高い技能を修得し、それらとICTやデータサイエンスを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- 確かな学力と旺盛な知的好奇心、人間への深い理解を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

4年間の学びの流れ

<p><b>1 回生</b></p> <p>「教育基礎セミナー」や「創造探究演習Ⅰ」などにより、これからの学びの基本となるアカデミック・スキルを身につけるとともに、「Speech Communication in English」などの専門科目で高度な英語4技能を身につけ、国際協働を視野に入れた英語学習法を習得します。「英語Ⅰa、Ⅰb」や「English World」で、さらに英語力をみがきます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育基礎セミナー</li> <li>● 教育総論</li> <li>● ダイバーシティと教育</li> <li>● 現代社会と子どもの権利</li> <li>● 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● 創造探究演習Ⅰ</li> <li>● Speech Communication in EnglishⅠ・Ⅱ</li> <li>● Academic Presentation</li> </ul>	<p><b>2 回生</b></p> <p>グローバル教育科目「国際協働学習」で、国際交流を実践します。様々な国や地域における教育モデルを理解し、国際協働につながる基本的な知識や研究手法を「創造探究演習Ⅱ」や専門科目を通じて身につけます。英語ネイティブスピーカー教員が担当する「外国語コミュニケーション」でSpeaking力をみがきます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校安全</li> <li>● アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● 創造探究演習Ⅱ</li> <li>● English for Collaboration</li> <li>● 国際協力学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● Introduction to English LinguisticsⅠ・Ⅱ</li> <li>● Introduction to British and American Literature</li> </ul>	<p><b>3 回生</b></p> <p>英語ネイティブスピーカーの専任教員が担当する授業で、英語での学術論文の書き方を習得します。「コミュニケーション実践演習」で、英語の4技能をさらに向上させます。「創造探究演習Ⅲ」では、これまで身につけた国際協働の知識や研究手法について、具体的な研究テーマを探索しながら、さらに深く学びます。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育コラボレーション演習</li> <li>● コミュニケーション実践演習</li> <li>● 創造探究演習Ⅲ</li> <li>● Global CommunicationⅠ・Ⅱ</li> <li>● Language Communication SeminarⅠ・Ⅱ</li> <li>● English-Speaking Area StudiesⅠ・Ⅱ</li> </ul>	<p><b>4 回生</b></p> <p>「創造探究演習Ⅳ」により、これまで身につけたICTやデータサイエンスを用いて質の高い卒業研究を可能とする論理的思考力や表現力、問題解決能力を身につけます。英語で卒業論文を執筆することにより、高度なWriting能力を習得します。</p> <p><b>主な授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 創造探究演習Ⅳ</li> <li>● 卒業研究</li> </ul>
--	--	--	---

※令和7年度教育協働学科再編のため、授業科目については今後変更となる可能性があります。

POINT

- 日本語・日本文化に関する専門性に基づいた視点から教育を考える
- 異文化間でのコミュニケーションの方法を学ぶ
- 日常的に日本人学生と留学生が共に学び合う

取得可能な免許・資格等

- ◎ 中学校教諭一種(国語) ◎ 高等学校教諭一種(国語)
- 社会教育士(養成課程)、社会教育主事任用資格
- 図書館司書 □ 学校図書館司書教諭 ※登録日本語教員
- ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる資格等
- ※ 所定の単位を修得し、日本語教員試験(応用試験)に合格することにより取得が可能。ただし、登録日本語教員養成機関及び登録実践研修機関として文部科学省に申請予定であり、審査の結果、予定している開設時期等が変更となる可能性があります。

POINT

- 高度な英語運用能力・発信力と国際協働の専門的な知識を身につける
- 国際的な視野からの教育を深く理解し、国際協働の応用実践力を身につける
- 国際的な視野からの協働力と教育マインドを身につける

取得可能な免許・資格等

- ◎ 中学校教諭一種(英語) ◎ 高等学校教諭一種(英語)
- 社会教育士(養成課程)、社会教育主事任用資格
- 図書館司書 □ 学校図書館司書教諭
- ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる資格等



# 3つの大学院と1つの専攻科

将来の進路を見据えた

※大学院[学校教育学研究科(博士課程)]は、令和7年4月の開講を目指して設置構想中です。

## 連合教職大学院 [連合教職実践研究科(専門職学位課程)] 高度教職開発専攻

### 連合教職大学院の目的

- 教職生活全体における高度かつ実践的な教員養成のための専門職大学院**  
近年、教員の養成-採用-研修等を通じて、教員が教職生活全体を通じて職能成長を実現する環境づくりが進められており、教職大学院は高度専門職業人材養成に特化した大学院として、全国に設置されています。
- 学部段階の資質能力を基盤に深い教職性と実践的指導力を兼ね備える新人教員を養成**  
教員養成系大学あるいは一般大学の学部新卒者に、それぞれの特色を生かした資質能力にさらなる教職専門性と学校現場に即応できる実践的指導力を培い、学校の有力な一員となる新人教員を養成します。
- 学校の組織的課題・子どもの教育課題に応じた教育実践力や指導的役割を發揮する現職教員を養成**  
多様で複雑化する学校の組織的課題や子どもの教育課題を適切にとらえ、それらの課題解決をめざす確かな教育実践の展開に指導的役割を果たすことができる、学校の中核となる教員を養成します。

### 3つの特色

#### オンライン 授業科目の拡充

院生が学びやすい環境を整えるため、学校実習科目を除くすべての授業科目について、オンライン対応を進めました。

#### 令和6年度より3コースを 2つのキャンパスで展開

援助ニーズ教育実践コース、教育実践力コース、特別支援教育コースを柏原、天王寺の両キャンパスで展開します。学部卒院生はよりスムーズに学部と接続ができ、現職教員院生は多様な育成段階の教員が共に学びやすくなりました。

#### 先取り履修制度の 開始

学部最終学年に教職大学院で開講している授業科目を院生と一緒に「先取り」して履修できる制度を開始しました。教職大学院へ入学後は、先取りした単位を修了要件に含めることができます。

コース	内容
スクールリーダーシップコース	教職員集団をリードしたり、保護者、地域住民等と協働したりして、学校及び地域の教育課題を解決するために求められる優れたリーダーシップを發揮できる教員を養成します。
援助ニーズ教育実践コース	子どもを取り巻く多様な援助ニーズに対応するための高度な教育的手法を探究させ、「チーム学校」の考えに基づく学校内・外の関係者と協働して展開できる教員(養護や就学前教育を担う教員も含む)を養成します。
教育実践力コース	児童・生徒に即した、実践的で高度な学習指導、学習評価の能力を持ち、教員としてのカリキュラム・マネジメントや、教科横断的な視野を持った教科領域の指導、今日的な教育課題に対応した授業開発に、先端的かつ継続的に取り組むことのできる教員を養成します。
特別支援教育コース	特別支援教育の対象となる子ども一人ひとりのニーズに対応した適切な教育支援を行える高度な能力を身に付け、また特別支援コーディネーターとしての役割を担うことのできる教員を養成します。

## 大学院 [教育学研究科(修士課程)] 高度教育支援開発専攻

教育学研究科は、全ての院生が教育・学習支援の実践力と課題分析力を身に付けられるよう教育課程を編成し、教員以外の立場から教育現場の課題解決・価値創造の一翼を担う高度な人材を養成します。

### 4つの特色

#### 教育・学習支援の実践力と 「課題分析力」の基盤的な 力を身に付けます

スマート社会の到来に伴い、教育を取り巻く環境も大きく変わる中、ICT、教育データ等の先端技術や教育・学習の実践的手法の両方を基盤的な力として身に付けるための授業を必修科目として開講します。

#### 特定の領域での 高度な専門性を身 に付けます

スマート社会の到来に伴い、教育を取り巻く環境も大きく変わる中、ICT、教育データ等の先端技術や教育・学習の実践的手法の両方を基盤的な力として身に付けるための授業を必修科目として開講します。

#### 実践的な 教育研究手法を 身に付けます

大学院修了後も様々な課題に直面した際に、主体的に分析、考察、解決ができるよう、調査・分析手法、論文作成手法など、汎用的な研究能力を身に付けます。

#### 多職種協働による 課題探究型研究・ 教育を展開します

教育ファシリテーションコースにおいては、教育現場、企業、行政、地域から、多様なバックグラウンドを有する社会人が一堂に集まり、多職種協働による教育現場の課題解決に資する研究・教育を展開するため、「プロジェクトベース科目」を開講します。

専攻	内容
心理・教育支援コース	教育領域で従事する心理職や子どもに関する心理の専門家、さらに教育や子どもの発達に関する心理学研究を行いたい学生を対象に、「チーム学校」や教育協働についての理論と実践を学ぶための高度な心理学の教育を行います。また、所定の要件を満たして単位を修得した方は、公認心理師の受験資格を取得できます。
国際協働教育コース	主として留学生を受け入れ、国境や異文化間を越えてグローバルなフィールドで他者と協働しながら活躍できる教育・学習支援人材を養成します。また、本コースでは、「日本型教育システム開発領域」と「日本語教育支援高度化領域」の2領域を設けます。
教育ファシリテーションコース	主として社会人を受け入れ、自らの知識・技能・経験を他者の知見と組み合わせ、教育現場の最適化に資する実践知を生み出す能力を養成します。また、本コースでは、「教育イノベーション開発領域」、「地域教育・芸術支援人材高度化領域」及び「健康・安全教育高度化領域」の3領域を設けます。

## 大学院 [学校教育学研究科(博士課程)] 共同学校教育学専攻

北海道教育大学、大阪教育大学及び福岡教育大学は、共同教育課程による博士後期課程を令和7年4月に設置することを目指して現在設置構想中です。

## 特別支援教育特別専攻科

●免許取得

免許状の種類

特別支援学校教諭一種免許状\*

※「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」に関する教育領域

特別なニーズのある子どもを理解し支援する高い実践力を備えた人材を育成

特別支援教育特別専攻科は、特別支援教育の充実に資するために発達障がいをはじめ様々な障がい領域に関する専門教育を行い、実践的な指導力のある教員を養成することを目的としています。特別支援教育の現場では、子どもたちの障がいの多様化、重度化、重複化が進んでいます。また、通常の学校(通常の学級)においても、障がいのある子どもへの理解と支援が求められています。本専攻科では、インクルーシブ教育システム構築の観点から、子どもの個々の能力や個性、ニーズに応じた高度な教育支援を実践できる教員の育成をめざします。



# A棟

## 共通講義棟

大小の講義室、実験教室、ロッカールームの他に、外国語学習支援ルームやICT教育支援ルームがあります。



共通講義棟



大講義室



図工室



ICT教育支援ルーム



外国語学習支援ルーム(GLC)



講義室

## スポーツ施設

メインアリーナ、サブアリーナ、器械運動場、第一武道場、第二武道場、ダンスルーム、トレーニングルーム等があります。また体育館の隣には、テニスコート、プール、陸上競技場、サッカー・ラグビー場、野球場などスポーツ施設が充実しています。



体育館



剣道場



柔道場



ダンスルーム



トレーニングルーム



メインアリーナ



人工芝グラウンド

# Campus Map

## キャンパスマップ

大阪教育大学は、大阪府柏原市の金剛生駒紀泉国定公園内に約67万㎡の広さを誇るメインキャンパスを配置。豊かな自然の中に優れた教育・研究を実現するための様々な施設が整備されています。エスカレーター上からは、美しい夜景を眺めることもできます。



## Kashiwara Campus 柏原キャンパス



Automated External Defibrillator  
自動体外式除細動器

学内  
10箇所  
設置!

私たちの心臓は、定期的に正しく動き、全身へ血液を送るポンプの役目を負っています。AED(自動体外式除細動器)とは、心臓が小刻みに震え、全身に血液を送ることができなくなる心室細動等の致死性の不整脈の状態を、電気ショックを与えることにより、正常な状態に戻す機器です。2004年7月から一般市民による使用が認められました。本学では保健センター、体育館及び附属図書館等各所に設置しています。



Sky Escalator (駅からのエスカレーター)  
※Sky株式会社とネーミングライツパートナー契約を結んでいます。

# B棟

## 教育協働学科棟

主に教育協働学科の講義室、実習室、研究室などがあります。憩いの場である「レモンルーム」や壁一面のホワイトボードスペース「ガリレオボード」もあります。



教育協働学科棟



レモンルーム



ガリレオボード

# C棟

## 教員養成課程棟

主に教員養成課程の講義室、実習室、研究室などがあります。入試課はC1棟1階にあります。憩いの場である「レモンルーム」や障がい学生修学支援ルームもあります。



教員養成課程棟



メロンルーム



天文台



障がい学生修学支援ルーム



# D棟

## 附属図書館本館

地上3階、地下2階、5階建ての附属図書館です。90万冊以上の蔵書には、教育系の専門書や教科書を揃え、教職をめざす学生の“学び”をサポートしています。また、館内には、グループ学習やアクティブラーニングを目的とした施設も備えており、様々な学習の形に対応しています。



まなびを共有する  
賑わいスポット!

## まなびのひろば

学習のために人が集まり、「まなび」を共有する場所です。黒板や電子黒板も設置され、友達とディスカッションしながらの学習や、模擬授業、ゼミ・グループでの討論に利用できます。



## 閲覧室

館内中央には吹き抜けがあり、光を取り込んだ明るい閲覧室です。小中高で使用されている教科書も利用でき、実習や教員採用試験に役立てることができます。また、15台のパソコンが設置されており自由に利用できます。貸出用にも9台のノートパソコンを用意しており、レポート作成等に利用されています。



## グループ学習室

8~16人用の個室が5室あり、グループでの学習や研究活動に利用できます。教育実習や教員採用試験に向けて、模擬授業の練習もできます。



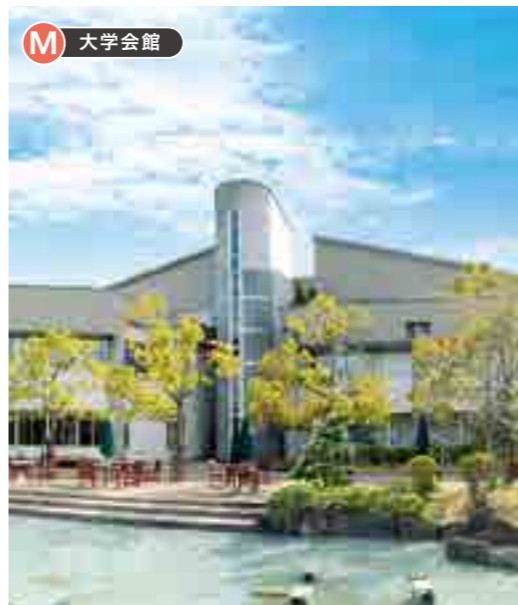
## サイレントルーム

会話やパソコンの使用が禁止されている部屋で、閲覧室より静かな環境です。座席も一席ずつに区切られているため、個人学習に最適です。



## たまごギャラリー

本学の学生の作品の展示会が行われるスペースです。年間を通じて、美術や書道専攻の学生や写真部等が多くの展示会を開催しています。



## M 大学会館

柏原キャンパスには、授業の登録など修学上の諸手続きを行う事務局棟、ホールや実習室の他に練習室が約60室設置された音楽棟、美術や工芸の力を磨く美術棟・工房棟、体育・スポーツの理論を学ぶ体育・スポーツ棟など、様々な建物があります。また、サークル活動が行われる課外活動共用施設、さらに学生宿舎も配置されています。

## 大学会館

Dining TERRA、第2食堂、レストランFORET、喫茶(SUN CAFE)、Shopアイリス(書籍・購買・旅行・サービス)などがあり、学生の憩いの場となっています。全ての食堂で日替わりや週替わりのメニューもあり、飽きのこない食事を提供しています。



## N 事務局棟



## R 課外活動共用施設



## K 音楽棟



## H 体育・スポーツ棟



## G 工房棟



## T 外国人留学生宿舎



## S 学生宿舎



## F 美術棟

# 教育研究施設

**保健センター**  
学生・教職員の心身の健康保持・増進を目的としています。健康診断をはじめ、保健管理に関する専門的業務を行っています。  
[センター長] 宮前 雅見

**みらいICT先導センター**  
教育研究の発展への寄与を目的として、全学情報基盤システムの運営・管理や、情報実習室の管理を行っている学内共同利用施設です。学生・教職員に向けた全学ICTサービスの提供や利活用支援、情報セキュリティに関する注意喚起・啓発を行っています。  
[センター長] 三島 和宏

**ICT教育支援ルーム**  
(みらいICT先導センター)  
A棟312室において、ICT教育全般の技術的なサポートを行っています。

**学び続ける教員支援センター**  
教員免許取得をめざす学生の省察活動や教育実習等の実践的活動を指導、支援するとともに、ダイバーシティ教育を促すことのできる教員養成に資するために学士課程におけるダイバーシティ教育関連の授業の企画や点検をおこないます。また、現職教員の教職力量の向上に貢献するために、他大学や教育委員会と連携しながら教員研修で用いる「OZONE-EDU」の開発をおこないます。  
[センター長] 石川 聡子

**グローバルセンター**  
学生交流及び学術交流の企画・立案、留学生の受入れ・派遣の推進及び教育研究面での国際活動の充実を図ることを目的としています。  
[センター長] 加賀田 哲也

**外国語学習支援ルーム(GLC)**  
外国語のコミュニケーション能力の向上をめざす学生の、自律的な学習を支援しています。また、英語教員とラーニングアドバイザーによる個別相談も行っています。

**産官学イノベーション共創センター**  
産官学イノベーション共創センターと、大学・産業界・官公庁それぞれが有しているリソースを統合、共創することで、「革新的な教育の形」を産み出すためのセンターです。同時に、科学機器の学内共同利用と整備・充実に関する業務とともに、科学技術教育に高い力量を持つ初等・中等教育教員の育成、学校や地域における科学技術教育の向上と活性化に寄与することを目的としています。  
[センター長] 堀 一繁

**キャリア支援センター**  
キャリア支援センターは、大学生活のあらゆる場での学生のキャリア形成と進路、職業選択を支援することを目的としています。指導教員と連携しながら、学生一人一人の適性・進路に合わせたきめ細かい支援を行っています。  
[センター長] 手取 義宏  
[キャリアアドバイザー]  
中務 高俊、浦部 孝英、山下 吉信、吉田 文一、小磯 久美子、近藤 一江、林原 伊美、井上 省三、柳本 智子

**学校安全推進センター**  
平成13年6月8日、本学の教育学部附属池田小学校において23名の児童および教員が殺傷される事件が発生し、精神的に大きな傷を受けた児童・保護者・教員に対し長期にわたるケアが必要とされています。本センターは、このような学校危機の発生に

対して、専門的に対応できる組織的・包括的な活動を支援する研究・教育機関として設置され、その後、学校安全の推進に関する研究領域を充実し、国立大学の教員その他でこの分野の研究に従事する者の利用に供することを目的としています。  
[センター長] 藤田 大輔

**修学支援センター**  
大学における学生相談、障がいのある学生の修学支援その他の学生の支援を行っています。カウンセリングルームと障がい学生修学支援ルームがあります。  
[センター長] 大内田 裕

**カウンセリングルーム**  
学生生活上のさまざまな悩みについて、カウンセラー(公認心理師・臨床心理士)が心理的なサポートをしています。  
[専任カウンセラー] 奥田 紗史美

**障がい学生修学支援ルーム**  
障がい学生修学支援ルームでは、障がい等のある学生が自らの能力を最大限に発揮し自己実現できるよう、修学支援に取り組んでいます。  
【問合せ先】  
072-978-3479(平日9:00~17:00)  
sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp  
障がい学生修学支援ルームはC6棟2階北西角にあります。

**教育実践支援ルーム**  
教育実践支援ルームでは、教育現場や子どもたちの教育や生活を直接的・間接的に支えている現場で活動する学生の支援に取り組んでいます。元校長や教育委員会関係者など学校教育等に精通したスタッフが活動を支援します。  
[教育実践アドバイザー]  
上野 祐美子、水本 哲也  
[教育協働コーディネーター] 吉原 孝



保健センター



キャリア支援センター



学校安全推進センター



みらいICT先導センター



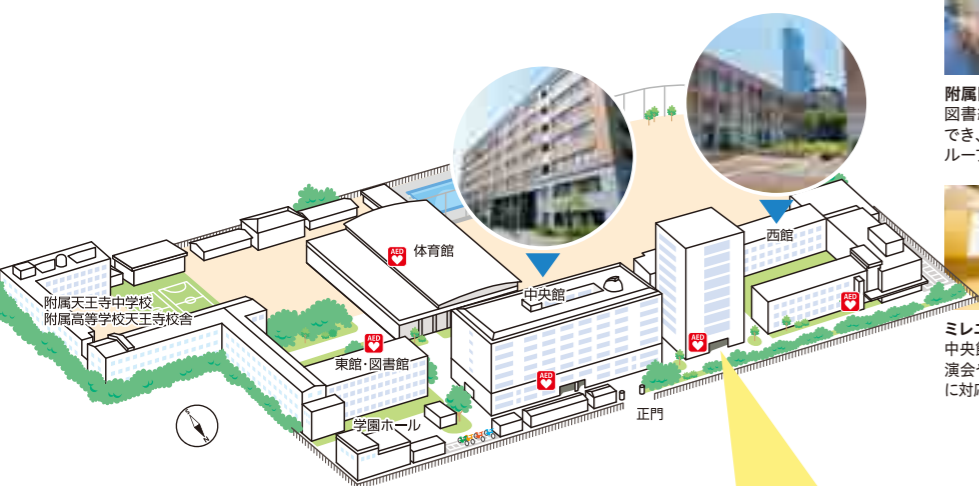
# アクセス抜群！都市型キャンパス 天王寺キャンパス

日本有数の高層ビル「あべのハルカス」をはじめ、観光やショッピングスポットとして注目を集める大阪市の阿倍野・天王寺エリア。

このエリアに1901年以降の歴史をはぐくむ「天王寺キャンパス」は、今も昔も大阪の教育を支えています。JR寺田町駅から徒歩5分、JR天王寺駅から徒歩10分と抜群の交通アクセスを誇ります。教育組織としては、2024年4月に改組を行った教育学部学校教育教員養成課程の「幼小教育専攻（4年制）」及び「小学校教育（夜間）5年専攻」に加えて、関西大学・近畿大学との連合による専門職大学院「連合教職実践研究科（連合教職大学院）」及び2021年4月に大幅な改組を行った大学院「教育学研究科」を設置しています。

さらに、「日本の教育課題に対応し、新たな未来教育を創造する産官学連携による共創拠点」を形成することをコンセプトに「みらい教育共創館」の供用を2024年4月から開始しました。

これらの学部・大学院、みらい教育共創館、そして附属図書館天王寺分館や附属学校を併設している天王寺キャンパスは、大阪の教育拠点とも言えるキャンパスです。



**食堂**  
学園ホール1Fにある食堂は、おいしいと評判のうどん、カレー、どんぶりその他豊富なメニューで学生の食生活をサポートします。



**附属図書館天王寺分館**  
図書約8万冊・雑誌・電子資料が利用でき、2015年リニューアルにより、グループ学習室等を設置しています。



**西館ホール**  
170席（最大200席）の多目的ホールです。観覧席は電動式で、収納すれば広々としたフロアになります。



**ミレニアムホール**  
中央館1Fにある多目的ホールです。講演会やコンサートなど、様々なイベントに対応できます。



**マロンルーム**  
自習に利用できる落ち着いた雰囲気のあるオープンスペースです。

日本の教育課題に対応し、新たな未来教育を創造する産官学連携による共創拠点

## みらい教育共創館

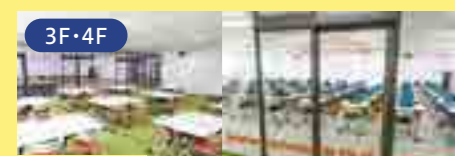
教育委員会や企業、NPO法人などの専門的知識や技術が一堂に会する共創拠点を構築し、教育や教員養成の高度化に寄与します。



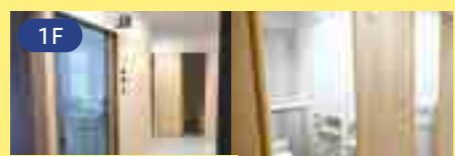
**5F オープンラボ（研究ベース）**  
大学と5つの法人との協働により、教育課題の解決や教員養成・育成の高度化に資する事業に取り組むスペースです。



**5F プレゼンテーションコート**  
大画面で迫力ある映像を映し出す大型プロジェクターを備え、セミナーやシンポジウム、ポスターセッションなどのイベント開催が可能です。



**3F-4F 未来型教室**  
ガラス張りの教室とオープンスペースがあり、電子黒板や大型プロジェクターなどの先端機器を配置しています。さまざまな形態に対応した授業のほか、セミナーなども開催できます。



**1F オールジェンダートイレ**  
「多様性を認める社会の実現をめざし、誰もが安心して快適に利用できる」をコンセプトとしたトイレです。

Guide Movie



# 附属学校統括機構 附属学校園

本学は、令和2年度に、大学と附属学校園をつなぐ組織として、附属学校統括機構を設け、その機構のもとに高等学校3校舎を含む11の附属学校園（小学校：3校、中学校：3校、高等学校：1校3校舎、特別支援学校：1校、幼稚園：1園）を設置する体制へと改革しました。附属学校統括機構は、円滑な学校園の運営、指導、教育、研究及び学校安全等の充実を図るとともに、さらに大学部局との連携強化に取り組んでいます。また、附属学校園にあっては、大学の教育研究・教育実習の場として重要な役割を果たすとともに、それぞれ地区ごとにテーマを持って研究に取り組み、連絡進学をはじめとする相互連携も行っています。

## 附属学校統括機構

天王寺地区	附属天王寺小学校
	附属天王寺中学校
	附属高等学校天王寺校舎
池田地区	附属池田小学校
	附属池田中学校
	附属高等学校池田校舎
平野地区	附属幼稚園
	附属平野小学校
	附属平野中学校
	附属高等学校平野校舎
	附属特別支援学校

# 天王寺地区

## 研究テーマ

### 人間と科学の調和を拓くリテラシー教育（平成22年度～）

物事に対する知的好奇心を基礎に、科学的・論理的な知識や技能を活用し、課題の発見や解決への道を体験的な学びを通して開拓していくリテラシーの育成をめざしています。



## 特色ある取組

### 小中高連携による生徒の資質育成

天王寺地区では小中高の生徒の協働活動を通じて、将来につながる資質の育成に努めています。教員志望の高校生が小学校に向向いて行う支援活動や、小中高連携の宿泊型避難訓練など、実際の活動の場を作っています。



### 附属天王寺小学校

本校は、長年教科研究を深めるべく、校内研修・校内研究を推進し、その成果を毎年授業研究会で、全国の先生方・教員をめざす学生たちに広く公開しています。また、平成30年度には、文部科学省の事業委託を受け、働きやすい環境づくりをめざして、業務改善を進めました。さらに令和2年度、3年度には、国立教育政策研究所の教育課程研究指定校として「教科横断的な学習としてのSTEAM教育」を推進し、令和元年度から設置している「ぼうさい科」も含めた汎用性の高いカリキュラムの開発に力を注いでいます。



### 附属天王寺中学校

「質実剛健」の校風を持ち、歴史と伝統を誇る「天王寺学びのもり」から多くの有為な人材を輩出してきました。本物体験とコミュニケーション能力を高める場が数多くプログラムされています。さらに、新しい文化や情報の発信を行い、教員・生徒をはじめ保護者やステークホルダーすべての人々の力を結集して、「学びたい学校、学んでよかった学校、学ばせたい学校」をめざしています。



### 附属高等学校天王寺校舎

生徒の自主的な創意工夫を尊重した、協働的な学習・教育環境を作っています。本物・実物の体験を重視し、生徒の自治会活動なども含め、多様な知的好奇心に応える活動の場を提供しています。スーパーサイエンスハイスクール（SSH）第3期では、国際的に協働する文理融合型学習者の育成をめざし、姉妹校である米国・タイの理数科高校との交流に加え、地域の企業や研究施設との連携を積極的に進めています。



# 池田地区

## 研究テーマ

### グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成 (令和5年度～)

持続可能な社会の実現に向けて、「安全」等の様々な課題を自分のこととして捉えられるよう、そして、多面的な視点で論理的・批判的に考え、主体的に学び続けることで、VUCAの未来を自主・自律の精神をもって生きてゆくことができる資質・能力の育成をめざしています。



## 特色ある取組

### 「グローバル市民性が育つ学び」に向けて

「グローバル市民性とは何か」を子どもの姿から見出し、12年間の教育活動において、発達段階に応じた学習目標の設定・評価方法の構築をめざします。さらに、それらを教科学習に還元し、池田地区(小中高)が一体となって、新しい社会の創造に貢献できる資質・能力を追究していきます。



### 附属池田小学校

学校安全の取組が認められ、平成27年3月に日本で最初のセーフティプロモーションスクールに認証されました。「安全教育」「道徳教育」「協働活動」を通じて、自他の命や考えを大切に、共によりよい社会を築こうとする資質を養う教育を行っています。また、教育研修会を開催し全国の教員の方々と交流して、よりよい授業づくりを研究を推進しています。



### 附属池田中学校

自主・自律の精神のもと、コミュニケーション力、探究力を重視し、「安全教育」「道徳教育」「地域活動」を通じて、世界や社会の課題に向き合い、多様な人々と共に生きる豊かな心を育む教育を行っています。また、平成27年3月にセーフティプロモーションスクールに認証され、令和2年1月に国際バカロレアワールドスクールに認定されました。



### 附属高等学校池田校舎

自由・自主・自律の校風のもと、生徒一人ひとりの個性を大切にしながら、「安全教育」「国際教育」「創造活動」を通じて、持続可能な社会の実現に向けた課題を世界の人々と協働して創造的に解決する力を養う教育を行っています。令和2年度からWWLコンソーシアム構築支援事業の共同実施校となり、令和4年3月にはセーフティプロモーションスクール認証校となりました。

## 研究テーマ

### 新しい社会を創造する子ども一人ひとりの育成を 目指した教育課程の実施と教育評価 ～「かかわる」「つくる」を通して～(令和6年度～)

すべての校種が近接する地区の特色を生かし、五校園が日常的に連携して子どもたちの交流・共同学習や教員の協働と研究を進めています。なかでも、幼稚園から高校まで学び続ける環境と特別な支援を得ながら育つ環境に基づく、全国的にもめずらしい「五校園共同研究」に取り組み、長期的な子どもの成長の視点にたった主体性の育成や探究的な学びの指導など、今日的な教育課題に焦点をあてた研究に邁進しています。



## 特色ある取組

### 地域との連携・地域への発信 —平野の学びを子どもたち・教員へ—

国内外の様々な人々と創る新しい学びを積極的に組み入れ、多様性の理解に基づく多文化共生社会の実現をリードするイノベティブなグローバル人材の育成をめざしています。「ステップアップ研修」や「オープンカフェ」「課題研究研修会」等の教員研修会や、地域及び支援学校等に向けた特別支援に関する相談・支援事業をとおり、各校園の研究成果を積極的に発信しています。



### 附属幼稚園

「すこやかに、あたたかく、遊びに生きる子ども」という教育目標のもと、主体的に生活する子どもの育成をめざしています。園内の豊かな自然環境(実のなる木、様々な動物等)、ものや身近な人々との関わりを通して学びが深まるよう取り組んでいます。また、保護者による「手づくり給食」を実施し、保育内容にも食の関心に繋がる内容を取り入れながら食育を推進しています。



### 附属平野小学校

教育目標「ひとりて考え ひとと考え 最後までやりぬく子」を基盤とし、令和6年度より、文部科学省研究開発学校に再度指定されたことを受けて、新教科「未来探究科」を新設し、「未来をそぞうする子ども」の育成を目指して研究を進めています。教職員・保護者・卒業生・地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長に向けて、特色ある学校づくりに取り組んでいます。



### 附属平野中学校

本校では、学び続けるために必要な基礎基本として、「かかわり、つむぎ、おりなし、つくる力を育む」ことをめざしています。学校と家庭、地域が一体となり、さらに平野地区五校園の叡智を集結しながら教育実践を重ねています。また、「附中生は行事で育つ」といわれるように、授業だけでなく特色のある学校行事も活かして、自律への意志や協働への意欲を高めています。



### 附属高等学校平野校舎

1学年120名という学校規模と令和2年度より指定を受けたワールド・ワイド・ラーニング(WWL)コンソーシアム構築支援事業拠点校としての強みを生かした教育活動を展開しています。少数精鋭・創造探究・自主自立の教育方針のもと、国内・海外の大学・高校・協働機関・平野五校園等と連携し、ホンモノとの出会いと深い学びから何事にも臆することのない探究心を育み、多文化・多様性を理解し世界で活躍するグローバルリーダーの育成に取り組んでいます。

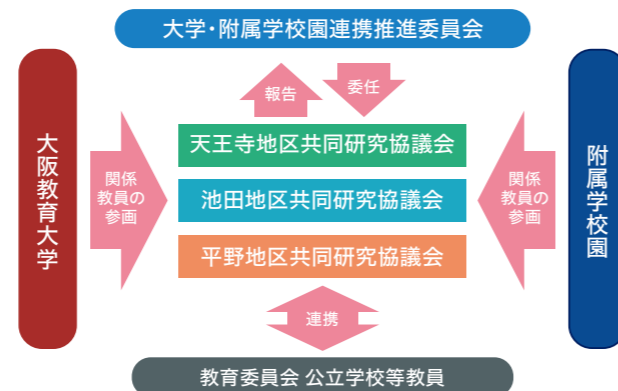


### 附属特別支援学校

本校は、知的発達障害のある児童生徒が学んでいる学校です。一人ひとりの存在と個性を尊重した教育支援を日々実践しています。小学部から中学部、そして高等部まで一貫したキャリア教育の視点を取り入れ、自ら考え行動できること(自立)、仲間と支え合い共に活動できること(相互依存)、主体的に社会に関われること(社会参加)を目標として、子ども・保護者・地域にとって魅力ある学校づくりに取り組んでいます。

## 大学・附属学校園との共同研究

大学・附属学校園連携推進委員会の下に設置した各地区(天王寺、池田、平野)共同研究協議会において、地区ごとに共同研究テーマを設定し、学校教育の充実と発展に寄与する共同研究を行い、国の拠点校、地域のモデル校となるよう、附属学校園を活用した教育研究の推進をめざしています。中期計画・年度計画にも共同研究の推進が謳われており、地区ごとに設定した共同研究テーマを3～4年計画で推進するための取組が進められています。





# 就職 DATA

## EMPLOYMENT RECORD

就職実績

### 令和5年度卒業(修了)者の就職状況(3月卒+9月卒・留学生含む)

#### 教育学部

(令和6年5月1日現在)

進路先	課程・専攻コース	就職者																					進学(C)	未就職	不明者	合計(D)											
		教員							公務員(除く)	公務員(以外)	その他	大学・短大等志望	教員以外志望	公務員以外志望	その他																						
		公立学校					小計(A)	自営業								保育所(B)	農業・林業	漁業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業					運輸郵便業	卸売小売業	金融保険業	不動産業・物品賃貸業	学術・専門技術サービス業	生活関連サービス・娯楽業	教育・学習支援業	医療福祉	複合サービス事業	サービス業	分類不能
		小学校	義務教育学校	中学校	高等学校	特別支援学校																															
初等教育教員養成課程	幼児教育	2(0)						3(1)	9(1)	14(2)																						17(2)					
	小学校教育	昼間コース	28(3)	1(0)							29(3)																						45(3)				
		夜間5年コース	17(6)	1(0)							18(6)			1																			34(6)				
		夜間5年コース(3年次編入学)	12(5)								12(5)																						21(5)				
	小中教育	特別支援教育	14(6)				17(6)				31(12)																						42(12)				
		学校教育	19(5)					2(0)	21(5)																								27(5)				
		国語教育	21(3)	6(0)	1(1)			4(4)	32(8)																								43(8)				
		英語教育	8(0)	1(0)				1(1)	10(1)																								18(1)				
		社会科教育	10(3)	4(1)	2(1)	4(0)		5(3)	25(8)	1																							34(8)				
		数学教育	10(4)	3(0)	2(1)				15(5)																									26(5)			
		理科教育	13(5)	5(3)				1(1)	19(9)																								33(9)				
		家政教育	4(0)			1(0)			5(0)																									9(0)			
保健体育		8(2)	2(2)		5(5)			2(2)	17(11)																								29(11)				
音楽教育		6(1)	1(0)					8(2)																									11(2)				
美術・書道教育		4(1)	2(1)	1(1)			1(1)	8(4)																									20(4)				
中等教育		国語教育	3(1)	2(0)				2(1)	7(2)																								10(2)				
	英語教育	3(0)	1(1)	4(1)			3(3)	11(5)																								12(5)					
	社会科教育	1(0)	4(1)	2(0)			1(1)	8(2)																								10(2)					
	数学教育		5(3)	4(1)			1(1)	10(5)																								20(5)					
	理科教育	1(1)	1(0)	4(3)	4(1)	1(1)	1(1)	12(7)																								25(7)					
	技術教育		1(0)					1(0)																								7(0)					
	家政教育	1(1)	3(0)					4(1)																								8(1)					
	保健体育	1(0)		2(2)			2(2)	5(4)																								12(4)					
	音楽教育	4(1)						4(1)																								11(1)					
	美術・書道教育	2(0)	2(1)				1(0)	5(1)																								12(1)					
	養護教諭養成課程	9(2)	2(1)	3(1)	2(0)	1(1)	5(4)	22(9)																								31(9)					
	小計	187(48)	8(1)	54(17)	2(2)	36(14)	20(7)	42(27)	353(118)	1	1	1				2	13	12	2	23	8	3	4	5	3	16	9	19	121	32	49	2	4	567(118)			

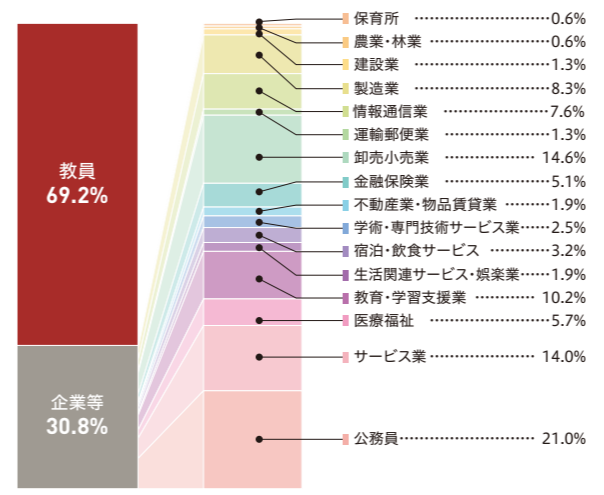
#### 教育学部

(令和6年5月1日現在)

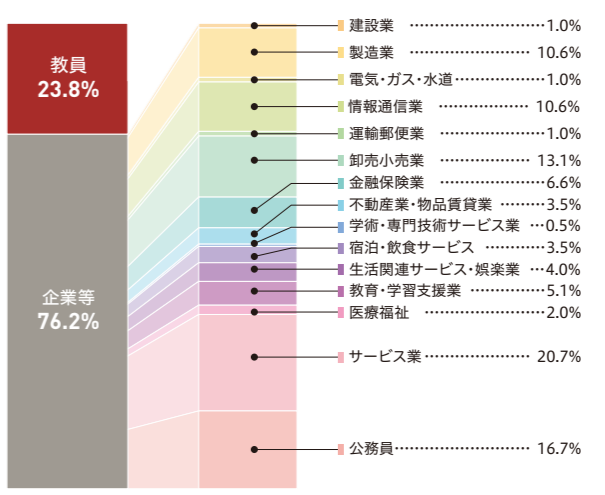
進路先	課程・専攻コース	就職者																					進学(C)	未就職	不明者	合計(D)																			
		教員							公務員(除く)	公務員(以外)	その他	大学・短大等志望	教員以外志望	公務員以外志望	その他																														
		公立学校					小計(A)	自営業								保育所(B)	農業・林業	漁業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業					運輸郵便業	卸売小売業	金融保険業	不動産業・物品賃貸業	学術・専門技術サービス業	生活関連サービス・娯楽業	教育・学習支援業	医療福祉	複合サービス事業	サービス業	分類不能								
		小学校	義務教育学校	中学校	高等学校	特別支援学校																																							
教育協働学科	教育心理科学																																1	2	2	1	2	2	11	7	10	2	2	33(0)	
	健康安全科学	3(3)	1(1)	1(0)	2(1)			7(5)																																				34(5)	
	理数情報	数理情報			4(1)	6(3)		3(2)	13(6)																																				41(6)
		自然科学			3(1)	1(1)		7(3)	11(5)																																			57(5)	
	グローバル教育	英語コミュニケーション				6(2)		6(2)																																					29(2)
		多文化リテラシー			1(0)	1(0)		2(0)																																				41(0)	
	芸術表現	音楽表現			8(5)	1(1)	1(0)	1(1)	11(7)																																				42(7)
		美術表現			2(1)			2(1)																																				9(1)	
	スポーツ科学	1(1)		3(2)	3(2)	1(1)	2(2)	10(8)																																				49(8)	
	小計	4(4)	1(1)	22(10)	20(2)	2(1)	13(8)	62(34)	8																																		335(34)		
	教育学部合計	191(52)	9(2)	76(27)	2(2)	56(24)	22(8)	4(2)	55(35)	152	9	1	1																														902(152)		

注) 1 ( )内は、期限付講師等で内数 注) 2 教員志望及び教員以外志望は就職希望であり、未内定者 注) 3 その他は、アルバイト・就職不志望等  
 ※教員就職率=(教員就職者数(A))/(合計(D)-保育所(B)-進学(C))

#### 教員養成課程



#### 教育協働学科







POINT 01

教員志望者における教員就職率 **99.4%** (講師含む。令和5年度末学部卒業者)

教員に就職するには、都道府県等もしくは私立学校が実施する教員採用試験を受ける方法が一般的です。教員採用試験の内容は各自自治体の教育委員会によって異なりますが、一般的には次のような試験が実施されています。

第1次選考	面接	個人面接、集団面接、集団討論など
	筆答試験(択一式)	教職教養(教育心理、教育法規など) 思考力・判断力 ※大阪府4地区のみ 一般教養 ※大阪府以外
第2次選考	面接	個人面接、模擬授業、場面指導など
	筆答試験(記述式)	専門科目
	実技	水泳、器械運動、音楽など

POINT 02

大学院進学者もそのほとんどが国公立の大学院に

もっと知識・技能を身に付けてから、社会に貢献したいと考えて大学院に進学する学生も多くいます。学部卒の大学院(専攻科含む)進学者のうち96人が国公立の大学院(専攻科含む)に進学しています。令和5年度の主な進学実績は以下のとおりです。

大学院名	人数
大阪教育大学大学院、連合教職大学院、特別専攻科	75人
大阪大学大学院	7人
神戸大学大学院、奈良先端科学技術大学院	各5人
大阪公立大学大学院	4人

POINT 03

就職支援行事は年間 **174** 回開催 (令和5年度実績)

教員・企業・公務員就職希望者それぞれを対象とした多種多様な就職支援行事を、年間を通じ計画的に実施しています。各就職相談室のアドバイザーによる面接指導や個別相談は、進路に応じたきめ細やかなサポートを行い、学生の皆さんの夢の実現を力強くバックアップします。

区分	主な行事	回数
教員就職支援	教採対策講座、教育委員会・私立学校の採用担当者を招いた説明会 など	111回
企業・公務員就職支援	面接講座、職種・業界研究セミナー、企業等の採用担当者を招いた合同企業セミナー など	63回

教育学部

注( )内は外国人留学生(正規生)で内数

課程・学科		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	男	女	計	
教員養成課程	平成28年度以前入学生	幼稚園教員養成課程	—	—	—	—	—	—	—	
	学校教育教員養成課程	—	—	—	2	—	1	1	2	
	特別支援教育教員養成課程	—	—	—	—	—	—	—	—	
	養護教諭養成課程	—	—	—	—	—	—	—	—	
	令和5年度以前入学生	幼児教育専攻	—	17	17	17	—	6	45	51
		初等教育教員養成課程	—	46	45	47	—	27	111	138
		小学校教育専攻(昼間コース)	—	37	38	43	48	82	84	166
		小学校教育専攻(夜間コース)	—	—	17	22	31	33	37	70
		学校教育教員養成課程	—	428	421	512(3)	—	661(1)	700(2)	1361(3)
		養護教諭養成課程	—	31	30	32	—	0	93	93
	令和6年度以降入学生	幼小教育専攻	499	—	—	—	—	—	—	—
		次世代教育専攻		—	—	—	—	—	—	—
教科教育専攻		—		—	—	—	—	—	—	—
特別支援教育専攻		41	—	—	—	—	24	17	41	
小学校教育(夜間)5年専攻		—	—	—	—	—	—	—	0	
小学校教育(夜間)5年専攻3年次編入学		—	—	—	—	—	—	—	—	
養護教諭養成課程	30	—	—	—	—	—	30	30		
合計	570	559	568	675(3)	79	1061(1)	1390(2)	2451(3)		
教養学科	平成28年度以前入学生	人間科学専攻	—	—	—	—	—	—	—	
	文化研究専攻	—	—	—	1	—	0	1	1	
	数理学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	
	自然科学専攻	—	—	—	1	—	1	0	1	
	情報科学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	
	健康生活科学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	
	スポーツ専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	
	芸術専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	0	0	0	2	—	1	1	2		
教育協働学科	平成29年度以降入学生	教育心理科学	42(7)	40(8)	36(7)	52(12)	—	53(14)	117(20)	170(34)
	健康安全科学	39(3)	35(3)	36(3)	37(3)	—	18(6)	129(6)	147(12)	
	理数情報	97(6)	94(6)	108(8)	112(16)	—	298(26)	113(10)	411(36)	
	グローバル教育	72(23)	88(24)	70(17)	97(22)	—	99(39)	228(47)	327(86)	
	芸術表現	53(0)	50(0)	48(0)	60(1)	—	45(0)	166(1)	211(1)	
	スポーツ科学	49(0)	53(3)	50(0)	63(0)	—	128(3)	87(0)	215(3)	
	合計	352(39)	360(44)	348(35)	421(54)	—	641(88)	840(84)	1481(172)	

大学院教育学研究科(修士課程)

注( )内は外国人留学生で内数

専攻		1年次	2年次	男	女	計
令和2年度以前入学生	健康科学専攻(夜間)	—	2	1	1	2
	総合基礎科学専攻	—	—	—	—	—
	国際文化専攻	—	—	—	—	0
令和3年度以降入学生	芸術文化専攻	—	—	—	—	—
	高度教育支援開発専攻	48(13)	69(17)	46(11)	71(19)	117(30)
合計	48(13)	71(17)	47(11)	72(19)	119(30)	

連合教職実践研究科

専攻	1年次	2年次	男	女	計
高度教職開発専攻	119(0)	112(2)	142(0)	89(2)	231(2)

特別支援教育特別専攻科

専攻	男	女	計
特別支援教育専攻	10(0)	14(0)	24(0)



# 令和6年度 学部入試結果 (志願者数等)

この真に記載の内容は昨年度実施の令和6年度学部入試結果になります。  
今年度を実施する令和7年度学部入試の入学者選抜方法については、下記より確認してください。

課程・学科	専攻	コース	日程	大学入学 共通テストの 利用教科・科目数	個別学力検査等	募集人員 (●)	志願者数	受験者数 (■)	合格者数	受験倍率 (■÷●)	配点		配点 合計	合格者の 共通テスト 平均	合格者の 総合平均	合格者の 総合最高	合格者の 総合最低	
											共通テスト	個別						
学校教育教員養成課程	幼小教育専攻	幼児教育コース	課す推薦(※)	5教科7～8科目又は 6教科7～8科目	音楽実技・面接・活動報告書	5	5	5	5	1.0	900	560	1460	※	※	※	※	※
			前期		面接・活動報告書	10	18	13	10	1.3	900	360	1260	560.3	842.3	953	665	
		小学校教育コース	課す推薦	5教科7～8科目又は 6教科7～8科目	面接・活動報告書	17	46	46	17	2.7	900	390	1290	※	※	※	※	※
			課す推薦(特別枠)(※)		面接・活動報告書	5	19	19	3	3.8	◆	390	390◆	※	※	※	※	
	次世代教育専攻	教育探究コース	前期	5教科7～8科目又は 6教科7～8科目	小論文・活動報告書	23	75	60	26	2.6	900	360	1260	613.2	853.9	925	801	
			課す推薦		面接・活動報告書	10	25	25	12	2.5	900	390	1290	※	※	※	※	
			後期		小論文・活動報告書	20	41	33	21	1.7	900	360	1260	604.3	852.0	910	806	
		ICT教育コース	前期	5教科7～8科目	面接・活動報告書	10	62	21	13	2.1	900	360	1260	611.7	864.3	903	814	
			後期		数学、小論文	12	12	10	1.0	900	600	1500	550.9	898.9	1086	738		
			後期		数学、面接	8	21	9	8	1.1	900	600	1500	548.8	884.4	1171	703	
	教科教育専攻	国語教育コース	課す推薦	5教科7～8科目又は 6教科7～8科目	面接	10	25	25	10	2.5	900	300	1200	※	※	※	※	
			前期		国語、面接	30	54	42	32	1.4	900	600	1500	581.9	972.5	1107	876	
			後期		小論文、面接	5	47	11	5	2.2	900	600	1500	※	※	※	※	
		英語教育コース	課す推薦	5教科7～8科目又は 6教科7～8科目	面接	8	21	21	9	2.6	1100	400	1500	※	※	※	※	
			前期		英語	17	44	35	19	2.1	1000	400	1400	685.8	922.5	1011	864	
		社会科教育コース	課す推薦	5教科7～8科目又は 6教科7～8科目	面接	14	37	37	17	2.6	1100	350	1450	※	※	※	※	
			前期		小論文	26	54	44	27	1.7	900	300	1200	630.1	820.9	870	774	
		数学教育コース	前期	5教科7～8科目	数学、理科	25	61	61	26	2.4	900	650	1550	643.7	1047.3	1296	923	
			後期		数学	20	107	58	25	2.9	900	600	1500	652.0	1069.0	1225	947	
		理科教育コース	課す推薦	5教科7～8科目	面接	10	48	48	10	4.8	1100	400	1500	※	※	※	※	
			前期		理科	35	75	65	38	1.9	1100	600	1700	754.2	1228.7	1371	1117	
			後期		面接	5	58	19	5	3.8	1300	600	1900	※	※	※	※	
	技術教育コース	課さない推薦(※)	—	小論文、面接	4	9	9	4	2.3	—	500	500	※	※	※	※		
		前期	5教科7～8科目	小論文、面接、調査書及び志望理由書	6	6	6	5	1.0	900	510	1410	※	※	※	※		
		後期	5教科7～8科目	面接	4	15	15	5	3.8	900	600	1500	※	※	※	※		
	家政教育コース	前期	5教科7～8科目又は 6教科7～8科目	小論文	8	14	9	8	1.1	900	300	1200	534.9	752.8	811	675		
		後期		面接	3	19	5	4	1.7	900	600	1500	※	※	※	※		
		課す推薦		体育実技・面接・証明書	5	9	9	5	1.8	700	560	1260	※	※	※	※		
保健体育コース	前期	5教科5～6科目	体育実技	25	79	74	26	3.0	700	560	1260	468.8	913.9	979	880			
	後期		体育実技	10	103	50	12	5.0	700	400	1100	477.9	794.6	845	768			
	課す推薦		音楽実技	6	17	17	6	2.8	700	560	1260	※	※	※	※			
音楽教育コース	前期	5教科5～6科目	音楽実技	14	26	19	16	1.4	700	560	1260	437.0	903.6	1038	832			
	後期		—	小論文、美術実技、面接、志望理由書	3	14	4	4.7	—	500	500	※	※	※	※			
	課さない推薦【美術分野のみ】		美術実技・面接／書道実技、面接	17	28	27	18	1.6	700	550	1250	430.7	900.0	1062	774			
美術・書道教育コース	前期	5教科5～6科目	美術実技／書道実技、面接	5	31	8	5	1.6	700	550	1250	※	※	※	※			
	後期		美術実技／書道実技	7	21	21	8	3.0	900	300	1200	※	※	※	※			
	課す推薦		小論文	30	66	55	32	1.8	900	300	1200	552.4	776.0	886	712			
特別支援教育専攻	前期	5教科7～8科目又は 6教科7～8科目	小論文、面接	8	77	26	9	3.3	900	450	1350	566.4	888.7	1004	832			
	後期		小論文、面接	25	46	42	30	1.7	900	360	1260	498.4	728.0	849	671			
	課す推薦		面接・活動報告書	15	72	24	15	1.6	900	510	1410	488.6	812.7	934	704			
小学校教育(夜間)5年専攻	前期	5教科7～8科目又は 6教科7～8科目	面接・活動報告書	15	72	24	15	1.6	900	510	1410	488.6	812.7	934	704			
学校教育教員養成課程 小計					520	1,607	1,139	560	2.2									
養護教諭養成課程			前期	5教科7～8科目又は 6教科7～8科目	小論文	25	33	30	25	1.2	900	300	1200	604.9	815.6	920	690	
			後期	5教科7～8科目又は 6教科7～8科目	面接	5	43	7	5	1.4	900	300	1200	※	※	※	※	
教員養成課程 合計						550	1,683	1,176	590	2.1								
教育協働学科	教育心理学専攻	前期	5教科7～8科目又は 6教科7～8科目	小論文	20	53	53	25	2.7	900	450	1350	620.7	968.5	1050	934		
		後期		小論文	10	104	35	13	3.5	900	650	1550	643.3	1151.2	1223	1105		
	健康安全科学専攻	前期	5教科7～8科目又は 6教科7～8科目	小論文	25	62	59	31	2.4	900	400	1300	557.6	843.7	923	805		
		後期		面接	6	59	18	7	3.0	900	400	1300	611.4	909.9	967	865		
	理数情報専攻	数理情報コース	前期	5教科7～8科目	数学、理科	19	50	47	21	2.5	900	650	1550	587.6	960.8	1123	891	
			後期		数学	16	126	72	25	4.5	900	600	1500	650.9	1080.5	1228	1000	
		自然科学コース	前期	5教科7～8科目	数学、理科	34	97	93	43	2.7	900	600	1500	581.4	948.6	1144	876	
			後期		面接	20	99	42	23	2.1	900	500	1400	589.4	957.7	1092	864	
	グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	課す推薦	5教科7～8科目又は 6教科7～8科目	面接	5	6	6	5	1.2	1100	600	1700	※	※	※	※	
			前期		英語	12	31	26	17	2.2	1100	600	1700	759.1	1234.6	1396	1135	
		多文化リテラシーコース	課す推薦	3教科3～4科目	面接	10	14	14	10	1.4	500	300	800	※	※	※	※	
			前期		小論文	26	89	69	30	2.7	500	300	800	370.6	565.3	628	523	
	芸術表現専攻	音楽表現コース	課さない推薦	3教科3～4科目	小論文、音楽実技、証明書、志望理由書	10	28	28	13	2.8	—	500	500	※	※	※	※	
			前期		音楽実技	25	40	40	25	1.6	500	470	970	313.3	731.2	836	※	
		美術表現コース	後期	音楽実技	5	41	13	5	2.6	500	450	950	※	※	※	※		
			前期	美術実技	5	20	17	6	3.4	500	460	960	※	※	※	※		
	スポーツ科学専攻	—	後期	3教科3～4科目	美術実技	5	42	26	6	5.2	500	500	1000	※	※	※	※	
			前期		小論文、体育実技、面接、証明書	20	21	21	1.1	—	500	500	※	※	※	※		
後期			体育実技		17	124	112	22	6.6	500	500	1000	331.1	757.0	815	※		
教育協働学科 合計					300	1,229	847	359	2.8									
私費 外国人 留学生	教育協働学科	教育心理学専攻	日本留学試験・個別試験(小論文・面接)	10	31	26	12	2.6										
		健康安全科学専攻	日本留学試験・個別試験(小論文・面接)	4	3	3	3	0.8										
		理数情報専攻	日本留学試験・個別試験(数学・面接／小論文・面接)	11	23	14	9	1.3										
		グローバル教育専攻	日本留学試験・個別試験(英語・面接／小論文・面接)	22	65	49	25	2.2										
		芸術表現専攻	日本留学試験・個別試験(音楽実技・面接／美術実技・面接)	若干人	—	—	—	—										
		スポーツ科学専攻	日本留学試験・個別試験(体育実技・面接)	3	2	0	0	0.0										
教育学部 総計					900	3,036	2,115	998										

※課さない推薦：大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜を表しています。  
課す推薦：大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜を表しています。  
課す推薦(特別枠)：大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)を表しています。

※学校推薦型選抜及び合格者数が6人以下の募集区分については、合格者の成績情報は公開していません。  
※一部の専攻の合格者の総合最低点は公開していません。

## 令和7年度入学選抜要項 令和7年度学生募集要項(一般選抜・学校推薦型選抜)

- **入学選抜要項(7月下旬公表予定)**  
※紙媒体(冊子)で配布
- **一般選抜学生募集要項(11月上旬公表予定)**  
※ウェブページのみ(PDF形式)
- **学校推薦型選抜学生募集要項(7月下旬公表予定)**  
※ウェブページのみ(PDF形式)

## 令和7年度学部入試関連ウェブページ

入学試験情報TOP



学部入試TOP



令和7年度学部(一般・推薦)



過去の入試情報



資料請求



教育協働学科の再編



## 令和7年度学部入学試験日程

学校推薦型選抜			
	課さない	課す	課す(特別枠)
出願期間	11月1日(金)～11月8日(金)(必着)		
試験日	11月23日(土) ※志願者数により11月24日(日)にも実施		
合格発表	12月2日(月)	2月10日(月)	合格内定 12月2日(月) 最終合格 2月10日(月)

一般選抜		
	前期日程	後期日程
出願期間	1月27日(月)～2月5日(水)(必着)	
試験日	2月25日(火)～ 2月26日(水)	3月12日(水)
合格発表	3月7日(金)	3月21日(金)



## 入学料・授業料について

令和6年度入学	入学料	授業料(年額)	初年度納付金
学部	282,000	535,800	817,800
学部(夜間5年専攻)	141,000	267,900	408,900
学部(3年次編入学)	141,000	267,900	408,900
大学院	282,000	535,800	817,800
大学院(長期履修学生制度の適用者)	282,000	357,200	639,200
特別支援教育特別専攻科	58,400	273,900	332,300

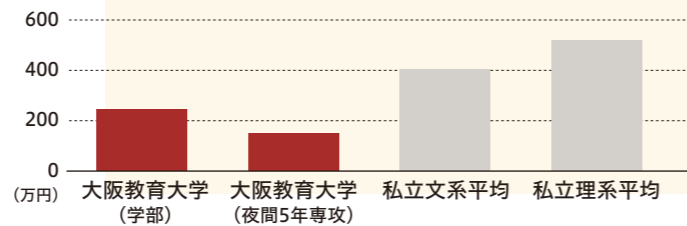
※上記金額は、令和6年度入学者の金額であり、令和7年度入学者については、変更される場合があります。  
また、このほか、大阪教育大学校友会費、テキストや英語能力測定試験、実習及び課外活動等の経費は別途必要となる場合があります。  
※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

### ■ 他大学との比較 (卒業までにかかる金額)

学部4年間の納付金は  
私立文系平均の **59.5%**  
私立理系平均の **44.0%**

夜間5年専攻の納付金は  
私立文系平均の **36.3%**  
となっています。

### 卒業までの納付金



※文部科学省「令和3年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額調査」私立大昼間部の平均額より。

### ■ 授業料・入学料免除制度

経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる学生などに授業料や入学料などの免除制度があります。(令和2年度以降入学の学部・学部(夜間)入学者については、高等教育の修学支援新制度による授業料免除・入学料免除となります。)

※詳細は本学募集要項や合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

(参考) 令和5年度授業料免除実績(経済的理由による)

(※) 高等教育の修学支援新制度による免除との併用者含む

区分	免除率	前期		後期		免除額
		申請者数	免除者数	申請者数	免除者数	
学部	高等教育の修学支援新制度による免除	-	368	-	356	155,798,950
	全額免除(※)	3	1	2	1	535,800
	半額免除(※)		1		1	267,900
学部(夜間)	高等教育の修学支援新制度による免除	-	48	-	46	10,001,950
	全額免除(※)	6	3	4	2	491,150
	半額免除(※)		2		2	267,900
大学院・専攻科	全額免除	48	38	55	45	20,738,250
	半額免除		6		5	1,473,450
合計						189,575,350

## 奨学金について

学業が優秀で、経済的理由により学資の支弁が困難な者には、「日本学生支援機構奨学金」又は《一般奨学金》の制度があります。一般奨学金には、大きく分けて地方公共団体の奨学金と民間育英団体の奨学金があります。

参考 令和6年度入学者 日本学生支援機構の奨学金月額例

### ■ 給付奨学金

奨学金の種類	給付月額	
	自宅	自宅外
給付奨学金	29,200円(第Ⅰ区分)	66,700円(第Ⅰ区分)
	19,500円(第Ⅱ区分)	44,500円(第Ⅱ区分)
	9,800円(第Ⅲ区分)	22,300円(第Ⅲ区分)
	7,300円(第Ⅳ区分 [多子世帯に限る])	16,700円(第Ⅳ区分 [多子世帯に限る])

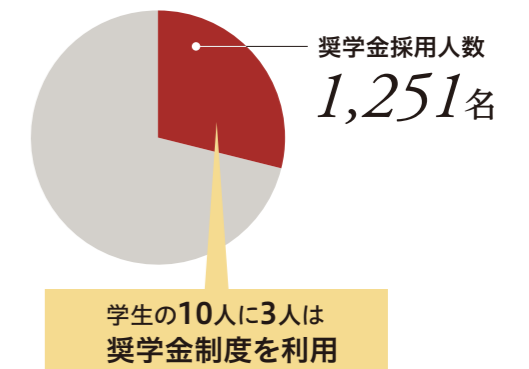
### ■ 貸与奨学金

奨学金の種類	貸与月額	
	自宅	自宅外
第一種奨学金(無利子)	20,000円・30,000円・45,000円	20,000円・30,000円・40,000円・51,000円
第二種奨学金(有利子)	20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・60,000円・70,000円・80,000円・90,000円・100,000円・110,000円・120,000円	

参考 令和5年度日本学生支援機構奨学金支給実績(令和5年3月末時点)

区分	日本学生支援機構奨学金					奨学金利用者数
	給付	第一種	第二種	合計	左記の内併用者(内数)	
学部	408	555	450	1,413	325	1,088
学部(夜間)	55	51	43	149	37	112
大学院・専攻科	-	45	10	55	4	51
合計						1,251

本学学生数 [4,303名]

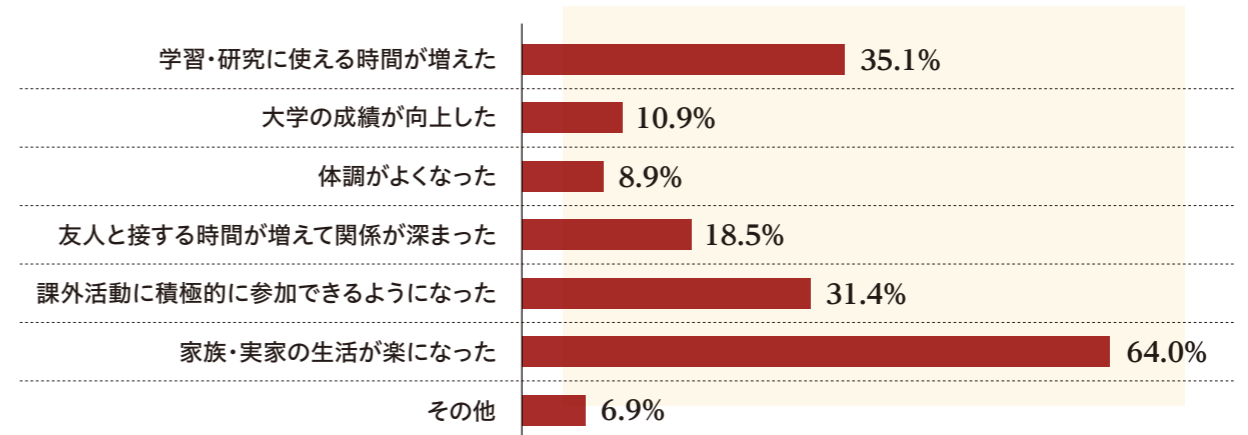


## 学生アンケート



授業料免除・奨学金を受けることで役に立ったと思うこと (令和元年度 学生生活実態調査より)

(複数回答可)





# Admission Policy アドミッション・ポリシー【入学者受入れの方針】

<div><div><span><span></span></span></div><div><b>【大阪教育大学教育学部】</b></div></div>
<p><b>①</b> 求める学生像</p> 卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。 <ul style="list-style-type: none"><li>●子どもの未来への関心があり、教職への強い意欲と関心、探究心を持つ人</li> <li>●教職に必要な知識と技能、教科に関わる専門分野への関心がある人</li> <li>●広く豊かな教養と多様性理解、協調性の修得をめざす人</li> <li>●現代社会への幅広い関心と自らの課題意識を持って積極的に社会参画をめざす人</li></ul> 上記の求める学生像に加えて、外国人留学生では次のような人を求めています。 <ul style="list-style-type: none"><li>●一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人</li> <li>●日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人</li></ul>

<div><div><span><span></span></span></div><div><b>【入学者選抜の基本方針】</b></div></div>
各課程・学科が求める学生を受け入れるために、学力の3要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）等を多面的・総合的に評価し、一般選抜（前期日程・後期日程）、学部推薦型選抜、私費外国人留学生入学試験、第3年次編入学試験の多様な入学者選抜を実施します。

<div><div><span><span></span></span></div><div><b>【学校教育教員養成課程】</b></div></div>
<p><b>①</b> 求める学生像</p> 卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。 <ul style="list-style-type: none"><li>●教員の基盤としての広く豊かな教養を身に付けるため、高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人</li> <li>●教職に必要な知識や技能、教科に関わる専門分野への関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人</li> <li>●社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人</li> <li>●子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人</li></ul>
<p><b>②</b> 入学者選抜の基本方針</p> 教員養成課程が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

<p>学校推薦型選抜では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「競技成績に関する証明書」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。</li> <li>●大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「個別学力検査」を課します。</li> <li>●総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。</li> <li>●大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門分野に対する理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。</li> <li>●論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。</li> <li>●十分な技能を有しているかどうかを確かめるために、「競技成績に関する証明書」の提出を求めます。</li> <li>●専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。</li> <li>●高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を確認するため、「活動報告書」の提出を求めます。</li></ul>
---

<p>一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「調査書及び志望理由書」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。</li> <li>●大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「個別学力検査」を課します。</li> <li>●総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。</li> <li>●大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門分野に対する理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。</li> <li>●論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。</li> <li>●専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。</li> <li>●高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を確認するため、「活動報告書」の提出を求めます。</li></ul>
--

<p>一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。</li> <li>●大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「個別学力検査」を課します。</li> <li>●総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。</li> <li>●大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門分野に対す</li></ul>
--

<p>る理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。</li> <li>●専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。</li> <li>●高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を確認するため、「活動報告書」の提出を求めます。</li></ul>
---

<p><b>③</b> 入学前に学習しておくことが期待される内容</p> 高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に修得したうえで、大学で学ぶ専門分野への関心を高めてください。さらに、子どもを教育することの意味を考え、学校教員という職業への自覚を深めてください。また、多様な人々とコミュニケーションを図り、そこから学ぶ態度も身に付けてください。
---

<div><div><span><span></span></span></div><div><b>【養護教諭養成課程】</b></div></div>
<p><b>①</b> 求める学生像</p> 卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。 <ul style="list-style-type: none"><li>●養護教諭をめざすために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人</li> <li>●養護教諭になることを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人</li> <li>●子どもたちの健康な学校生活を支援することにやりがいと使命を感じる人</li> <li>●人と明るく温かなコミュニケーションが図れる能力や個性を備えている人</li></ul>
<p><b>②</b> 入学者選抜の基本方針</p> 養護教諭養成課程が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

<p>一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「小論文」を課します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。</li> <li>●「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力・発想力・論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても採点・評価の対象とします。</li> <li>●専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。</li></ul>
--

<p>一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「面接」を課します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。</li> <li>●「小論文」を通じて、論理性・表現力・応用能力、健康問題に関する理解をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価します。</li> <li>●専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。</li></ul>
---

<p><b>③</b> 入学前に学習しておくことが期待される内容</p> 高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得してください。特に、生物及び化学についての力を身に付けてください。学修していることを前提として講義を行います。
--

<div><div><span><span></span></span></div><div><b>【教育協働学科】</b></div></div>
<p><b>①</b> 求める学生像</p> 卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。 <ul style="list-style-type: none"><li>●専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に探究心を持って、多様な教育課題の解決を自ら図ることができる人</li> <li>●自らの専門分野で高度な知識や高い技能を修得し、それらと ICT やデータサイエンスを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人</li> <li>●確かな学力と旺盛な知的好奇心、人間への深い理解を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人</li></ul> 上記の求める学生像に加えて、外国人留学生では次のような人を求めています。 <ul style="list-style-type: none"><li>●一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人</li> <li>●日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人</li></ul>
<p><b>②</b> 入学者選抜の基本方針</p> 教育協働学科が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

<p>学校推薦型選抜では、「大学入学共通テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「演奏能力・創作力または競技成績に関する証明書」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。</li> <li>●「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。</li> <li>●「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。</li> <li>●「面接」を通じて、論理性や表現力、応用能力をみるとともに、各専門分野への熱意や適性について総合的に評価します。</li> <li>●「演奏能力・創作力または競技成績に関する証明書」では、募集要項に示された出願資格に関わる大会における競技会・発表会の成績で、実技能力や創作力を評価します。</li> <li>●専門への意欲と教育課題への関心を確認するために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。</li></ul>
--

<p>一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習</li></ul>
---

<p>の達成度について評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●「個別学力検査」では、大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や洞察力、表現力を有しているかどうかを評価します。</li> <li>●「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。</li> <li>●「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。</li> <li>●専門への意欲と教育課題への関心を確認するために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。</li></ul>
--

<p>一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。</li> <li>●「個別学力検査」では、大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や洞察力、表現力を有しているかどうかを評価します。</li> <li>●「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。</li> <li>●「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。</li> <li>●「面接」を通じて、論理性や表現力、応用能力をみるとともに、各専門分野への熱意や適性について総合的に評価します。</li> <li>●専門への意欲と教育課題への関心を確認するために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。</li></ul>
--

<p><b>③</b> 入学前に学習しておくことが期待される内容</p> 高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得したうえで、幅広い教養と大学で学ぶ専門分野の基礎力を身に付け、教育に関心を持って他者と協働できる心構えを涵養していることを期待しています。
--

<div><div><span><span></span></span></div><div><b>【大学院教育学研究科】</b></div></div>
<p><b>①</b> 求める学生像</p> 卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として次に掲げる人材を広く求めます。
<p><b>【高度教育支援開発専攻】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●学校や地域が抱える教育課題の解決に強い関心を有している人</li> <li>●特定分野において専門性や優れた実務・実践経験を有し、これを活用して教育・学習支援に参画する意欲を有している人</li> <li>●教育現場の課題について実践的研究を行うことで、学校改革に向けて先導的・中核的な役割を担う意欲を有している人</li></ul>
<p><b>【心理・教育支援コース】</b></p> ①学生課程において公認心理師国家試験受験資格に必要なすべての科目を修めており、修士課程において必要とされる科目を修める強い意志のある人
②心理支援に関する高度な知識とスキルを身に付け、社会に貢献しようとする強い意欲を有している人
③スクールカウンセラーや教育相談員等の専門職の立場から教育を支援する意欲を有している人

<p><b>【国際協働教育コース】</b></p> ①学生課程で学んだ自身の専門研究分野に関して基礎的な知識と強い関心を有している人
②各国・地域の日本型教育システムに関する実路研究に取り組み、その成果を教育現場に反映させ、教育課題の解決の一翼を担う意欲を有している人
③日本語教育支援に関する実践研究に取り組み、教育を通して多文化共生社会の実現と持続に貢献しようとする意欲を有している人
④日本型教育システムや日本語教育支援についての研究成果を国際的に発信するためのコミュニケーション能力・語学力を有している人

<p><b>【教育ファシリテーションコース】</b></p> ①学校や地域が抱える教育課題の解決に強い関心を有している人
②以下のいずれかの専門性や優れた実務・実践経験を有し、これを活用して新時代の学校改革や教育現場の課題解決の一翼を担う意欲を有している人
<ul style="list-style-type: none"><li>●AI・ICT等の先端技術、または、教育行政等に関する領域</li> <li>●社会教育や福祉、または、美術や音楽などの芸術活動に関する領域</li> <li>●医療や保健、スポーツなどの健康・安全に関する領域</li></ul>

<p><b>②</b> 入学者選抜の基本方針</p> 大学院教育学研究科が求める学生を受け入れるために、次の大学院入学者選抜を実施します。
---

<p><b>（一般選抜）</b></p> 本選抜では、外国語科目と専門科目によって、大学院で学ぶために必要な外国語能力、読解力、思考力、文章表現力、専門的知識を有しているかを評価します（教育ファシリテーションコースでは、専門科目によって、大学院で学ぶために必要な読解力、思考力、文章表現力、専門的知識・技能を評価します）。また、口述試験、研究計画書及び成績証明書によって、専門分野の研究を遂行するために必要な専門的知識、大学院で学ぶ動機、意欲、主体性を有しているかを評価します。なお、研究計画書は、自らが身に付けるべき資質・能力を明確にし、教育全体の課題と関連付けた具体的な研究計画を特に評価します。
--

<p><b>【外国人留学生等選抜】</b></p> 国際協働教育コースでは、外国人留学生を広く受け入れるために、外国人留学生等選抜を実施します。本選抜では、専門科目によって、大学院で学ぶために必要な日本語能力、読解力、思考力、文章表現力、専門的知識を有しているかを評価します。また、口述試験、研究計画書及び成績証明書によって、専門分野の研究を遂行するために必要な日本語能力、専門的知識、大学院で学ぶ動機、意欲、主体性を有しているかを評価します。なお、研究計画書は、自らが身に付けるべき資質・能力を明確にし、教育全体の課題と関連付けた具体的な研究計画を特に評価します。
---

<p><b>③</b> 入学前に学習しておくことが期待される内容</p> (学部卒業学生等) <ul style="list-style-type: none"><li>●大学卒業レベルと同等の基礎学力</li></ul>
---

<ul style="list-style-type: none"><li>●専門分野に関する基本的な知識・技能（社会人等）</li> <li>●教育現場や地域が抱える教育課題への強い関心と理解</li> <li>●専門分野に関する知識・技能・実践経験（外国人留学生等）</li> <li>●大学卒業レベルと同等の基礎学力</li> <li>●母国における教育課題の理解</li> <li>●専門分野を学ぶための日本語能力</li></ul>
---

<div><div><span><span></span></span></div><div><b>【大学院連合教職実践研究科】</b></div></div>
<p><b>①</b> 求める学生像</p> 卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として次に掲げる人材を広く求めます。 <ul style="list-style-type: none"><li>●学校や地域が抱える教育課題の解決において指導的・中核的な役割を果たすために求められる高度で優れた実践力の獲得をめざす現職教員及び教育委員会関係者</li> <li>●新しい学校づくりの担い手として自ら学び続けることで実践的指導力の獲得をめざす人</li></ul>
<p><b>②</b> 入学者選抜の基本方針</p> 大学院連合教職実践研究科が求める学生を受け入れるために、次の大学院入学者選抜を実施します。

<p><b>【推薦選抜】</b></p> 大学院入学者推薦選抜では、「課題レポート」・「口述試験」・「学修計画書」を課します。 <ul style="list-style-type: none"><li>●「課題レポート」では、教職に必要とされる読解力、思考力、文章表現力を特に評価します。</li> <li>●「口述試験」において学部卒業学生等では、教員として学び続ける意欲、教職に関わる実践的な知識・技法・大学院での学修計画を特に評価します。</li> <li>●現職教員等では、教員として学び続ける意欲を持ち、自らの教員としてのキャリアと学修計画を関連づける思考力、判断力、表現力を特に評価します。</li> <li>●「学修計画書」において学部卒業学生等では、学部での学修を踏まえ、教員として自らが身に付けるべき資質・能力を明確にし、それを学校等における教育課題と関連づけた具体的な学修計画を特に評価します。現職教員等では、所属する組織の課題を把握し、その解決のために教員として自らが高めるべき資質・能力を明確にしている学修計画を特に評価します。</li></ul>
---

<p><b>【一般選抜】</b></p> 大学院入学者一般選抜では、「小論文」・「口述試験」・「学修計画書」を課します。 <ul style="list-style-type: none"><li>●「小論文」では、教職に必要とされる読解力、思考力、文章表現力を特に評価します。</li> <li>●「口述試験」において学部卒業学生等では、教員として学び続ける意欲、教職に関わる実践的な知識・技法・大学院での学修計画を特に評価します。</li> <li>●現職教員等では、教員として学び続ける意欲を持ち、自らの教員としてのキャリアと学修計画を関連づける思考力、判断力、表現力を特に評価します。</li> <li>●「学修計画書」において学部卒業学生等では、学部での学修を踏まえ、教員として自らが身に付けるべき資質・能力を明確にし、それを学校等における教育課題と関連づけた具体的な学修計画を特に評価します。現職教員等では、所属する組織の課題を把握し、その解決のために教員として自らが高めるべき資質・能力を明確にしている学修計画を特に評価します。</li></ul>
---

<p><b>③</b> 入学前に学習しておくことが期待される内容</p> (学部卒業学生等) <ul style="list-style-type: none"><li>●大学卒業レベルと同等の基礎学力</li> <li>●教職への基本的な知識・技能（現職教員等）</li> <li>●教育全体や所属する組織の課題を理解し、課題解決をする力</li> <li>●組織の一員として協働して取り組む力</li> <li>●子ども一人ひとりを理解し、授業づくり、集団づくりを指導する力</li></ul>
---

<div><div><span><span></span></span></div><div><b>【特別支援教育特別専攻科】</b></div></div>
<p><b>①</b> 求める学生像</p> 修了認定の方針に定める資質能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。 <ul style="list-style-type: none"><li>●特別支援教育を担う教員をめざすために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人</li> <li>●特別支援教育の教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人</li> <li>●障がいのある子どもたちの成長にかかわることにやりがいと使命を感じる人可以できる人</li> <li>●人とコミュニケーションを図る優れた能力や個性を備えている人</li> <li>●これまでの生活体験をととして、学校や教育への親しみや関心を強く抱いている人</li></ul>
<p><b>②</b> 入学者選抜の基本方針</p> 特別支援教育特別専攻科が求める学生を受け入れるために、入学者選抜を実施します。入学者選抜では、「小論文」・「面接」・「研究計画書」を課します。 <ul style="list-style-type: none"><li>●「小論文」では、特別支援教育を担う教員として必要とされる読解力、理解力、思考力、文章構成力や表現力を特に評価します。</li> <li>●「面接」では、特別支援教育に関する幅広い知識や関心、特別支援教育に従事し貢献したいという強い意欲・使命感・責任感を特に評価します。</li> <li>●「研究計画書」では、特別支援教育に関する現状と課題を明確に理解した上で、多角的な視野から具体的な問題解決の見通しを有した研究計画を特に評価します。</li></ul>

<p><b>③</b> 入学前に学習しておくことが期待される内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●大学卒業レベルと同等の基礎学力</li> <li>●取得した教員免許状に基づく基本的な知識・技能及び教職実践力</li> <li>●特別支援教育及び関連分野に関する基本的な知識・技能</li> <li>●特別支援教育を担う一員として協働して取り組む力</li> <li>●特別なニーズを有する子どもたちの能力や可能性を最大限に引き出すための柔軟な思考力・行動力</li></ul>
--



		選抜区分	選抜方法	学力の3要素			教職に就く強い意欲		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度			
幼小教育専攻	幼児教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○				
			実技検査	◎	◎				
			面接			○	◎		
		一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
			面接	◎			◎		
	小学校教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○				
			面接	○	◎	◎	◎		
			大学入学共通テスト 小論文	◎	○		○		
		一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
			小論文	○	◎		○		
次世代教育専攻	教育探究コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○				
			面接	○	◎	◎	◎		
			活動報告書			◎	○		
		一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
			小論文	○	◎		○		
			活動報告書			◎	○		
		一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
			面接	○	◎	◎	◎		
			活動報告書			◎	○		
			大学入学共通テスト	◎	○				
	ICT教育コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
			個別学力検査	◎	◎				
			小論文	○	◎	○	○		
		一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
			個別学力検査	◎	◎				
			面接	○	◎	○	◎		
		学校教育教員養成課程	国語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
					面接			◎	◎
					大学入学共通テスト	◎	○		
				一般：前期日程	個別学力検査	◎	◎		
面接						◎	◎		
大学入学共通テスト	◎				○				
一般：後期日程	小論文			○	◎		◎		
	面接					◎	◎		
	大学入学共通テスト			◎	○				
英語教育コース	学校推薦型			大学入学共通テスト	◎	○			
			面接	○	◎	○	◎		
			大学入学共通テスト	◎	○				
	一般：前期日程		個別学力検査	◎	◎				
			面接	○	◎	○	◎		
			大学入学共通テスト	◎	○				
	社会科教育コース		学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○			
				面接	△	○	◎	◎	
				大学入学共通テスト	◎	○			
			一般：前期日程	小論文	○	◎	△	△	
大学入学共通テスト				◎	○				
個別学力検査		◎		◎					
数学教育コース		一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
			個別学力検査	◎	◎				
			大学入学共通テスト	◎	○				
		一般：後期日程	個別学力検査	◎	◎				
	大学入学共通テスト		◎	○					
	面接		○	◎	◎	◎			
	理科教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○				
			面接	◎	◎	◎	◎		
			大学入学共通テスト	◎	○				
		一般：前期日程	個別学力検査	◎	◎				
面接			○	◎	○	◎			
大学入学共通テスト			◎	○					
一般：後期日程		面接	◎	◎	◎	◎			
		小論文	○	◎		◎			
		調査書及び志望理由書	△	△	○	◎			
技術教育コース		学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○				
	面接		△	◎	○	◎			
	大学入学共通テスト		◎	○					
	一般：前期日程	小論文	◎	◎					
		面接	○	○	○	◎			
		調査書及び志望理由書	△	△	○	◎			
	家政教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○				
			面接	△	◎	○	◎		
			大学入学共通テスト	◎	○				
		一般：前期日程	小論文	○	◎				
大学入学共通テスト			◎	○					
面接			△	◎	○	◎			
一般：後期日程		大学入学共通テスト	◎	○					
		面接	△	◎	○	◎			
		大学入学共通テスト	◎	○					
保健体育コース		学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○				
	面接		○	○		○			
	実技検査		◎						
	一般：前期日程	競技成績に関する証明書	○						
		大学入学共通テスト	◎	○					
		実技検査	◎						
	一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○					
		実技検査	◎						
		大学入学共通テスト	◎	○					
	音楽教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○				
実技検査			◎	◎	○				
大学入学共通テスト			◎	○					
一般：前期日程	実技検査	◎	◎	○					
	大学入学共通テスト	◎	○						
	実技検査	◎	◎	○					

		選抜区分	選抜方法	学力の3要素			教職に就く強い意欲	
				知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度		
学校教育教員養成課程	教科教育専攻	学校推薦型【美術分野】	大学入学共通テスト	◎	○			
			実技検査	◎	◎			
			面接	△	○	○	◎	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
			実技検査	◎	◎			
		面接	△	○	○	◎		
		一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○			
			実技検査	◎	◎			
			大学入学共通テスト	◎	○			
			面接	○	◎	◎	◎	
	大学入学共通テスト		◎	○				
	特別支援教育専攻	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○			
			面接	○	◎	◎	◎	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
			小論文	◎	◎	○	○	
			大学入学共通テスト	◎	○			
		一般：後期日程	小論文	◎	◎	○	○	
			面接	○	◎	◎	◎	
			大学入学共通テスト	◎	○			
			小論文	○	◎	◎	◎	
大学入学共通テスト			◎	○				
小学校教育(夜間)5年専攻	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
		小論文	○	◎		○		
	一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
		面接	○	◎	◎	◎		
養護教諭養成課程	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
		小論文	○	◎	△			
	一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
		面接	○	◎	◎	◎		

		選抜区分	選抜方法	学力の3要素		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
教育協働学科	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○
				個別学力検査	◎	◎
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○
				個別学力検査	◎	◎
				大学入学共通テスト	◎	○
		環境安全科学コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○
				面接	○	◎
				大学入学共通テスト	◎	○
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○
				個別学力検査	◎	◎
	一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎		
		△				
	教育コミュニティ支援専攻	心理科学コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○
				小論文	○	◎
				△		
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○
				小論文	○	◎
		スポーツ健康コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○
				実技検査	◎	○
面接				○	◎	
一般：前期日程			競技成績に関する証明書	○	◎	
			大学入学共通テスト	◎	○	
一般：後期日程	実技検査	◎	○			
	大学入学共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎			
グローバル教育専攻	芸術表現コース※2	学校推薦型【音楽分野】	実技検査	◎	◎	
			演奏能力・創作力に関する証明書	◎	○	
			大学入学共通テスト	◎	○	
		一般：前期日程	実技検査	◎	◎	
			大学入学共通テスト	◎	○	
	一般：後期日程	実技検査	◎	◎		
		大学入学共通テスト	◎	○		
		実技検査	◎	◎		
		大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎		
日本語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
		面接	○	◎		
		◎				
	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎		
国際協働英語コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
		面接	◎	◎		
		◎				
一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○			
	個別学力検査	◎	◎			

※1 美術・書道教育コースの学校推薦型選抜の募集は美術分野のみを行います。  
 ※2 芸術表現コースの学校推薦型選抜の募集は音楽分野のみを行います。



# Diploma Policy ディプロマ・ポリシー【卒業認定・学位授与の方針】

【教育学部】

グローバル化、情報化の進展など変化の激しい予測困難な時代が到来し、教育現場では様々な対応が求められています。教員養成大学は、教育のデジタル化や新たなニーズへの対応など、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、探究心を持って自律的に新しい知識・技能を学び続け、子ども一人一人の個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たし、多様な教育課題に対応して教育現場を担うことができる人材を養成することや、学校教員と連携し、協働して学校教育を支えることができる人材を育成することが社会から期待されています。

このような状況の下、本学教育学部では、実践的な教職能力を養う優れた教員養成教育を推進し、子どもの多様性の理解の下、幼児・児童・生徒一人一人の学びに寄り添い、子どもを能動的、自律的な学習者へと導くことができる学校教員を養成するとともに、教育への深い理解と高い専門的知識・技能をもって、様々な職業分野において他者と連携・協働して、多様な教育課題の解決のための新たな方法を創造することができる人材を育成することを目標とします。

この目標に基づき、所定の単位を修得することによって、これらの人材に必要とされる資質・能力を身に付け、豊かな教養と知性ととも、優れた教職能力を持つ教諭・養護教諭として教育現場を担うことができる認められる者、又は学校現場における多様な教育課題に関する知識並びに教育課題を解決するための汎用的能力と特定領域の専門性を融合し総合的に活用することを通じて、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働し、多様な教育課題の解決のための新たな方法を創造することができる認められる者に学士(教育学)の学位を授与します。

【学校教育教員養成課程】
豊かな教養と知性ととも、優れた教職能力を持つ教諭として教育現場を担うことができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力について、次のとおり設定しています。

- (1)豊かな教養と広い視野
●人文、社会、自然、芸術、スポーツ等の学術的・実践的な基本的知識とアカデミックライティングなどの初年次に必要な基本的スキルを学び、キャリア形成に向けた、ICT活用能力、言語運用能力、コミュニケーション力、および論理的・批判的思考からなる汎用基礎力を身に付けている。
●世界の多様性を理解し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。
- (2)教職に必要な素養
●教育の理念や教育に関する歴史及び思想、並びに教職の意義、教員の職務内容についての基礎的な理解ができている。
●教職員や学校園外の専門家、家庭や地域等を含めた他者と連携し、協働して課題を解決することの重要性を理解している。
●人権意識を有し、学校教育に関する社会的、制度的、経営的事項、学校安全に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
●子どもを能動的、自律的な学習者として導くことの意義を理解している。

- (3)指導内容の理解と実践力
●幼稚園の保育又は小学校の各教科及び所属するコースに対応する中学校・高等学校の教科や教科外の指導に必要な専門的知識・技能の基本を身に付けている。
●学校教育における教育課程編成の意義と基本原理を理解し、教職員の配置や施設の維持管理の観点や教科横断的な視点をもって組織的に教育課程を編成の上、実施するとともに、学校園の実態に応じてカリキュラム・マネジメントを行うことの重要性を理解している。
●子どもの興味・関心を引き出す教材研究を行いながら、学習指導や保育・授業の設計、実践、評価、改善を行う仕組みを構築することができる。
●学習環境の整備ができ、また、アクティブ・ラーニングを取り入れた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた学習者を中心とする指導計画の立案や保育・授業づくりができる。

- (4)子どもへの対応の理解
●生徒指導の意義や理論を理解し、他の教職員や専門家等と連携し、児童生徒に応じた指導や集団指導を実践することができる。
●教育相談の意義や理論と幼児・児童・生徒を支援するために必要となる基礎的知識を有し、組織的な取り組みや学校園外の専門家等と連携する重要性を理解している。
●進路指導やキャリア教育の意義を理解し、これらの視点からの授業改善やカウンセリングの充実に必要な基礎的な知識を身に付けている。
●子どもの心身の発達と学習の過程についての基礎的な理解ができている。
●外国にルーツのある子どもや障がいのある子どもなど、特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性や社会的包摂の理念を理解した上で、学校教員として対応するために必要となる知識や支援の方法を身に付けている。
●道徳教育の理論及び指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習や探究の時間の指導法について理解している。

- (5)ICTや教育データを利活用する力
●学校におけるICTの活用の意義を理解し、授業や学校園務等にICTを活用するとともに、幼児・児童・生徒のICT活用能力を育成するための保育や授業を構想することができる。
●「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、幼児・児童・生徒の学習の改善を図るため教育データを適切に活用することができる。

- (6)教職力量を自らひらく力
●実践的な教育活動に参画し、幼児・児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。
●自らの学修を記録などに基づいて省察し、目標達成に向けて成長しようとする意欲を身に付けている。
●生涯にわたる教師の成長の特性と学習のあり方を理解の上、学び続ける教師としての姿勢や態度を身に付けている。

【養護教諭養成課程】
豊かな教養と知性ととも、優れた教職能力を持つ養護教諭として教育現場を担うことができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力について、次のとおり設定しています。

- (1)豊かな教養と広い視野
●人文、社会、自然、芸術、スポーツ等の学術的・実践的な基本的知識とアカデミックライティングなどの初年次に必要な基本的スキルを学び、キャリア形成に向けた、ICT活用能力、言語運用能力、コミュニケーション力、および論理的・批判的思考からなる汎用基礎力を身に付けている。
●世界の多様性を理解し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

- (2)教職に必要な素養
●教育の理念や教育に関する歴史及び思想、並びに教職の意義、教員の職務内容についての基礎的な理解ができている。
●教職員や学校園外の専門家、家庭や地域等を含めた他者と連携し、協働して課題を解決することの重要性を理解している。
●人権意識を有し、学校教育に関する社会的、制度的、経営的事項、学校安全に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
●子どもを能動的、自律的な学習者として導くことの意義を理解している。

- (3)養護実践力
●養護の理念や思想、養護学、学校保健や学校安全に係る基礎理論・知識を学び、養護教諭の役割を明確に理解している。
●健康観察や健康診断の意義や方法、保健室の役割やその機能について理解している。
●子どもの心身の健康に関して、健康相談や救急処置に係る基礎的な知識・技能を身に付けている。
●学校におけるICTの活用の意義を理解し、保健管理や保健教育等の実践や学校園務等にICTを活用することができる。

- (4)子どもへの対応の理解
●生徒指導の意義や理論を理解し、他の教職員や専門家等と連携し、児童生徒に応じた指導や集団指導を実践することができる。
●教育相談の意義や理論と幼児・児童・生徒を支援するために必要となる基礎的知識を有し、組織的な取り組みや学校園外の専門家等と連携する重要性を理解している。
●子どもの心身の発達と学習の過程についての基礎的な理解ができている。
●外国にルーツのある子どもや障がいのある子どもなど、特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性や社会的包摂の理念を理解した上で、学校教員として対応するために必要となる知識や支援の方法を身に付けている。
●道徳教育の理論及び指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習や探究の時間の指導法について理解している。

- (5)教職力量を自らひらく力
●実践的な教育活動に参画し、幼児・児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。
●自らの学修を記録などに基づいて省察し、目標達成に向けて成長しようとする意欲を身に付けている。
●生涯にわたる教師の成長の特性と学習のあり方を理解の上、学び続ける教師としての姿勢や態度を身に付けている。

【教育協働学科】

豊かな教養と知性ととも、学校現場における多様な教育課題に関する知識並びに教育課題を解決するための汎用的能力と特定領域の専門性を融合し総合的に活用することを通じて、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働し、多様な教育課題の解決のための新たな方法を創造することができる認められる者に共通して必要とされる資質・能力について、次のとおり設定しています。

- (1)豊かな教養と広い視野
●人文、社会、自然、芸術、スポーツ等の学術的・実践的な基本的知識とアカデミックライティングなどの初年次に必要な基本的スキルを学び、キャリア形成に向けた、ICT活用能力、言語運用能力、コミュニケーション力、および論理的・批判的思考からなる汎用基礎力を身に付けている。
●世界の多様性を理解し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

- (2)教育理解
●社会や教育現場のグローバル化や多様な子どもへの対応を理解し、学校や地域等と連携・協働しながら課題解決にあたる教育協働人材としての意欲や態度を身に付けている。
●教育の理念や歴史及び思想、子どもの発達と心理の理解、教育制度全般や学校の組織と役割の理解等の教育の基礎理論、学校安全及びICTや教育データの活用に関する理解を含む教育についての基礎的知識を身に付けている。

- (3)協働力
●他者と協働して課題を分析し、その課題を整理することができる。
●他者と協働して課題解決に向けてのプランを策定することができる。
●課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を身に付けている。

- (4)探究力
●エビデンスに基づき、客観的に課題を分析することができる。
●課題発見・解決や新たな価値創出に向けて探究するための計画を立案することができる。
●諸分野の知見を集約し組み合わせて、横断的な観点から探究することができる。

- (5)専門的知識・技能
●所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備えている。
●専門的知識・技能を用いて、専門分野に関わる内容やその意義を社会に向けて的確に伝達、表現することができる。
●専門的知識・技能を主体的に活用し、行動することができる。

- (6)教育協働実践力
教育的視点からキャリア形成の意義を学ぶとともに、教育協働人材のための汎用的スキルを修得し、学校・家庭・地域・社会と連携・協働することで、グローバル時代における多様な課題を解決するために実践的に行動できる。

# Curriculum Policy カリキュラム・ポリシー【教育課程編成・実施の方針】

【教育学部】

教育学部の教育課程は、卒業認定・学位授与の方針を踏まえ、教育学部各課程・学科において定める卒業時に必要とされる資質・能力を育成することを目的として、教育職員免許法を踏まえながら、教員養成フラッグシップ大学が加える科目を設定した上で、次のように体系的に編成し、実施するものとする。

教養教育については、大学全体の教員養成及び教育・学習支援人材養成の機能の充実・強化を支えるため、「教養教育ポリシー」を策定し、多様性の理解の下、学術的な基本的知識を獲得させるとともに大学生生活やキャリア形成に必要な資質・能力を育む教養教育の質的充実を図ります。

教員養成教育では、教育職員免許法を踏まえながら、学校教育の基礎的知識を修得し、指導内容と子どもへの対応の理解を深め、実践的な力量を育成するため、教育課程を編成します。

また、義務教育学校や教科担任制への対応として、複数の免許状取得に力点を置いた教育課程を編成します。

教育・学習支援人材のための教育では、教育の基礎的知識と専門的知識・技能を修得し、他者と連携し、協働して諸課題の解決を図ることができる力量を育成することを目的として教育課程を編成します。

さらに、副専攻制度を拡充し、資格やその他の教育課題に対応するプログラムを編成し、学習者のキャリア志向に応じた主体的な履修を可能とするとともに、修了者には学修証明書等を授与し、学びを可視化します。

教育課程の編成にあたっては、卒業認定・学位授与の方針に定める「卒業時に必要とされる資質・能力」と授業科目との関連性について、教員と学生間で共有することを目的として、シラバスに明示するとともに、カリキュラムマップやナンバリングを活用して、その体系性を可視化します。

また、学生の実践的な力量を育成する取り組みとして、インターンシップ活動やサービスマーケティングを導入するとともに、その活動を支援する体制の充実を図ります。学生が学修を進める過程においては、履修登録科目の登録上限数(CAP制)を設定し、単位の実質化の取り組みを充実させます。特に、学生の主体的な学修の促進を目的として、アクティブ・ラーニングの要素を取り入れた授業を拡大し、ラーニング・コモンズなどの環境整備を推進するとともに、電子ポートフォリオを活用して、学修のふりかえりと指導教員からの指導・助言を踏まえた、学生自身による主体的な学びを支援します。

各授業は、講義・演習・実験・実習などの方法により展開します。指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し、授業改善に取り組みます。

成績評価は、全学共通の評価基準を明示の上、プレゼンテーション、レポート、試験など、多様な方法により行うとともに、それらがどのように成績に反映されるか、シラバスに明記します。評価基準の明確化や厳格な成績評価の実現に寄与することを目的として、GPA制度を導入し、その算定方法や活用方法を明示することによって、学習への意欲の増進や指導教員による履修指導の促進を図ります。

学生の学修成果については、履修カルテにおいて、「卒業時に必要とされる資質・能力」への到達度を把握するとともに、学生、教員及び就職先などからのアンケートを通じて、教育課程の編成及び実施についての評価・改善に取り組みます。

【学校教育教員養成課程】
学校教育教員養成課程の教育課程は、卒業認定・学位授与の方針を踏まえ、卒業時に必要とされる資質・能力を育成することを目的として、教育職員免許法を踏まえながら、教員養成フラッグシップ大学が加える科目を設定した上で、次のように体系的に編成し、実施するものとする。

- (1)豊かな教養と広い視野
大学全体の教員養成及び教育・学習支援人材養成の機能の充実・強化を支えるため、「教養教育ポリシー」を策定し、多様性の理解の下、学術的な基本的知識を獲得させるとともに大学生生活に必要な資質・能力やキャリア形成に向けた言語運用能力、ICT活用能力などを育む教養教育の質的充実を図る。

- (2)教職に必要な素養
教育の理念や教職の意義、教員の役割、学校の役割、学校安全などに関する基本的知識と子どもを自律的な学習者へと導くことの意義を学ぶために教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

- (3)指導内容の理解と実践力
保育内容や、教科や教科外指導に必要な専門的知識と技能を身に付け、教育課程編成の意義を理解し、アクティブ・ラーニングを取り入れた学習者を中心とする指導計画の立案や保育・授業づくりのための資質・能力を育成するため、コース専門科目と教職専門科目、並びにフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

- (4)子どもへの対応の理解
生徒指導や教育相談の意義や理論を理解し、道徳教育の理論及び指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習や探究の時間の指導法、特別な配慮や支援を必要とする子どもに対応するために必要となる知識や支援の方法を身に付けるため、教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

- (5)ICTや教育データを利活用する力
ICTや教育データを学校教育に活用する意義や方法に関する基礎的な知識と技能を身に付けるため、教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

- (6)教職力量を自らひらく力
目標達成に向けて成長しようとする意欲や学び続ける教師としての姿勢や態度を育成するため、教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

- (7)授業の実施・成績評価・授業改善
●各授業は、講義・演習・実験・実習などの方法により展開する。
●成績評価は、全学共通の評価基準を明示の上、プレゼンテーション、レポート、試験など、多様な方法により行うとともに、どのように成績に反映されるか、シラバスに明記する。
●指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し、授業改善に取り組む。

【養護教諭養成課程】
養護教諭養成課程の教育課程は、卒業認定・学位授与の方針を踏まえ、卒業時に必要とされる資質・能力を育成することを目的として、教育職員免許法を踏まえながら、教員養成フラッグシップ大学

が加える科目を設定した上で、次のように体系的に編成し、実施するものとする。

- (1)豊かな教養と広い視野
大学全体の教員養成及び教育・学習支援人材養成の機能の充実・強化を支えるため、「教養教育ポリシー」を策定し、多様性の理解の下、学術的な基本的知識を獲得させるとともに大学生生活に必要な資質・能力やキャリア形成に向けた言語運用能力、ICT活用能力などを育む教養教育の質的充実を図る。

- (2)教職に必要な素養
教育の理念や教職の意義、教員の役割、学校の役割、学校安全などに関する基本的知識と子どもを自律的な学習者へと導くことの意義を学ぶために教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

- (3)養護実践力
養護の理念や思想、養護学、学校保健や学校安全、子どもの心身の健康に関する健康相談や救急処置に係る基礎理論・知識を学び、養護教諭の役割を明確に理解するとともに、健康観察や健康診断の意義や方法、保健室の役割やその機能について理解することができるよう、ICT活用の実践を盛り込む養護教育専門科目を体系的に編成する。

- (4)子どもへの対応の理解
生徒指導や教育相談の意義や理論を理解し、道徳教育の理論及び指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習や探究の時間の指導法、特別な配慮や支援を必要とする子どもに対応するために必要となる知識や支援の方法を身に付けるため、教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

- (5)教職力量を自らひらく力
目標達成に向けて成長しようとする意欲や学び続ける教師としての姿勢や態度を育成するため、教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

- (6)授業の実施・成績評価・授業改善
●各授業は、講義・演習・実験・実習などの方法により展開する。
●成績評価は、全学共通の評価基準を明示の上、プレゼンテーション、レポート、試験など、多様な方法により行うとともに、どのように成績に反映されるか、シラバスに明記する。
●指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し、授業改善に取り組む。

【教育協働学科】

豊かな教養と知性ととも、教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって、グローバル時代における多様な課題の解決を図ることができる認められる者に共通して必要とされる資質・能力を育成することを目的として、教育課程は以下のとおり編成し、実施するものとする。

- (1)豊かな教養と広い視野
大学全体の教員養成及び教育・学習支援人材養成の機能の充実・強化を支えるため、「教養教育ポリシー」を策定し、多様性の理解の下、学術的な基本的知識を獲得させるとともに大学生生活に必要な資質・能力やキャリア形成に向けた言語運用能力、ICT活用能力などを育む教養教育の質的充実を図る。
- (2)教育理解
社会のグローバル化や多様な子どもへの対応を理解し、学校や地域等と連携の上、協働して課題解決にあたる教育協働人材としての基礎である教育の理念や教育の歴史及び思想、子どもの発達と心理の理解、教育制度全般や学校の組織と役割の理解などの教育の基礎理論や、学校安全の学修を通して、学校や地域における諸課題に対して教育的視点から解決を図ろうとする意欲や態度を醸成するため、教育理解科目における「教育基礎セミナー」、「ダイバーシティと教育」、「現代社会と子どもの権利」、「教育総論」、「学校の役割と経営」、「学校安全」、「教育データの活用Ⅰ・Ⅱ」などにより体系的に編成する。

- (3)協働力
他者と協働して問題を分析のうえ整理し、課題解決に向けてのプランを策定することができる能力や課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を育成するため、協働共通科目「教育協働総論Ⅰ・Ⅱ」、「教育協働実践デザイン演習」などにより体系的に編成する。

- (4)探究力
現状を分析し、変革にあたっての課題を整理する力や教育に関する知識、汎用的な基礎力、専門的知識・技能を組み合わせて、自ら課題を発見し、解決に向けて探究する力を育成するため、各自が所属する専攻で設定したテーマに関わる課題学習型学習(PBL)の科目である「創造探究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」を編成する。

- (5)専門的知識・技能
所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備え、専門分野に関する内容やその意義を社会に向けて的確に伝達、表現することができる能力や、主体的に物事を考え、行動することに専門的知識・技能を活用できる能力を育成するため、専門教育科目において各自が所属する専攻に対応する専攻共通科目及び専攻分野科目を体系的に編成する。

- (6)教育協働実践力
教育的視点からのキャリア形成や教育協働人材のための汎用的スキルを修得に向けて、学校・家庭・地域・社会と連携、協働することで、グローバル時代における多様な課題を解決するために実践的に行動できる能力を育成するため、協働共通科目「教育協働とキャリア」、「アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ」、「教育コラボレーション演習」、「コミュニケーション実践演習」、「連携協働活動演習」などにより体系的に編成する。

- (7)授業の実施・成績評価・授業改善
●各授業は、講義・演習・実験・実習などの方法により展開する。
●成績評価は、全学共通の評価基準を明示の上、プレゼンテーション、レポート、試験など、多様な方法により行うとともに、どのように成績に反映されるか、シラバスに明記する。
●指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し、授業改善に取り組む。



# 全国から集まる 大教大生たち

全国から学生が集まる大教大！地元を離れて学んでいる人もたくさんいます。彼らがなぜ大教大を選んだのか、そして友達づくりのきっかけも話してもらいました。

## 愛媛県

教育協働学科  
グローバル教育専攻  
英語コミュニケーションコース  
久保 敏朗さん

### 大教大を選んだ理由は？

地元の四国を飛び出して、大阪という場所で知らないものを沢山吸収したいと思っていた時に、教育のことのみならず、自分の興味があった英語のことについても学べるコースを見つけたからです。

### 大教大の魅力は？

“人”です。優しく飾り気のない素敵な友人に恵まれました。「所詮大学の出会いなんて、、、」と思っていたのですが、これからは仲良くしたいと思える先輩・同期・後輩に出会うことができました。自分らしくいられる場所を見つけて学生生活を謳歌してほしいと思います！



## 鳥取県

学校教育教員養成課程  
小中教育専攻  
英語教育コース  
永井 紗也加さん

### 大教大を選んだ理由は？

教師になりたいという目標を叶えるために最適な環境であり、新しい土地で一人暮らしをしたいと思っていたため、大教大を選びました。また、専攻・コースが細かく分かれているため、自分の学びたい分野を深く学ぶことができるといふ点も理由の一つです。

### 友達づくりのきっかけは？

同じ専攻の仲間が少人数なので、交流を深めやすいです。また、授業でのグループワークでは他専攻の学生ともかわりを持つことができます。特に、部活動やサークルに入ると同じ趣味の仲間ができて、楽しい学生生活になるといいます。



学校教育教員養成課程  
小中教育専攻  
社会科教育コース  
佐藤 わかなさん

## 北海道

北海道地方  
入学者数  
8名

### 大教大を選んだ理由は？

教員をめざしていたのと、高校の修学旅行で大阪を好きになったので、大教大を選びました。教員になるために必要なことをたくさん学ぶことができ、優しい友達にも恵まれたので、入学してよかったと心から思っています。

### 大教大の魅力は？

大教大の一番の魅力は、教員になるための準備を着実に進めることができることだと思います。授業だけでなく、3回生以降にある教員採用試験の対策も充実しています。同じ志をもつ友達と一緒に頑張れることも魅力です。

東北地方  
入学者数  
13名

中部地方  
入学者数  
188名

近畿地方  
入学者数  
2,047名

関東地方  
入学者数  
23名

中国地方  
入学者数  
157名

四国地方  
入学者数  
119名

九州地方  
入学者数  
75名

## 三重県

教育協働学科  
健康安全科学専攻  
織田 光里さん

### 大教大を選んだ理由は？

元々教育に関心があったのですが、大教大の教育協働学科では教育的な視点から社会との協働について学ぶことができると知り、そこに強い関心を持ったので、大教大を選択しました。また、健康安全科学専攻で安全科学について学ぶことも理由の一つでした。

### 友達づくりのきっかけは？

自分から積極的に話をしに行くのと接点を持ちやすいかなと思います。共通の話題がある人だと仲良くなりやすいです。とはいえ、無理して作るうとしくなくても、授業やサークル活動を通してたくさんの人と関わっているうちに、自然と出ていくものかなと思います！



ほとんど全国から  
志願者・入学者が！

志願者数

8,714名

入学者数

2,630名

高卒認定試験・外国人留学生等を除く  
(過去3年(令和4~6年度))

## 宮城県

初等教育教員養成課程  
幼児教育専攻  
春木 清暉さん

### 大教大を選んだ理由は？

私が大教大を選んだのは、幼少期を大阪で過ごしたことが大きいのですが、教育大学の中でも学生数が多いため、たくさんの人と関わることができるのではないかと思います。大阪教育大学を選びました。大阪に住みたいという気持ちがとりあえず大きかったです。

### 友達づくりのきっかけは？

大阪教育大学はひとつの専攻・学科あたりの人数は他大学に比べて少ないため、友達ができやすいと思います。私のいる幼児教育専攻の人数はひと学年につき15人程度しかいないため、全員で仲良く日々を過ごしており、毎日とても楽しいです。



## 福岡県

教育協働学科  
スポーツ科学専攻  
須藤 大気さん

### 大教大を選んだ理由は？

学生の内に大阪などの都会を経験しておきたいという願望がありました。また教育という分野にも興味があり、双方の条件を満たしてくれる大阪教育大学に巡り合いました。

### 友達づくりのきっかけは？

部活動です。縦のつながりも横のつながりもでき、積極的にコミュニケーションをとることもつながり、他学科の学生とも輪を広げることが出来ました。



## 兵庫県

学校教育教員養成課程  
小中教育専攻  
美術・書道教育コース  
山内 麻衣さん

### 大教大を選んだ理由は？

現在教員として活躍している姉が大教大に通っていたからです。学業とサークルなどの課外活動をバランスよく両立し、充実した大学生活を送りながら教員採用試験に合格した姿に感銘をうけ、私も大教大に入学したいと思うようになりました。

### 大教大の魅力は？

教職の授業だけでなく、教員になるためのサポートが充実している所です。大学に入学してからも実習や教員採用試験など、多くの不安がありますが、定期的に相談会や説明会、セミナーが開催されるため、安心して学生生活を送ることができます。



## 東京都

学校教育教員養成課程  
小中教育専攻  
保健体育コース  
谷口 慧さん

### 大教大を選んだ理由は？

教員になりたいと思って、祖父母宅から近く通いやすそうだった大教大を選びました。初めて大学に来たのは受験の日だったのですが、山に続く長い通路を見て、「ここに通いたい！」と直感的に思ったことを昨日のように覚えています。

### 大教大の魅力は？

教員になるための環境がそろっていることです。教育法の授業や実習はもちろん、サポートも手厚いです。私は毎週学校ボランティアに行って子どもたちや先生方と関わっています。大学生のうちから学校に対して具体的なイメージを持つことができます。



## 志望者・入学者数

中国地方	鳥取	島根	岡山	広島	山口
志願者数	79名	29名	142名	229名	63名
入学者数	22名	9名	46名	61名	19名

近畿地方	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
志願者数	83名	202名	3973名	1411名	735名	208名
入学者数	28名	53名	1185名	464名	239名	78名

九州地方	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
志願者数	94名	15名	44名	30名	19名	24名	41名	33名
入学者数	23名	4名	11名	8名	3名	6名	10名	10名

四国地方	徳島	香川	愛媛	高知
志願者数	76名	124名	103名	57名
入学者数	31名	34名	28名	26名

関東地方	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川
志願者数	15名	8名	13名	12名	16名	49名	22名
入学者数	3名	1名	2名	1名	1名	8名	7名

東北地方	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
志願者数	10名	6名	11名	5名	8名	10名
入学者数	0名	2名	3名	3名	3名	2名

中部地方	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重
志願者数	32名	39名	68名	84名	7名	53名	43名	76名	153名	121名
入学者数	8名	9名	19名	28名	2名	9名	11名	24名	38名	40名

北海道地方	北海道
志願者数	39名
入学者数	8名



恵まれた環境で充実の大学生活！

# Access アクセス



## 天王寺キャンパス



## 柏原キャンパス



※このアクセスマップはすべての路線が記載されているものではありません。

## 柏原キャンパス

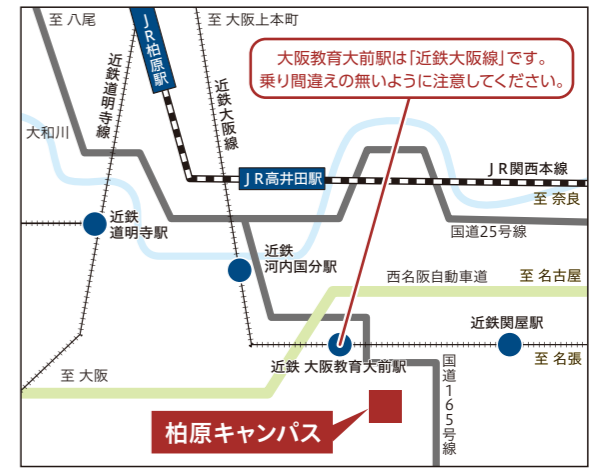
※下図では乗り換えに要する時間は記載していません。

新大阪	4分	JR大阪	16分
大阪方面		JR大阪環状線外回り 京橋・鶴橋方面	
三ノ宮	24分	JR大阪	16分
JR神戸線新快速 大阪方面		JR大阪環状線外回り 京橋・鶴橋方面	
神戸三宮	48分		
		阪神本線快速急行	
JR京都	28分	JR大阪	16分
JR京都線新快速 大阪・神戸方面		JR大阪環状線外回り 京橋・鶴橋方面	
丹波橋	33分	京橋	7分
京阪本線特急 淀屋橋方面		JR大阪環状線内回り 鶴橋・天王寺方面	
大阪難波	5分		
		近鉄奈良線 大和西大寺方面	
岸和田	28分	新今宮	8分
南海線急行 なんば方面		JR大阪環状線内回り 天王寺・鶴橋方面	
関西空港(鉄道)	33分	天王寺	8分
JR特急はるか		JR大阪環状線内回り 鶴橋・京橋方面	
和歌山	75分	天王寺	8分
JR直通快速 天王寺行き		JR大阪環状線内回り 鶴橋・京橋方面	
生駒	16分		
		近鉄奈良線快速急行 大阪難波行き	
JR奈良	16分	王寺	12分
JR関西本線 大阪方面		JR関西本線 難波方面	
大和西大寺	22分	柏原	約7分
近鉄橿原線急行 橿原神宮前方面		徒歩(550m)	
近鉄名古屋	116分	堅下	7分
近鉄名古屋線特急 大阪難波方面		徒歩	
津	14分	伊勢中川	73分
近鉄名古屋線 伊勢中川方面		近鉄大阪線急行 大阪上本町方面	
		近鉄大阪線準急 大阪上本町方面	

## 柏原キャンパス

大阪上本町駅から  
大阪教育大前駅まで近鉄電車で**23分**

JR大阪環状線鶴橋駅から  
大阪教育大前駅まで**19分**



## 天王寺キャンパス

※下図では乗り換えに要する時間は記載していません。

大阪教育大前	1分	河内国分	17分	鶴橋	4分
		近鉄大阪線準急		近鉄大阪線急行	
大阪				JR大阪環状線外回り 天王寺・弁天町方面	
				JR大阪環状線外回り 京橋・鶴橋方面	
京橋				12分	
				JR大阪環状線外回り 鶴橋・天王寺方面	
JR奈良				35分	
				JR関西本線 大和路快速 大阪方面	
神戸三宮				31分	
				西九条	16分
				阪神本線快速急行 近鉄奈良方面	
				JR大阪環状線内回り 弁天町・天王寺方面	

大阪市内中心地 天王寺駅から約600m (寺田町駅から350m)



## 天王寺キャンパス

